

第3学年

シラバス

2025

Syllabus

日本歯科大学新潟生命歯学部

基 本 理 念

本学は、高等の教育機関として、広く知識を授けると共に、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする（学則第1条）。

教 育 の 目 標

- 1) 幅広い教養と倫理観を持った医療人を育成する。
- 2) 問題を発見し解決する能力を持った医療人を育成する。
- 3) コミュニケーション能力のすぐれた医療人を育成する。
- 4) 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人を育成する。
- 5) 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成する。
- 6) 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人を育成する。
- 7) 高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人を育成する。
- 8) 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人を育成する。
- 9) 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人を育成する。
- 10) 世界をリードする国際性を有する医療人を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得するとともに、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- ・生命体との関連性に幅広い知識を有し、必要に応じて応用できる能力
- ・幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナリズムを備えた医療人として行動できる能力
- ・根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け、患者の問題を発見し解決する能力
- ・高いコミュニケーション能力を身につけ、患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- ・専門に偏らない幅広い知識を身につけ、その基本的技能を実践する能力
- ・超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- ・医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- ・生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

建学の精神である「自主独立」のもと、ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために、以下の通りカリキュラムを編成している。

- ・ディプロマ・ポリシー達成のため、シラバスに全授業科目の到達目標、学習方略、評価方法を明記し、学習計画を提示します。
- ・歯科医学と生命体との関連性を念頭において一貫教育を実施します。
- ・初期教育として歯科医学生に必要な自然科学、人文・社会科学、語学教育、情報科学教育を行うとともに、医療人の基礎となるコミュニケーション能力、倫理観、プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- ・医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により、医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- ・PBL テュートリアルにより、論理的思考に基づく問題解決能力、科学的探究心を養成します。
- ・歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学、臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに、臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。

- ・診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習（シミュレーション実習）による技能・態度の習得を目指した教育、ならびに医療スタッフの一員として参加するに必要な社会歯科学の教育を実施します。
- ・学生が医療スタッフとして参加し、その一員として診療業務を分担しながら、歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- ・超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して、訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- ・全身管理および他職種連携を常に念頭において臨床実習を実施します。
- ・教育課程の進級審査において、シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

シ ラ バ ス

1. シラバスとは

履修するまでの必要な要件を詳細に示した授業計画をいう。

2. シラバスの役割

- 1) 授業科目についての詳細な内容と計画が示されている。
- 2) 学生の教室外における予習復習の指針となる。
- 3) 試験に際しては、試験範囲等勉強の指針となる。
- 4) 学生に履修科目選択のための情報を提供する。

3. シラバスの構成

- 1) 一般目標 (GIO)
学習により期待される成果を示す。
- 2) 行動目標 (SBOs)
学習者の到達すべき行動目標を示す。
- 3) 学習方略
目標に到達するために必要な学習方法を示す。
- 4) 評価方法
目標まで達成されたかどうかを判定するための評価方法を示す。
- 5) 授業内容
授業によって学生が何を学習できるかを示す。
- 6) 準備学習
受講における予習・復習の具体的な内容を示す。
- 7) オフィスアワー
質問や相談に応じるために設定した曜日・時間・場所等を示す。

※実務経験のある教員等による授業科目を示す。

なお、実務経験のある教員等による授業科目一覧は、シラバスの末尾部に示す。

授業科目一覧表

| No. | 科 目 | 前 期 | 後 期 |
|---------|----------------|-----|-----|
| 1 | 早期臨床実習Ⅱ | ※※※ | |
| 2 | 地域口腔保健学 | ※※※ | |
| 3 | 口腔保健学実習 | ※※※ | |
| 4 | 分子生命科学実習 | ※※※ | |
| 5 | 組織・口腔組織学実習 | ※※※ | |
| 6 | 生理学実習 | ※※※ | |
| 7 | 生体防御学 | ※※※ | |
| 8 | 感染微生物学・生体防御学実習 | ※※※ | |
| 9 | 口腔病理学 | ※※※ | |
| 10 | 病理診断学実習 | | ※※※ |
| 11 | 歯科薬物療法学実習 | ※※※ | |
| 12 | 歯科理工学 | ※※※ | |
| 13 | 歯科放射線学 | ※※※ | ※※※ |
| 14 | 保存修復学 | ※※※ | ※※※ |
| 15 | 歯冠補綴架工義歯学 | | ※※※ |
| 16 | 歯内療法学 | ※※※ | ※※※ |
| 17 | 歯周疾患治療学 | ※※※ | ※※※ |
| 18 | 有床義歯学Ⅰ | ※※※ | |
| 19 | 有床義歯学Ⅱ | ※※※ | |
| 20 | 有床義歯学実習 | | ※※※ |
| 21 | 歯科矯正学 | ※※※ | ※※※ |
| 22 | 歯科矯正学実習 | | ※※※ |
| 23 | 小児歯科学 | | ※※※ |
| 24 | 地域包括ケア学Ⅱ | | ※※※ |
| 25 | 地域包括ケア学実習 | | ※※※ |
| 26 | 口腔顎顔面外科学 | ※※※ | ※※※ |
| 27 | 口腔腫瘍学 | | ※※※ |
| 28 | 歯科症候学演習 | | ※※※ |
| 29 | 総合基礎医学演習 | ※※※ | ※※※ |
| 科 目 総 数 | | 20 | 16 |

新潟生命歯学部の授業科目等

| 授業科目 | 単位数 | 計 | 授業科目 | 単位数 | 計 |
|------------------|------|------|----------------|------|------|
| 医学概論・歯科医学史 | 1.50 | 1.50 | 解剖学 | 3.00 | |
| 早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ | 1.00 | 1.00 | 解剖学実習 | 2.00 | |
| 臨床から振り返る基礎学 | 1.50 | 1.50 | 口腔解剖学 | 1.50 | |
| 初年次セミナー | 1.50 | 1.50 | 口腔解剖学実習 | 1.00 | 9.75 |
| プロフェッショナル | 2.00 | 2.00 | 発生学 | 0.75 | |
| 社会学 | 1.50 | 1.50 | 人類学 | 1.50 | |
| 畠 経済学 | 1.50 | 1.50 | 基礎歯科医学補講Ⅱ(解剖) | 0.00 | |
| ドイツの生活と情報 | 1.50 | | 組織学 | 1.50 | |
| 青年心理学 | 1.50 | 2.25 | 口腔組織学 | 1.50 | |
| 臨床心理学 | 0.75 | | 組織・口腔組織学実習 | 1.00 | 4.00 |
| 原子核と放射線 | 1.50 | 4.50 | 基礎歯科医学補講Ⅰ(組織) | 0.00 | |
| 物質の構造と反応 | 1.50 | | 生理学 | 3.00 | |
| 生命の連続性と遺伝子 | 1.50 | | 生理学実習 | 1.00 | 4.00 |
| 熱と物質の物理 | 3.00 | | 基礎歯科医学補講Ⅱ(生理) | 0.00 | |
| 基礎科学補講Ⅰ(物理) | 0.00 | 3.00 | 感染微生物学 | 3.00 | |
| 基礎科学演習(物理) | 0.00 | | 生体防御学 | 1.50 | |
| 生体物質の化学 | 3.00 | | 感染生物学・生体防御学実習 | 1.00 | 5.50 |
| 基礎科学補講Ⅱ(化学) | 0.00 | 3.00 | 基礎歯科医学補講Ⅰ(微生物) | 0.00 | |
| 基礎科学演習(化学) | 0.00 | | 病理学 | 1.50 | |
| 細胞の生物学 | 3.00 | | 口腔病理学 | 1.50 | 4.00 |
| 基礎科学補講Ⅱ(生物) | 0.00 | 3.00 | 病理診断学実習 | 1.00 | |
| 基礎科学演習(生物) | 0.00 | | 薬物療法学 | 1.50 | |
| 自然現象の数学 | 3.00 | | 歯科薬物療法学 | 1.50 | 4.00 |
| 環境学の基礎 | 1.50 | 1.50 | 歯科薬物療法学実習 | 1.00 | |
| 歯学入門実習 | 2.00 | 2.00 | 基礎歯科医学補講Ⅰ(薬理) | 0.00 | |
| 国語表現法 | 3.00 | 3.00 | 歯科薬剤学 | 1.50 | 1.50 |
| 総合英語 | 1.50 | 5.25 | 歯科理工学 | 4.50 | |
| 実用医学英語Ⅰ | 1.50 | | 歯科理工学実習 | 1.00 | 5.50 |
| 実用医学英語Ⅱ | 0.75 | | 歯科放射線学 | 3.00 | 3.00 |
| 英語会話 | 1.50 | | 歯科麻酔と救急処置 | 3.00 | 3.00 |
| 基礎独語 | 1.50 | 1.50 | 口腔顎顔面外科手術学 | 1.50 | 3.10 |
| 情報科学の実習 | 1.00 | 1.00 | 口腔外科学・全身管理学実習 | 1.60 | |
| 医療倫理 | 0.75 | 0.75 | 保存修復学 | 3.00 | 4.60 |
| 医療法律学 | 1.50 | 1.50 | 保存修復学実習 | 1.60 | |
| 社会歯科入門 | 0.75 | 0.75 | 歯内療法学 | 3.00 | 4.60 |
| 歯科医療コミュニケーション実習 | 0.80 | 0.80 | 歯内療法学実習 | 1.60 | |
| ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ | 0.75 | 0.75 | 歯周疾患治療学 | 3.00 | 4.00 |
| 健康科学Ⅰ | 1.50 | 1.50 | 歯周疾患治療学実習 | 1.00 | |
| 健康科学Ⅱ | 0.75 | 0.75 | 有床義歯学Ⅰ | 1.50 | 3.00 |
| 歯科法医学 | 0.75 | 0.75 | 有床義歯学Ⅱ | 1.50 | |
| 医療情報・医療管理学 | 0.75 | 0.75 | 有床義歯学実習 | 1.60 | 1.60 |
| 基礎口腔保健学 | 1.50 | 3.50 | 歯科矯正学 | 3.00 | 4.00 |
| 地域口腔保健学 | 1.50 | | 歯科矯正学実習 | 1.00 | |
| 口腔保健学実習 | 0.50 | | 小児歯科学 | 3.00 | 4.00 |
| 生化学会 | 1.50 | 3.50 | 小児歯科学実習 | 1.00 | |
| 口腔生化学 | 1.50 | | 部分床義歯補綴学 | 1.50 | 3.10 |
| 分子生命科学実習 | 0.50 | | 部分床義歯補綴学実習 | 1.60 | |
| 基礎歯科医学補講Ⅰ(生化) | 0.00 | | 全部床義歯補綴学実習 | 1.60 | 1.60 |

| 授業科目 | 単位数 | 計 |
|-----------------|--------|-------|
| 歯冠補綴架工義歯学 | 3.00 | 6.20 |
| 歯冠補綴架工義歯学実習 | 3.20 | |
| 口腔顎頬面外科学 | 4.50 | 6.00 |
| 口腔顎頬面外科診断治療学 | 1.50 | |
| 高齢者歯科学 | 1.50 | 1.50 |
| 障害者歯科学 | 0.75 | 0.75 |
| 歯科心身医学 | 0.75 | 0.75 |
| 専門歯科治療概論 | 1.50 | 1.50 |
| 医療統計学 | 0.75 | 0.75 |
| 生体機能調節学 | 1.50 | 1.50 |
| 地域包括ケア学Ⅰ | 1.50 | 1.50 |
| 地域包括ケア学Ⅱ | 1.50 | 1.50 |
| 地域包括ケア学実習 | 0.80 | 0.80 |
| 材料科学 | 1.50 | 1.50 |
| 顎口腔運動制御学 | 0.75 | 0.75 |
| 唾液と唾液腺 | 0.75 | 0.75 |
| 臨床診査・検査学 | 1.50 | 1.50 |
| 口腔腫瘍学 | 1.50 | 1.50 |
| 歯性感染症 | 0.75 | 0.75 |
| 顎咬合診断・口腔インプラント学 | 1.50 | 2.30 |
| 口腔インプラント学実習 | 0.80 | |
| 歯科医学入門演習 | 2.00 | 4.00 |
| 歯科症候学演習 | 2.00 | |
| 歯科医のための内科学 | 3.00 | 3.00 |
| 外科学 | 1.50 | 1.50 |
| 耳鼻咽喉科学 | 1.50 | 1.50 |
| 臨床(病院)実習 | 10.00 | 10.00 |
| 基礎医学演習 | 1.00 | 1.00 |
| 総合基礎医学演習 | 1.00 | 1.00 |
| 総合歯科医学演習 | 1.00 | 1.00 |
| 臨床歯学探究 | 1.00 | 1.00 |
| 総合科目①②③ | 6.00 | 6.00 |
| 包括歯科医学 | 2.00 | 2.00 |
| 合計 | 200.45 | |

第3学年 授業科目 目次

一 前 期 一

| | |
|----------------|----|
| 早期臨床実習Ⅱ | 12 |
| 地域口腔保健学 | 14 |
| 口腔保健学実習 | 16 |
| 分子生命科学実習 | 18 |
| 組織・口腔組織学実習 | 20 |
| 生理学実習 | 22 |
| 生体防御学 | 24 |
| 感染微生物学・生体防御学実習 | 26 |
| 口腔病理学 | 28 |
| 歯科薬物療法学実習 | 32 |
| 歯科理工学 | 34 |
| 歯科放射線学 | 38 |
| 保存修復学 | 40 |
| 歯内療法学 | 42 |
| 歯周疾患治療学 | 44 |
| 有床義歯学Ⅰ | 46 |
| 有床義歯学Ⅱ | 48 |
| 歯科矯正学 | 50 |
| 口腔顎顔面外科学 | 52 |
| 総合基礎医学演習 | 56 |

一 後 期 一

| | |
|-----------|----|
| 病理診断学実習 | 60 |
| 歯科放射線学 | 62 |
| 保存修復学 | 64 |
| 歯冠補綴架工義歯学 | 66 |
| 歯内療法学 | 68 |
| 歯周疾患治療学 | 70 |
| 有床義歯学実習 | 72 |
| 歯科矯正学 | 74 |
| 歯科矯正学実習 | 76 |
| 小児歯科学 | 78 |
| 地域包括ケア学Ⅱ | 80 |
| 地域包括ケア学実習 | 82 |
| 口腔顎顔面外科学 | 84 |
| 口腔腫瘍学 | 86 |
| 歯科症候学演習 | 90 |
| 総合基礎医学演習 | 94 |

第3学年 前期授業科目 目次

| | |
|----------------|----|
| 早期臨床実習Ⅱ | 12 |
| 地域口腔保健学 | 14 |
| 口腔保健学実習 | 16 |
| 分子生命科学実習 | 18 |
| 組織・口腔組織学実習 | 20 |
| 生理学実習 | 22 |
| 生体防御学 | 24 |
| 感染微生物学・生体防御学実習 | 26 |
| 口腔病理学 | 28 |
| 歯科薬物療法学実習 | 32 |
| 歯科理工学 | 34 |
| 歯科放射線学 | 38 |
| 保存修復学 | 40 |
| 歯内療法学 | 42 |
| 歯周疾患治療学 | 44 |
| 有床義歯学Ⅰ | 46 |
| 有床義歯学Ⅱ | 48 |
| 歯科矯正学 | 50 |
| 口腔顎顔面外科学 | 52 |
| 総合基礎医学演習 | 56 |

早期臨床実習 II

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|------|
| 高橋 靖之 | 3 | 前期 | 木曜日 | 14:40 ~ 16:20 | 新潟病院 |

科目の到達目標 (GIO)

社会のニーズに適応できる歯科医師となるために、医療を学ぶ学生としての望ましい態度を再確認し、基礎と臨床を統合できる能力の必要性を認識したうえで、医療の本質について理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|----|---|-----|
| 教科書 | | | |
| 参考書 | | | |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (80%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (20%)

成績評価方法

実習の内容に対して、レポート (80%), 遅刻、欠席 (20%) で評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：木曜日 16:30 ~ 18:00 場所 新潟病院 歯科麻酔・全身管理科医局

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------------------------------|--|--|---|
| 6月12日 | 高橋 靖之 | オリエンテーション | 1) 医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。(A-4-1) 2) 患者のプライバシーに配慮できる。(A-4-1) 3) 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。(A-4-1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習 :30 分 自分の目標とする歯科医師像をイメージしておく。 | |
| | 吉岡 裕雄 白野 美和 渥美 陽二 松本香好美 | (必修) 訪問歯科口腔ケア科 | 1) 要介護者の安全な診療姿勢と体位変換の方法を説明する。(E-5-1)-(6) 2) 車いす使用時の注意事項を説明する。(E-5-1)-(6) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習 :30 分 要介護者とはどういう人か調べ、理解しておく。 | |
| | 佐久間 要 城井 友幸 | (必修) 口腔外科 | 1) 小手術に必要な器具の安全な取り扱いを実践する。(E-1-4)-(3) 2) 粘膜の切開・縫合に必要な器具の用法を説明する。(E-1-4)-(5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習 :30 分 参考図書：最新口腔外科学 第5版 p533-540について参照する。 | |
| 6月19日 6月26日 7月3日 7月10日 | 押切 孔 斎藤 芳秀 高橋 靖之 井口 麻美 原 基 | (必修) 歯科鎮静リラックス外来 | 1) バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。(E-1-4)-(1) 2) 血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。(E-1-4)-(1) |
| 7月17日 7月24日 | 準備学習と時間 | 準備学習 :30 分 参考図書：常用歯科辞典 第4版 p927について参照する。 | |
| | 若木 卓 佐藤 史明 | (必修) 臨床シミレーション | 1) 歯科用器具を安全に操作ができる(F-1-2)-(1) 2) 患者情報を収集分析できる。(F-1-1)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習 :30 分 参考図書：常用歯科辞典 第4版 p927について参照する | |
| | 織田 隆昭 | (選択) 放射線科 | 1) 放射線の種類、性質、測定法と単位を理解している。(D-2-5-1) 2) 口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を理解している。(D-2-5-6) 3) 口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像における正常像を理解している。(D-2-5-7) 4) 頸顎面頭蓋部エックス線検査の種類と適応を理解している。(D-2-5-8) 5) 放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を理解している。(D-2-5-2) 6) 造影検査法、超音波検査法、コンピューター断層撮影法(CT)、歯科用コーンビームCT(CBCT)、磁気共鳴撮影法(MRI)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を理解している。(D-2-5-9) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習 :30 分 参考図書：常用歯科辞典第4版、医歯薬出版第7版歯科放射線学を参照する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---|--|--|---|
| | 北澤 裕美 坂井 幸子 後藤 翔 稻富 弘毅 | (選択) 小児歯科・矯正歯科 | 1) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を構築する。(A-4-1-②) 2) 矯正治療の目的と意義を説明する。(E-4-1-①) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 歯科矯正学第6版 p87-99, 146-148について参照する。 | |
| | 瀬戸 宗嗣 | (選択) 口腔インプラントセンター | 1) 口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明する。(E-3-4)-(3)① 2) 口腔インプラントに必要な検査を説明する。 3) 口腔インプラントの流れを説明する。(E-3-4)-(3)④ 4) 口腔インプラントのメインテナンスを説明する。(E-3-4)-(3)⑥ |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 常用歯科辞典 第4版 p91-94について参照する。 | |
| | 猪子 芳美 | (選択) 睡眠歯科センター | 1) 睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断および治療を概説する。(E-2-4)-(1)-⑥) 2) 睡眠関連の医療チームの役割と分担、連携を説明する。(A-7) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 常用歯科辞典 第4版 p52, 889-897, 1264, 1449, 1666-1667 および最新口腔外科学 第5版 p475-479について学習する。 | |
| | 関 秀明 海老原 隆 宮野 侑子 | (選択) 白い歯外来 | 1) 生活歯の変色の原因、種類、および処置を説明する。(E-3-3)-(1)-① 2) 失活歯の変色の原因、種類、および処置を説明する。(E-3-3)-(2)-⑥) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 保存修復学 第7版 p85-90について参照する。 | |
| | 渥美陽二郎 水橋 亮 高橋 瞳 | (選択) スポーツ歯科外来 | 1) マウスガードの目的を述べる。(E-2-4)-(2)-③) 2) マウスガードの製作方法を説明する。(E-2-4)-(2)-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 常用歯科辞典 第4版 p1519について学習する。 | |
| 6月19日 6月26日 7月3日 7月10日 7月17日 7月24日 | 高塙 智子 大森みさき | (選択) いき息さわやか外来 | 1) 口臭症の分類について記述する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 口臭の原因物質について列挙する。(C-4-1)-(3)-② 3) 口臭の検査方法について列挙する。(E-3-3)-(3)-② 4) 舌苔の除去方法について説明する。(E-2-2)-(3)" |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 口腔衛生学 2020 p144-150を参考に講義テーマについて学習。 | |
| | 水橋 亮 水橋 史 北澤 裕美 渡會 侑子 後藤 翔 | (選択) あごの関節・歯ぎしり 外来 | 1) 頸関節症の問診を説明できる。(E-1-1)-(3) 2) 頸運動・頸関節の診査を説明できる。(E-2-4)-(7)-②) 3) 頸顎面領域の筋の触診を説明できる。(E-2-4)-(7)-②) 4) 咬合診査を説明できる。(E-2-4)-(7)-②) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 常用歯科辞典 第4版 p243-244, 404, 516について参照する。 | |
| | 戸谷 収二 | (選択) 口のかわき治療外来 | 1) 口腔乾燥症の概要を説明する。(E-2-4)-(10)-⑤) 2) 口腔乾燥症の基本的な検査を実施する。(E-1-1)-(15) 3) 口腔乾燥症の検査結果を説明する。(E-1-1)-(15) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 テキスト p41-42, 382-384の要点を確認する。 | |
| | 小根山隆浩 | (選択) 歯科アレルギー治療 外来 | 1) 口唇・口腔・頸顎面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全の症状を列挙する。(E-2-4-(9)-③) 2) アレルギーの分類を説明する。(C-3-2-(5)) 3) 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明する。(C-3-2-(6)) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 最新口腔外科学 第5版 p74-75, 178-182について参照する。 | |
| | 太田 信 吉田 早織 椎木 甫 | (選択) あごのかたち・ 噛みあわせ外来 | 1) 頸変形症の分類、原因、治療法を説明する。(E-2-4)-(1)-③) 2) 矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明する。(E-4-1-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 参考図書: 歯科矯正学 第7版 p360-367(医歯薬出版)について参照する。 | |
| | 小林英三郎 | (選択) 歯の細胞バンク MRONJ 外来 | 1) 齒髄の構造と機能に関する基本的知識を習得する。(E-3-1-⑤) 2) 多能性幹細胞と基本的な発生学的技術に関する基本的知識を習得する。(C-3-2-(2) (6)) 3) 口唇・口腔・頸顎面領域に症状を現す薬物の副作用に関する基本的知識を習得する。(E-2-4)-(10)-⑦) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 歯髄、多能性幹細胞に関して調べておく。骨粗鬆症、悪性腫瘍の骨転移について調べておく。 | |

地域口腔保健学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 鴨田 剛司 | 3 | 前期 | 水曜日 | 9:00 ~ 10:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

地域保健活動や公衆衛生対策に参画するために必要な知識と技術を習得するために、その基礎となる理論や分析手法、対人保健サービスの内容を理解し、背景となる法や制度を身につける。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 安井利一他 | 口腔保健・予防歯科学 | 第2版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 小松崎明ほか | 歯学生のための健康科学 | 第3版 | 一世出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (60%) 論述試験 (30%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

本試験において一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (60%) と論述形式 (30%) の筆記試験と、毎回の講義の際の遅刻、欠席等の態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日 時間：16:30 ~ 17:30 場所：衛生学講座研究室（4号館3階）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|---------------------|--|
| 4月9日 | 鴨田 剛司 | 社会保障制度の概要 | 1) 政治と衛生行政を説明する。 2) 地方公共団体について説明する。 3) 法律、立法について説明する。 4) 社会保障制度を支える組織や職種を説明する。(B-2-2)-3) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 4月16日 | 鴨田 剛司 | 地域口腔保健の背景となる法と制度 | 1) 地域保健法について説明する。(B-2-1)-(5) 2) 健康増進法について説明する。(B-2-1)-(5) 3) 保健の対象と費用について説明する。(B-2-2)-1) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 5月7日 | 鴨田 剛司 | 地域口腔保健の組織とマンパワー(職種) | 1) 保健所、市町村保健センターについて説明する。 2) 口腔保健支援センターについて説明する。 3) 歯科医師法について説明する。(B-2-1)-1) 4) 歯科衛生士など関連職種について説明する。(B-2-1)-(7) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 5月14日 | 小松崎 明 | 社会保険 (医療保険、年金保険) | 1) 医療保険制度について説明する。(B-2-2)-2) 2) 年金保険制度について説明する。(B-2-2)-3) 3) 保険者、保険料について説明する。(B-2-2)-3) 4) 療養給付の範囲について説明する。(B-2-2)-3) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 5月21日 | 小松崎 明 | 社会保険 (介護保険、労災保険) | 1) 介護保険制度について説明する。(B-2-2)-3) 2) 介護保険施設について説明する。(B-2-2)-3) 3) 介護認定審査会について説明する。(B-2-2)-3) 4) 労働災害の特徴について説明する。(B-2-2)-3) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|---------|---|--|
| 6月4日 | 小松崎 明 | 保健の体系（保健施設） | 1) 厚生労働省について説明する。(B-2-2)-1) 2) 保健所について説明する。(B-2-2)-1) 3) 市町村保健センターについて説明する。(B-2-2)-1) 4) 健康診査、保健指導の体系について説明する。(B-2-2)-1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 6月11日 | 鴨田 剛司 | 医療経済、保健戦略 | 1) 国民医療費について説明する。(B-2-2-2) 2) 医療経済の分析手法について説明する。(B-4-2)-④) 3) 保健戦略、地域保健の進め方について説明する。(B-2-2)-⑧) 4) ポピュレーションストラテジーを説明する。(B-3-1-3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 6月18日 | 鴨田 剛司 | 母子保健 | 1) 行政が実施する母子保健事業について説明する。(B-2-2)-1) 2) 母子保健に関する人口統計指標を説明する。(B-2-2)-1) 3) 母子保健戦略の概要を説明する。(B-2-2)-1) 4) 乳幼児健康診査について説明する。(B-3-2)-④) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 6月25日 | 小野 幸絵 | 学校保健 | 1) 学校保健の二大領域について説明する。(B-3-2-④) 2) 学校三師について説明する。(B-3-2)-④) 3) 養護教諭、保健主事について説明する。(B-3-2)-④) 4) 学校での健康診断・歯科保健指導について説明する。(B-3-2)-④) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 7月2日 | 鴨田 剛司 | 産業保健 | 1) 産業保健の三管理について説明する。(B-3-2)-④) 2) 職域における健康保持増進対策 (THP) について説明する。(B-3-2)-④) 3) 産業保健対策と職業性疾患について説明する。(B-3-2)-④) 4) 労働災害予防と労災補償について説明する。(B-3-2)-④) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 7月9日 | 小松崎 明 | 高齢者保健、障害者福祉、児童福祉 | 1) 高齢者の口腔の特徴について説明する。(B-3-2-⑤) 2) 障害と口腔疾患の予防について説明する。 3) 児童虐待と歯科疾患の関連について説明する。 4) 障害者福祉、児童福祉制度の概要を説明する。(B-2-2-④) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 7月16日 | 鴨田 剛司 | 国家統計の概要、国際保健 | 1) 国家統計を列挙する。(B-4-2-1) 2) 国家統計の目的と結果の意義を説明する。 3) 國際協力、国際交流の概要について説明する。 4) WHOなどの国際機関について説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 7月23日 | 小松崎 明 | 公的扶助、健康危機管理、子育て支援対策、べき地医療対策 | 1) 生活保護について説明する。(B-2-2)-3) 2) 医療扶助、介護扶助の特徴について説明する。(B-2-2)-3) 3) 子育て支援について説明する。(B-2-2)-3) 4) 健康危機管理について説明する。(B-2-2)-3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 | |
| 7月30日 | 小松崎 明 | 社会の変遷と衛生行政の歴史 | 1) 公衆衛生対策の世界史について説明する。(B-3-2)-⑥) 2) 日本の公衆衛生対策の変遷について説明する。 3) 疫学の歴史について説明する。(B-4-1)-1) 4) 将来の公衆衛生対策の展望について説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 「歯学生のための健康科学第3版」を参考に講義テーマについて学習する。 | |

口腔保健学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|---------|-------------------------------|---------------------------|
| 鴨田 剛司 | 3 | 前期 | 火・木・金曜日 | 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00 | 薬理学・生理学・衛生学実習室 (5号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

社会のニーズに応える歯科医師となるために、日常の生活環境が健康におよぼす影響について理解するとともに、集団を対象とした地域保健医療に従事する歯科医師に必要とされる技術、および疫学的手法に基づく評価等についての知識を身につける。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|---------------|-------------|-----|------|
| 教科書 松久保 隆他 | 口腔衛生学 2022 | 第1版 | 一世出版 |
| 参考書 小松崎 明他 | 歯学生のための健康科学 | 第3版 | 一世出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (%) 論述試験 (50%) 口頭試験 (%) レポート (40%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

実習各回で提出するレポート (40%) と、最終回に実施する筆記試験 (50%)、実習中の態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日 時間：16:30 ~ 17:30 場所：衛生学講座研究室 (4号館3階)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|--|----------------------------------|--|
| 7月22日(火) | 小松崎 明 鴨田 剛司 小野 幸絵 | オリエンテーション、環境測定、フッ化物応用による耐酸性向上の確認 | 1) データの集計法および統計処理について実践する。(B-4-2)-4 2) 手指消毒法、廃棄物処理について実践する。(C-3-1)-3 3) 清潔域の設定と、清潔域での器具の操作について実践する。(C-3-1)-3 4) 環境測定器具の操作を通じて測定値の扱いを説明する。(B-2-4)-2 5) フッ化物応用による耐酸性の向上を確認する。(B-3-2)-2 |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「口腔衛生学 2022」を参考に実習テーマについて学習する。 |
| 7月22日(火) | 小松崎 明 鴨田 剛司 小野 幸絵 高塙 智子 黒川 泉 | 口腔環境検査 | 1) 口腔環境検査の意義を説明する。(B-4-1)-3 2) 口腔環境検査の原理を説明する。(B-4-1)-3 3) 口腔環境検査の方法を説明する。(B-4-1)-3 4) う蝕・歯周疾患活動性の評価手法について説明する。(B-4-1)-3 |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「口腔衛生学 2022」を参考に実習テーマについて学習する。 |
| 7月24日(木) | 小松崎 明 鴨田 �剛司 小野 幸絵 高塙 智子 | 口腔診査(1) 診査・記録方法と模型診査 | 1) 口腔診査を実施する前に、診査方法、器具について理解する。(B-4-1)-3 2) う蝕の診断基準を説明する。(B-4-1)-3 3) う蝕診断基準の統一法を説明する。(B-4-1)-3 4) 歯牙植立模型を用いてう蝕の診断を実施する。(B-4-1)-3 |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 「口腔衛生学 2022」を参考に実習テーマについて学習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|--|---|---|
| 7月25日(金) | 小松崎 明 鴨田 剛司 小野 幸絵 小松崎 豊 | 口腔診査 (2) 歯の状況 | 1) 口腔疾患の診査に必要な要件について説明する。(B-4-1)-3) 2) 口腔疾患のスクリーニング法について説明する。(B-4-1)-2) 3) 口腔診査用器具の取り扱いについて説明する。(B-4-1)-2) 4) 口腔内診査を実施し、診査方法と記録方法について説明する。(B-4-1)-2) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 「口腔衛生学 2022」を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 7月29日(火) | 小松崎 明 鴨田 剛司 小野 幸絵 高塙 智子 | 口腔診査 (3) 口腔清掃状況 口腔ケア実習 | 1) O H I 診査を実施する。(B-4-1)-3) 2) 口腔清掃、歯垢染め出しの意義を説明する。(B-3-2)-⑤) 3) 使用歯磨剤の成分を観察する。(B-3-2)-2) 4) スポンジブラシを用いた口腔清掃を実践する。(B-4-1)-3) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 「口腔衛生学 2022」を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 7月29日(火) | 小松崎 明 鴨田 剛司 小野 幸絵 高塙 智子 黒川 泉 | 試験 | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：60分 これまでの実習内容を復習しておく。 | |

分子生命科学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-------|---------------|-----------------------|
| 森田 貴雄 | 3 | 前期 | 火・金曜日 | 13:00 ~ 16:00 | 理工学・生化学実習室 (5号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

生体内物質についての臨床診断学的知識を有する歯科医となるために、血液および唾液中の物質の定性・定量技法を習得する。また、先端的技能および知識を有する歯科医となるために、遺伝子解析手法を習得しその方法および結果を説明する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|------------------------------------|------------------|------------------------------|
| 教科書 | 日本歯科大学 新潟生命歯学部生化学講座 | 分子生命科学実習書 | 日本歯科大学 |
| 参考書 | 林 典夫, 廣野治子 (監修) 早川太郎, 須田立雄 (監修) | シンプル生化学 口腔生化学 | 改訂第7版 第6版 南江堂 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (25%) 論述試験 (20%) 口頭試験 (%) レポート (45%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 觀察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

到達目標で示した項目についての多選択肢形式 (25%) および記述式 (20%) 筆記試験と、各実習内容についてのレポート (45%)、および実習への参加態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日 時間：16:00 ~ 18:00 (在室時) 場所：8号館3階生化学教授室または5号館3階生化学講座
(事前に連絡があればこの限りではない) 問合せメールアドレス：ga-seika(at)ml.ngt.ndu.ac.jp

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|----------------|--|--|
| 7月1日(火) | | 実習序説および計量と比色法の実践 | 1) 研究マインドを涵養する態度を身に付ける。(A-8-1) 2) 生命科学的な考え方を実践する。(A-8-1)-1 3) 生命科学研究を実践する。(A-9-1)-④) |
| | | 準備学習：10分～30分 実習書 p3-14 および参考書の関連する部分を読んで、実習内容と要点を予習する。 | |
| 7月4日(金) | 森田 貴雄 竹澤 晴香 | 血清タンパク質の定量と成分分離 | 1) タンパク質定量法を理解する。(C-2-1)-1 2) 血清タンパク質成分を理解する。(C-3-4)-(4)-④) 3) タンパク質分離原理を説明する。(C-2-1)-1, C-2-2)-⑤) |
| | | 準備学習：10分～30分 実習書 p17-24 および参考書の関連する部分を読んで、実習内容と要点を予習する。 | |
| 7月8日(火) | 今井あかね 螺良 修一 | アミラーゼの検出と活性測定 | 1) 唾液アミラーゼを理解する。(E-2-2)-⑤) 2) 酵素活性測定原理を説明する。(C-2-1)-⑤) |
| | | 準備学習：10分～30分 実習書 p78, 83-86 および参考書の関連する部分を読んで、実習内容と要点を予習する。 | |
| 7月11日(金) | | PCR と制限酵素による遺伝子解析 (1) | 1) PCR 法を実践する。(C-2-2)-⑤) 2) 遺伝子検査を実践する。(C-2-2)-⑤) |
| | | 準備学習：10分～30分 実習書 p107-114 および参考書(教科書)の関連する部分を読んで、実習内容と要点を予習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|----------------------------------|---|---|
| 7月15日(火) | 森田 貴雄 竹澤 晴香 今井あかね 螺良 修一 | PCR と制限酵素による遺伝子解析 (2) | 1) 制限酵素分解を説明する。(C-2-2)-⑤) 2) 遺伝子多型と体質との関係を説明する。(C-2-2)-④) 3) 遺伝子多型による酵素活性の相違を理解する。 (C-2-2)-④, C-2-1)-⑤) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10 分～ 30 分 実習書 p107-114 および参考書（教科書）の関連する部分を読んで、実習内容と要点を予習する。 | |
| 7月18日(金) | 森田 貴雄 竹澤 晴香 | 実習試験 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：60 分 すべての実習内容を復習しておく。 | |

組織・口腔組織学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-------|--------------|--------------------------|
| 熊倉 雅彦 | 3 | 前期 | 火・木曜日 | 9:00 ~ 12:00 | 病理・組織・微生物学実習室 (4号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

生体の微細構造をより深く理解するために、組織標本（プレパラート）を顕微鏡観察して組織・器官の正常構造を確認するとともに、本実習を通して観察力を養い、病理診断など臨床分野の基盤となることを認識する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|----------------------------------|--------------------|---------------------|
| 教科書 | 相磯貞和(訳) 前田健康・網塚憲生・ 中村浩彰(編) | 人体組織図譜 口腔組織・発生学 | 第11版 第3版 |
| | 牛木辰男(著) | 入門組織学 | 改訂2版 |
| 参考書 | | | 南江堂 医歯薬出版 南江堂 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBLを含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (30%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (60%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目について、毎回の実習テーマについての観察記録 (60%)、ならびに実習に対する関心・意欲・態度 (10%) の評価と、実習最終日に行う客観試験 (30%) により総合的評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火・木曜日 時間帯：16:30 ~ 17:00 場所：解剖学第2講座研究室 (4号館3階)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|-------------------------|---|---|
| 4月8日(火) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | オリエンテーション 血球 血球の種類と形態的特徴 | 1) 実習の進め方と顕微鏡の使用法を説明する。 2) 各血球の構造的特徴を説明する。(C-3-4)-(4)-④) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | |
| 4月10日(木) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 上皮組織 細胞配列による上皮組織の分類 | 1) 細胞の配列により分類する。(C-3-4)-(1)-④) 2) 各上皮組織を構成する細胞の形を比較する。(C-3-4)-(1)-④) 3) 構成する細胞の機能を分類する。(C-3-4)-(1)-④) 4) 各上皮組織の体内分布を述べる。(C-3-4)-(1)-④) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | |
| 4月15日(火) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 支持組織 骨組織の構造的特徴 | 1) 骨組織を構成する骨層板を観察・記載し、分類・比較する。(C-3-4)-(2)-③) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | |
| 4月17日(木) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 筋組織 平滑筋組織、骨格筋組織の構造的特徴 | 1) 平滑筋組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-①, ②) 2) 骨格筋組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-①, ②) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|----------|-------------------------|--|--|--|
| 5月8日(木) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 神経組織 脳, 神経節の構造的多様性 | 1) 神経系を構成する基本組織を説明する。(C-2-3)-(5)-(4) 2) 脳を観察・記載し, その特徴を説明する。(C-2-3)-(5)-(4) 3) 神経節を観察・記載し, その特徴を説明する。(C-2-3)-(5)-(4) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 5月13日(火) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 歯と歯周組織の発生 形成過程にある歯胚の各要素の構造 | 1) 歯胚を観察・記載し, 構成する各要素の構造を具体的に説明する。 (E-3-1)-(1) 2) 歯胚の各要素から発生する歯・歯周組織を正確に説明する。 (E-3-1)-(1), (6) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 5月15日(木) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 歯-1 象牙質, 歯髓の構造 | 1) 脱灰標本を用いて, 歯を構成する各組織を観察・記載し, 構造的特徴を説明する。(E-3-1)-(4) 2) 歯髓表層部の歯原帯を説明する。(E-3-1)-(5) 3) 歯髓深層部の構造を説明する。(E-3-1)-(5) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 5月20日(火) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 歯-2 エナメル質, 象牙質, セメント質の構造 | 1) 研磨標本を用いて, 歯を構成する各組織を観察・記載し, 構造的特徴を説明する。(E-3-1)-(4) 2) 各硬組織の成長腺の名称と構造を説明する。(E-3-1)-(4) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 5月22日(木) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 歯周組織 歯肉, 歯根部周囲の組織構造 | 1) 歯周組織を構成する各組織を観察・記載し, 構造的特徴を説明する。 (E-3-1)-(6) 2) 歯根がどのように歯槽骨と連結しているか説明する。(E-3-1)-(5), (6) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 5月27日(火) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 舌乳頭 糸状・茸状・有郭乳頭の組織構造 | 1) 舌乳頭の分布と形態を説明する。(E-2-2)-(3) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 5月29日(木) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 唾液腺 耳下腺, 頸下腺, 舌下腺の形態的特徴 | 1) 大唾液腺の存在部位と導管開口部を説明する。(E-2-2)-(6) 2) 耳下腺, 頸下腺および舌下腺の終末部と導管系の構造的特徴を説明する。 (E-2-2)-(6) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 教科書や2年時の講義ノート等を参考に, 今回の実習で何を観察するのかについて予習する。 | | |
| 6月3日(火) | 辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 | 試験 | 組織像を観察して実習成果を説明する。 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:20分 実習帳の観察スケッチと所見について復習する。 | | |

生理学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-------|---------------|---------------------------|
| 佐藤 義英 | 3 | 前期 | 火・金曜日 | 13:00 ~ 16:00 | 生理学・薬理学・衛生学実習室 (5号館3階) |

科目の到達目標 (GIO)

臨床歯科医学を理解するために、人体を被験者として実験を実施し、組織、器官、個体レベルでの生体の正常な生理機能の仕組みを観察・分析・理解する基礎知識・態度・技能を修得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----------------------------------|---------|-----|-------|
| 教科書 日本歯科大学新潟生命歯学部 生理学講座 | 生理学実習書 | | |
| 参考書 岩田幸一・井上富雄・船橋誠・ 加藤隆史(編集) | 基礎歯科生理学 | 第7版 | 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (20%) 論述試験 (20%) 口頭試験 (%) レポート (60%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (減点方式)

成績評価方法

到達目標 (GIO) で示した項目についての客観試験 (多選択肢形式試験, 20%), 論述試験 (筆記試験, 20%), レポート (60%) と実習に対する関心・意欲・態度 (減点方式) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：火曜日 時間帯：12:00 ~ 12:30
場所：生理学講座教授室 (5号館3階)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------------|------------------------|--|--|
| 4月8日 (火) | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | オリエンテーション 実習前講義 | 1) 唾液検査法を述べる。(E-2-2)-(6)-(6) 2) 咬合力と咀嚼能力測定法を述べる。(E-2-1)-(8) 3) 血圧測定法を述べる。(C-3-4)-(4)-(3) 4) 心臓の機能及び心電図波形を述べる。(C-3-4)-(4)-(1) |
| 4月11日 (金) | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 実習書の要点を確認する。 |
| 4月15日 (火) | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | 以下の4テーマの実習を4つのグループ分けて毎時間並列して行う。 1, 咬合力と咀嚼能力 2, 皮膚と口腔の感覺 3, 血圧測定 4, 心電図測定 | 1) 咬合力と咀嚼能力を測定し、その性質を説明する。(E-2-1)-(8) 2) 皮膚と口腔における体性感覺を測定し、その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(6)-(2), E-2-2)-(9) 3) 血圧を測定し、その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(4)-(3) 4) 心電図を測定し、その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(4)-(1) |
| 4月18日 (金) | | | |
| 5月9日 (金) | 高橋 瞳 那須 輝顕 | 唾液検査 | 1) 唾液検査を行い、その性質とメカニズムを説明する。(E-2-2)-(6)-(5), (6) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 参考書24章の要点を確認する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|--------------------|------------------------|--|--|--|
| 5月13日(火) | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | DVD 視聴 (循環系・心臓) | 1) 心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明する。(C-3-4)-(4)-(1) 2) 血液循環（肺循環と体循環）の経路を説明する。(C-3-4)-(4)-(2) 3) 血管の構造と血圧調節機能を説明する。(C-3-4)-(4)-(3) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 参考書5章の要点を確認する。 | | |
| 5月16日(金) 13:30～ | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | DVD 視聴 (自律神経、内分泌) | 1) 交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(3) 2) 内分泌器官・組織の機能及びホルモンの種類、作用を説明する。(C-3-4)-(9)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 参考書7章、13章の要点を確認する。 | | |
| 5月20日(火) | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | 以下の4テーマの実習を4つのグループ分けて毎時間並列して行う。 1, 咬合力と咀嚼能力 2, 皮膚と口腔の感覺 3, 血圧測定 4, 心電図測定 | 1) 咬合力と咀嚼能力を測定し、その性質を説明する。(E-2-1)-(8) 2) 皮膚と口腔における体性感覺を測定し、その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(6)-(2), E-2-2)-(9) 3) 血圧を測定し、その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(4)-(3) 4) 心電図を測定し、その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(4)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 参考書24章の要点を確認する。 | | |
| 5月23日(金) | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | 論述・客観試験 | 1) 唾液の性、構成成分及び機能を記述する。(E-2-2)-(6)-(5) 2) 唾液腺の構、機能及び分泌調節機序を記述する。(E-2-2)-(6)-(6) 3) 咀嚼の制御機構を記述する。(E-2-1)-(8) 4) 咀嚼筋の機能を記述する。(E-2-1)-(3) 5) 皮膚・口腔感覺の特徴を記述する。(C-3-4)-(6)-(2), E-2-2)-(9) 6) 血圧調節機構を記述する。(C-3-4)-(4)-(3) 7) 心電図波形の意味を記述する。(C-3-4)-(4)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：120分 参考書p42-47, 4章, 10章, 15章, 18章, 20章, 24章の要点を確認する。 | | |
| 5月27日(火) | 佐藤 義英 高橋 瞳 那須 輝顕 | 実習後講義 | 1) 唾液の性状、構成成分及び機能を説明する。(E-2-2)-(6)-(5) 2) 唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明する。(E-2-2)-(6)-(6) 3) 咀嚼の制御機構を説明する。(E-2-1)-(8) 4) 咀嚼筋の機能を説明する。(E-2-1)-(3) 5) 皮膚・口腔感覺の特徴を説明する。(C-3-4)-(6)-(2), E-2-2)-(9) 6) 血圧調節機構を説明する。(C-3-4)-(4)-(3) 7) 心電図波形の意味を説明する。(C-3-4)-(4)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 参考書p42-47, 4章, 10章, 15章, 18章, 20章, 24章の要点を確認する。 | | |

生体防御学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 三上 正人 | 3 | 前期 | 月曜日 | 10:40 ~ 12:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた医療を行える歯科医師となるために、病原微生物や腫瘍に対する生体防御・免疫機構とアレルギー反応を理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----------|--------|-----|------|
| 教科書 石原和幸他 | 口腔微生物学 | 第8版 | 学建書院 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式と空所補充形式の筆記試験 (80%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：金曜日 時間：17:00 ~ 18:00 場所：微生物学実習室 (4号館2階)

※事前にメールで要予約 (メールアドレスは授業中に提示する。)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|-------|-------------------------------|--|
| 4月7日 | 三上 正人 | 口腔感染症(1) う蝕、歯周病 | 1) う蝕の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(1) 2) 歯周疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(3) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 口腔微生物学 p319-350 を読む。 |
| 4月14日 | 三上 正人 | 口腔感染症(2) その他の口腔感染症、口腔と全身疾患 | 1) 口腔内の真菌感染症、ウイルス感染症を説明する。(C-4-1)-(2) 2) 口腔疾患と全身疾患との関連を説明する。(E-3-3)-(3)-(3) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 口腔微生物学 p351-363 を読む。 |
| 4月21日 | 三上 正人 | 免疫(1) 免疫の概要、免疫担当細胞 | 1) 免疫系組織について説明する。(C-4-2)-(3) 2) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(C-4-2)-(3) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 口腔微生物学 p210-218 を読む。 |
| 5月12日 | 三上 正人 | 免疫(2) サイトカイン、自然免疫 | 1) サイトカインの種類と機能について説明する。(C-4-2)-(1)(2) 2) サイトカイン産生機構について説明する。(C-4-2)-(3) 3) 自然免疫について説明する。(C-4-2)-(1) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 口腔微生物学 p218-226 を読む。 |
| 5月19日 | 三上 正人 | 免疫(3) 抗原の提示と認識 | 1) 抗原提示細胞について説明する。(C-4-2)-(4) 2) 抗原認識機構について説明する。(C-4-2)-(3) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 口腔微生物学 p227-231 を読む。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|-------|-----------------------------|---|
| 5月26日 | 三上 正人 | 免疫 (4) 獲得免疫、体液性免疫、抗体産生機構 | 1) 獲得免疫について説明する。(C-4-2)-②) 2) 抗体の種類と特徴について説明する。(C-4-2)-②) 3) B細胞の分化・成熟について説明する。(C-4-2)-③) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p232-244 を読む。 |
| 6月2日 | 三上 正人 | 免疫 (5) T細胞の分化・成熟 | 1) T細胞レセプターの遺伝子再構成について説明する。(C-4-2)-②) 2) T細胞の種類と特徴について説明する。(C-4-2)-③) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p245-251 を読む。 |
| 6月9日 | 三上 正人 | 免疫 (6) 細胞性免疫 | 1) 細胞性免疫の担当細胞について説明する。(C-4-2)-③) 2) 細胞性免疫の特徴について説明する。(C-4-2)-②) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p252-257 を読む。 |
| 6月16日 | 三上 正人 | 免疫 (7) 粘膜免疫 | 1) 粘膜関連リンパ組織について説明する。(C-4-2)-⑦) 2) 分泌型 IgA の分泌機構について説明する。(C-4-2)-②) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p258-261 を読む。 |
| 6月23日 | 三上 正人 | 免疫 (8) アレルギー | 1) アレルギーを成立機序に基づき分類する。(C-4-2)-⑤) 2) アレルギー性疾患の種類と病態について説明する。(C-4-2)-⑤) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p265-271 を読む。 |
| 6月30日 | 三上 正人 | 免疫 (9) 免疫不全症、自己免疫疾患 | 1) 免疫不全の発症機序と病態について説明する。(C-4-2)-⑥) 2) 自己免疫疾患の発症機序と病態について説明する。 (C-4-2)-⑥) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p262-265, p271-275 を読む。 |
| 7月7日 | 三上 正人 | 免疫 (10) ワクチン、加齢と免疫 | 1) ワクチンの意義を説明する。(C-4-2)-⑧) 2) ワクチンの種類と副反応について説明する。(C-4-2)-⑧) 3) 加齢による免疫応答の変化について説明する。(C-3-3)-②) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p276-280 を読む。 |
| 7月14日 | 三上 正人 | 免疫 (11) 抗原抗体反応と免疫学的診断 | 1) 免疫学的診断法の原理について説明する。(C-4-2)-②) 2) 抗原抗体反応を利用した診断法の種類と特徴について説明する。 (C-4-2)-②) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p241-244 を読む。 |
| 7月28日 | 三上 正人 | 免疫 (12) 口腔の感染防御機構 | 1) 口腔粘膜による生体防御機構について説明する。(C-4-2)-⑦) 2) 唾液による感染防御機構について説明する。(E-2-2)-⑤) 3) 齒肉溝滲出液による感染防御機構について説明する。(E-3-1)-⑥) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30 分 口腔微生物学 p364-368 を読む。 |

感染微生物学・生体防御学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-------|--------------|-----------------------|
| 三上 正人 | 3 | 前期 | 火・木曜日 | 9:00 ~ 12:00 | 組織・微生物学実習室 (4号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

清潔・不潔の概念を理解しバイオハザードへの対処ができる歯科医師となるために、微生物の観察・培養・検査を通じて、微生物を安全に取り扱う技術を身につける。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|----------|-----------------|---|--------|
| 教科書 葛城啓彰 | 感染微生物学・生体防御学実習書 | | 日本歯科大学 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (25%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (25%)
 実地試験 (25%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (25%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての実地試験 (25%) および多選択肢形式筆記試験 (25%) と、毎回の実習内容についてのレポート (25%)、および実習への参加態度 (25%) により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：木曜日 時間：12:00-13:00 場所：微生物学実習室（4号館2階）

※事前にメールで要予約（メールアドレスは授業中に提示する。）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------------|----------------|--------------------|---|
| 6月5日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | オリエンテーション グラム染色 | 1) 無菌操作を行う。(C-4-1)-④) 2) 細菌をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) |
| 6月10日 (火) | 三上 正人 丸山 昂介 | ブドウ球菌の性状検査 | 1) 細菌をグラム染色する。(C-4-1)-①) 2) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) 3) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) |
| 6月12日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 感染微生物学・生体防御学実習書 p1-24 を読む。 レンサ球菌の性状検査 |
| 6月17日 (火) | 三上 正人 丸山 昂介 | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 感染微生物学・生体防御学実習書 p41-60 を読む。 グラム陰性桿菌の性状検査 |
| 6月19日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 感染微生物学・生体防御学実習書 p41-46, p62-63 を読む。 う蝕病原細菌の性状検査 |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 感染微生物学・生体防御学実習書 p41-46, p61 を読む。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------------|----------------|---|--|
| 6月24日 (火) | 三上 正人 丸山 昂介 | 真菌の性状検査 プラーカ細菌の観察 | 1) 真菌・プラーカをグラム染色する。(C-4-1)-①) 2) 真菌・細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) 3) プラーカを無菌的に培養する。(C-4-1)-④) |
| 6月26日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | 芽胞の観察 唾液細菌の同定検査 (1) | 1) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) |
| 7月1日 (火) | 三上 正人 丸山 昂介 | 異染小体の観察 唾液細菌の同定検査 (2) | 1) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) |
| 7月3日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | 抗酸菌の観察 唾液細菌の同定検査 (3) | 1) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) |
| 7月8日 (火) | 三上 正人 丸山 昂介 | 唾液細菌の同定検査 (4) 血清学的検査 (1) TPPA | 1) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) 4) 試験管内抗原抗体反応を実施する。(C-4-1)-③) |
| 7月10日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | 唾液細菌の同定検査 (5) 血清学的検査 (2) CRP 薬剤感受性試験 (1) | 1) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-4-1)-①) 4) 試験管内抗原抗体反応を実施する。(C-4-1)-③) 5) 細菌の薬剤感受性をディスク法で観察する。(C-4-1)-⑤) |
| 7月15日 (火) | 三上 正人 丸山 昂介 | 薬剤感受性試験 (2) 歯周病原細菌の観察 | 1) 細菌を無菌的に培養する。(C-4-1)-④) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-4-1)-①) 3) 細菌の薬剤感受性をディスク法で観察する。(C-4-1)-⑤) |
| 7月17日 (木) | 三上 正人 丸山 昂介 | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 感染微生物学・生体防御学実習書 p66-70, p108-110 を読む。 |
| | | 実習試験 (技能試験, 記述試験) | |
| | | 準備学習と時間 | 準備時間: 60 分 実習内容について、実習書とレポートで復習しておく。 |

口腔病理学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 岡田 康男 | 3 | 前期 | 水曜日 | 10:40 ~ 12:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態・病理について理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------------------------------|-----------------|-----|------|
| 教科書 楢木恵一, 岡田康男 編著 | 新スタンダード口腔病理学 | 第2版 | 学建書院 |
| 参考書 北川昌伸 監修 | 標準病理学 | 第7版 | 医学書院 |
| 井上 孝, 岡田康男, 長谷川 博雅, 前田初彦 編集主幹 | 病理学総論にもとづく口腔病理学 | 第3版 | 永末書店 |
| 高木 實 監修 | 口腔病理アトラス | 第3版 | 文光堂 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (90%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 病理学講座 (新潟病院3階)
事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--|--|
| 4月9日 | 岡田 康男 | 口腔粘膜疾患(1) (口腔粘膜疾患の分類, 発生, 病態・病理) | 1) 口腔粘膜疾患の分類と病態・病理について説明する。(E-2-4)-(4)-(1, ②) 2) 色素沈着を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(4)-(1, ②) 3) 口腔粘膜感染症の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-(1, ④, ⑥, E-2-4)-(4)-(1, ②) 4) 水疱, びらん, 潰瘍を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-(1, ④, ⑥, ⑦, E-2-4)-(4)-(1, ②, E-4-2)-(7) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の2章A「口腔粘膜疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 |
| 4月16日 | 岡田 康男 | 口腔粘膜疾患(2) (口腔粘膜疾患の分類, 発生, 病態・病理) | 1) 口腔粘膜疾患の分類と病態・病理について説明する。(E-2-4)-(4)-(1, ②) 2) 水疱, びらん, 潰瘍を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-(1, ④, ⑥, ⑦, E-2-4)-(4)-(1, ②, E-4-2)-(7) 3) 紅斑, 白斑を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(4)-(1, ②, E-2-4)-(6)-(5, ⑥) 4) 皮膚科的疾患による口腔侵襲について説明する。 (E-2-4)-(4)-(1, ②, E-2-4)-(10)-(3, E-6-(1, ②)) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の2章A「口腔粘膜疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 |
| 5月7日 | 岡田 康男 | 腫瘍と類似疾患(1) (総論としての口腔腫瘍の分類, 発生, 病態・病理) | 1) 口腔・顎顔面領域腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-(1)~(3) 2) 口腔・顎顔面領域腫瘍類似疾患, エピーリスの分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-(4) 3) 口腔潜在的悪性疾患の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-(5, ⑥) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の2章A「口腔粘膜疾患」, 4章D「軟組織の非歯原性腫瘍」および参考書で講義テーマについて学習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|-------|---------|---|--|--|
| 5月14日 | 岡田 康男 | 腫瘍と類似疾患(2) (総論としての歯原性腫瘍と鑑別疾患の分類、発生、病態・病理) | 1) 歯原性腫瘍の分類、特徴、診断について説明する。(E-2-4)-(6)-①～③) 2) 歯原性腫瘍と鑑別を要する疾患の特徴、診断について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②, E-2-4)-(6)-④) 3) 悪性歯原性腫瘍の分類、特徴、診断について説明する。(E-2-4)-(6)-③) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 教科書の4章A「歯原性腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。 | | |
| 5月21日 | 岡田 康男 | 腫瘍と類似疾患(3) (総論としての非歯原性腫瘍と類似疾患の分類、発生、病態・病理) | 1) 非歯原性腫瘍の分類、特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①) 2) 非歯原性良性腫瘍の分類、特徴、診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-①, ②) 3) 非歯原性悪性腫瘍の分類、特徴、診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-①, ③) 4) 非歯原性腫瘍類似疾患の分類、特徴、診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-④) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 教科書の4章B「顎骨の非歯原性腫瘍」, D「軟組織の非歯原性腫瘍」および参考書で講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月4日 | 東理 賴亮 | 齲蝕症とその関連病変、 齲蝕に継発する病変 (歯髓炎と根尖性歯周炎), 辺縁性歯周炎および顎炎の 病態・病理 | 1) 齲蝕の発生部位による分類について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1, ②) 2) 齲蝕の拡がりによる分類について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1) 3) 齲蝕の経過による分類について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1, ②) 4) 齲蝕の進行度、臨床的検出基準による分類について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1, ②) 5) 齲蝕の病因と予防について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1, ②) 6) エナメル質齲蝕の病態・病理について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1) 7) 象牙質齲蝕の病態・病理について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1) 8) セメント質齲蝕の病態・病理について説明する。 (E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-(1) 9) 齲蝕症の継発症としての歯髓炎の病態・病理について説明する。 (E-3-2)-②, E-3-3)-(2)-①) 10) 齲蝕症の継発症としての根尖性歯周炎の病態・病理について説明する。 (E-3-2)-②, E-3-3)-(2)-①) 11) 辺縁性歯周炎の病態・病理について説明する。 (E-3-2)-③, ④, E-3-3)-(3)-①) 12) 歯周治療後の組織治癒の病態・病理について説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) 13) 智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎について説明する。(E-2-4)-(3)-⑥) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 教科書の8章D「齲蝕」, E「歯髓・象牙質疾患、セメント質の病変」, F「根尖歯周組織の病変」, G「辺縁部歯周組織の病変」, 2章B「顎骨の炎症性疾患」, 9章「疾患の治癒に伴う病理学的变化」および参考書で講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月11日 | 大野 淳也 | 囊胞形成性疾患 (顎骨内囊胞と口腔顎頬面 軟組織囊胞の分類、発生、 病態・病理) (唾液腺停滞囊胞を除く) | 1) 顎骨に発生する歯原性囊胞の分類、病態・病理、診断について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②) 2) 顎骨に発生する非歯原性囊胞の分類、病態・病理、診断について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②) 3) 軟組織に発生する囊胞の分類、病態・病理、診断について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②) 4) 口唇・口腔・顎頬面領域に発生する囊胞の分類、病態・病理、診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 教科書の3章「口腔・顎頬面領域の囊胞」, 8章F「根尖歯周組織の病変」および参考書で講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月18日 | 大野 淳也 | 唾液腺腫瘍 (総論としての唾液腺腫瘍の分類、発生、病態・病理) | 1) 唾液腺腫瘍の分類、病態・病理、診断について説明する。(E-2-4)-(8)-④) 2) 唾液腺腫瘍の発生について説明する。(C-5-6)-②, ⑥) 3) 唾液腺良性腫瘍の病態・病理、診断について説明する。 (C-5-6)-⑤, E-2-4)-(8)-④) 4) 唾液腺悪性腫瘍の病態・病理、診断について説明する。 (C-5-6)-⑤, E-2-4)-(8)-④) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 教科書の5章B「唾液腺の腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。 | | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|----------------|---|--|
| 6月25日 | 大野 淳也 | 唾液腺疾患との関連病変 (唾液腺の炎症、唾石、感染症、囊胞、自己免疫疾患、IgG4関連疾患、加齢に伴う疾患の分類、発生、病態・病理) | <p>1) 唾瘍を除く唾液腺疾患の分類、病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(8)-(1)~(3), (5)~(7)</p> <p>2) 唾液腺炎の分類、病態・病理、診断について説明する。(E-2-4)-(8)-(1)</p> <p>3) 唾石症の分類、病態・病理、診断について説明する。(E-2-4)-(8)-(2)</p> <p>4) 唾液腺に生じる感染症の分類、病態・病理、診断について説明する。 (E-2-4)-(8)-(6)</p> <p>5) 唾液腺に生じる自己免疫疾患の分類、病態・病理、診断について説明する。 (E-2-4)-(8)-(7)</p> <p>6) 唾液腺の加齢に伴う疾患の分類、病態・病理、診断について説明する。 (E-2-3)-(4), E-5-1)-(3)</p> |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の5章A「非腫瘍性疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 |
| 7月2日 | 東理 賴亮 | 歯・顎口腔の発育異常と加齢性変化、歯の損傷・着色と関連病変 | <p>1) 口唇・口蓋・顎頬面の先天異常と後天異常の分類、病因、病態について説明する。(E-2-3)-(3), (4), E-2-4)-(1)-(1)~(4)</p> <p>2) 口腔、舌の先天異常と後天異常の分類、病因、病態について説明する。 (E-2-3)-(3), (4), E-2-4)-(1)-(1), (4)</p> <p>3) 顎関節の先天異常と後天異常の分類、病因、病態について説明する。 (E-2-3)-(4), E-2-4)-(7)-(1), (2)</p> <p>4) 唾液腺の先天異常と後天異常の分類、病因、病態について説明する。 (E-2-3)-(4), E-2-4)-(8)-(1)</p> <p>5) 加齢に伴う口腔組織の構造と機能の変化について説明する。 (E-2-3)-(2), (3), (4)</p> <p>6) 歯の発育異常、大きさ、形、数の異常とその関連病変の病態・病理について説明する。(E-2-3)-(3), (4), E-2-4)-(10)-(5), (6), E-3-1)-(3)</p> <p>7) 歯の萌出、位置、歯列弓、咬合の異常について説明する。 (E-2-3)-(3), E-2-4)-(1)-(1), (3), E-4-1)-(3), E-4-2)-(12)</p> <p>8) 歯の構造異常、機械的・化学的損傷、着色、変色について説明する。 (E-2-3)-(4), E-3-2)-(1), E-3-3)-(1)-(1), E-3-3)-(2)-(6)</p> <p>9) 歯の損傷と喪失の修復過程の病態・病理について説明する。 (E-2-3)-(4), E-2-4)-(2)-(3), E-3-3)-(1)-(1)</p> |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の6章「口腔・顎頬面領域の先天異常」、8章A「歯の発育異常」、8章B「歯の機械的・化学的損傷」、8章C「歯の付着物と着色」、9章5「歯の破折の種類と治癒」および参考書で講義テーマについて学習する。 |
| 7月9日 | 東理 賴亮 | 抜歯創、口腔顎頬面外傷の治癒過程と関連病変 | <p>1) 口腔粘膜部と顎骨部の創傷の治癒における細胞傷害と組織傷害について説明する。(C-5-2)-(1)</p> <p>2) 抜歯創の創傷治癒について説明する。(E-2-4)-(2)-(1)</p> <p>3) 顎頬面骨の骨折の創傷治癒について説明する。(E-2-4)-(2)-(1)</p> |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の9章「疾患の治癒に伴う病理学的变化」と参考書で講義テーマについて学習する。 |
| 7月16日 | 岡田 康男 竹下 賢仁 | 口腔インプラント治療に必要な病理 | <p>1) デンタルインプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-(2)</p> <p>2) デンタルインプラントに必要な検査を説明する。(E-3-4)-(3)-(3)</p> <p>3) デンタルインプラント埋入後の創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明する。(C-4-2)-(3)</p> <p>4) デンタルインプラント埋入後の合併症を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</p> |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書の9章「疾患の治癒に伴う病理学的变化」と参考書で講義テーマについて学習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--|---|
| 7月23日 | 東理 賴亮 | 全身疾患と関連する口腔病変 (代謝異常, ビタミン欠乏・過剰, 内分泌異常, 薬剤副作用や症候群の発生, 病態・病理) | 1) 全身疾患に関連する口腔疾患の種類について説明する。 (E-2-4)-(10)-(1)~(10) 2) 代謝異常による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-(8) 3) ビタミン欠乏・過剰による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-(9) 4) 内分泌異常による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-(5), (6) 5) 薬剤の副作用による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-(7) 6) 口腔領域に徴候をみる症候群の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-(5) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習:30分 教科書の7章「口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 7月30日 | 岡田 康男 | 口腔顎顔面疾患のまとめ | 1) 口腔粘膜疾患の分類と病態・病理について説明する。(E-2-4)-(4)-(1), (2) 2) 口腔・顎顔面領域腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-(1)~(3) 3) 口腔潜在的悪性疾患の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-(5) 4) 歯原性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-(1)~(3) 5) 口唇・口腔・顎顔面領域に発生する囊胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-(1), (2) 6) 唾液腺腫瘍の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 7) 腫瘍を除く唾液腺疾患の分類, 病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(8)-(1)~(3), (5)~(7) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習:30分 教科書と参考書で講義テーマについて学習する。 | |

歯科薬物療法学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|--------|----|----|-------|---------------|---------------------------|
| 福井 佳代子 | 3 | 前期 | 火・金曜日 | 13:00 ~ 16:00 | 薬理学・生理学・衛生学実習室 (5号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

臨床において適正な薬物療法を実践するために、歯科治療で用いられる薬物の薬理作用を理解し、小動物を用いた非臨床試験の実践技術を身につける。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------------------------------|------------|-----|--------|
| 教科書 日本歯科大学新潟生命歯学部 薬理学講座 | 歯科薬物療法学実習書 | | 日本歯科大学 |
| 参考書 鈴木 邦明 ほか | 現代歯科薬理学 | 第7版 | 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (50%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (40点), レポート (50点) および関心・意欲・態度点 (10点) を合計して評価する。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：火・金曜日 時間：16:00 ~ 17:00 場所：薬理学研究室 (5号館3階)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|-------------------------|--|--|
| 5月28日(水) | | 実習前講義 | 1) 実験薬理学の方法論の概略を説明できる。(C-6-2)-①, A-2-2)-③ 2) 実験動物の愛護を倫理面から説明できる。 3) 実習遂行上の注意を述べる。 4) 薬物の適正使用に努める。 |
| | | 準備学習：10分 実習書 p1-2 を参考に実習テーマについての要点を確認する。 | |
| 5月30日(金) | 二宮 一智 福井佳代子 原 基 | 薬物投与法 | 1) 実験動物への薬物投与法を説明できる。(腹腔内注射, 背部皮下注射) の手技を実践する。(C-6-3)-① 2) 実験動物の愛護に努める。 |
| | | 準備学習：10分 実習書 p7-9 を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 6月3日(火) | 仲村健二郎 桑島 治博 中村 康則 | 全身麻酔薬 (1) 吸入麻酔 | 1) マウスに対する吸入麻酔薬の中枢抑制作用を説明できる。 (C-6-2)-②, ③, ⑤, E-1-4)-(4)-①, ② 2) 麻酔前投薬の併用効果を観察し、協力作用を説明できる。 (C-6-2)-②, ③, ⑤, E-1-4)-(4)-①, ② |
| | | 準備学習：10分 実習書 p23-25 を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 6月6日(金) | | 局所麻酔薬 表面麻酔 | 1) 皮膚における表面麻酔手技を実践する。(C-6-3)-① 2) 効形と適用時間の違いによる作用を比較観察し、知覚神経の抑制作用を説明できる。(C-6-2)-②, ③, ⑤, E-1-4)-(4)-①, ② |
| | | 準備学習：10分 現代歯科薬理学第7版第18章 p134-140 局所麻酔薬を参考に実習テーマについて学習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|--|---|---|
| 6月10日(火) | 二宮 一智 福井佳代子 原 基 仲村健二郎 桑島 治博 中村 康則 | ED50 | 1) マウスに対する催眠薬の用量依存的作用を説明できる。(C-6-2)-②, ③ 2) 薬物の用量と作用強度を示す値(ED50)を説明できる。(C-6-2)-②, ③ |
| 6月13日(金) | | 準備学習：10分 実習書 p13-17 を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 6月17日(火) | | 歯科用薬剤の皮膚・粘膜に対する作用 | 1) 歯科用薬剤の皮膚、腸粘膜に対する作用を比較観察し、腐蝕、収れん作用を説明できる。(C-6-2)-②, C-6-4)-① 2) 歯科用薬剤の臨床上有益な作用と有害な作用を説明できる。(C-6-2)-②, C-6-4)-① |
| 6月24日(火) | | 準備学習：10分 実習書 p52 を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 6月27日(金) | | 二重盲検法 | 1) 二重盲検法の概要を説明できる。(C-6-2)-②, ③ 2) カフェインの二重盲検法を実施する。(C-6-2)-②, ③ 3) クレベリン検査用紙を用いてコーヒーに含まれるカフェインの精神運動興奮作用を説明できる。(C-6-2)-② |
| 6月27日(金) | | 準備学習：10分 実習書 p18-22 を参考に実習テーマについて学習する。 | |
| 6月27日(金) | | 実習後講義 | 1) 各実習項目で観察された結果を教科書的知識と関連させて説明できる。(C-6-1)-①, C-6-2)-①, ②, ③, ⑤, C-6-4)-① |
| 6月27日(金) | | 試験 | 1) 各実習項目で観察された結果を教科書的知識と関連させて説明できる。(C-6-1)-①, C-6-2)-①, ②, ③, ⑤, C-6-4)-① |
| 6月27日(金) | | 準備学習：30分 各実習前のスライドによる実習内容の説明および実際に実習から学んだことを確認する。 | |

歯科理工学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 大熊 一夫 | 3 | 前期 | 月曜日 | 14:40 ~ 16:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、歯科修復や治療に使用される材料について、種類、用途、成分、構造、性質、ならびに基本的使用方法を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 | |
|-------|-----------------------------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 | 宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著 | 基礎歯科理工学 | 第1版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 中島 裕, 西山典宏, 宮崎 隆, 米山隆之, 宮川行男 他編 | スタンダード歯科理工学 | 第7版 | 学建書院 |
| | 日本歯科理工学会 編 | 歯科理工学教育用語集 | 第3版 | 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (45%) 論述試験 (45%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 觀察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (45%), 論述試験 (45%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：木曜日 時間帯：17:00 ~ 18:00 場所：歯科理工学教授室（5号館3階）
事前にメールで要予約（メールアドレスは開講日に通知する）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|-------------|---|
| 4月7日 | 大熊 一夫 | 歯冠修復用合金 (1) | 1) 歯冠修復用合金の所要性質を列記する。(D-1-②) 2) 金のカラット表示を説明する。 3) 金の特徴および金合金における各成分元素の役割について述べる。(D-1-②) 4) 鋳造用金合金の種類と用途、基本組成、および性質について説明する。(D-2-②) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p99-102 を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 4月14日 | 大熊 一夫 | 歯冠修復用合金 (2) | 1) 白金加金の特徴について述べる。(D-2-②) 2) 14カラット金合金の特徴について述べる。(D-2-②) 3) 銀の特徴および銀合金における各成分元素の役割について述べる。(D-1-②) 4) 鋳造用金銀パラジウム合金の用途、基本組成、および性質について説明する。(D-2-②, ⑥) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p102-104 を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 4月21日 | 大熊 一夫 | 歯冠修復用合金 (3) | 1) 鋳造用低融銀合金の種類と用途、基本組成、および性質について説明する。(D-2-②) 2) 銀に対する非貴金属元素添加の効果について述べる。(D-1-②) 3) チタンの特徴について述べる。(D-1-②) 4) チタンおよびチタン合金の種類と特徴について説明する。(D-2-⑤) 5) その他の歯冠修復用合金の種類と特徴について述べる。(D-2-②) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p104-106 を参考に講義テーマについて学習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|-------|---------|--|--|--|
| 5月12日 | 五十嵐健輔 | 歯冠修復用陶材 (1) | 1) 歯科用陶材の種類について述べる。(D-1-②, E-3-4)-(1)-②) 2) 歯科用陶材の用途について述べる。(D-1-②) 3) 歯科用陶材の組成について述べる。(D-1-②) 4) CAD/CAM 用セラミックスについて説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p106-109 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |
| 5月19日 | 五十嵐健輔 | 歯冠修復用陶材 (2) | 1) 陶材の熱膨張係数について述べる。(D-1-②) 2) 陶材焼付用合金と陶材の結合様式について述べる。(D-2-②) 3) 陶材焼付貴金属合金冠の陶材の築盛・焼成法について説明する。(D-2-②) 4) 陶材焼付卑金属合金冠の陶材の築盛・焼成法について説明する。(D-2-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p109-115 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |
| 5月26日 | 五十嵐健輔 | 歯冠修復用陶材 (3) | 1) 陶材焼付铸造冠の構造について述べる。(D-2-②) 2) 陶材焼付用合金の所要性質について説明する。(D-2-②) 3) 合金と陶材との結合様式を説明する。(D-2-②) 4) 陶材焼付用合金の種類について説明する。(D-2-②) 5) 陶材焼付用合金の性質について説明する。(D-2-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p111-112, 接合技術 p229-232 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月2日 | 五十嵐健輔 | 歯冠修復関連材料 | 1) ポンティック材, 支台築造材, テンポラリークラウン, ブリッジ材について述べる。(D-2-②) 2) 前ろうと後ろうについて説明する。(D-2-②) 3) テンポラリークラウン・ブリッジについて説明する。(D-2-②) 4) 適合検査材の使用目的, 主成分, および性質について述べる。 (D-2-②, E-3-4)-(1)-⑪) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の金属の加工法 p192-194 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月9日 | 五十嵐健輔 | CAD/CAM 用材料 | 1) CAD/CAM について説明する。(E-3-4)-(1)-②) 2) CAD/CAM 用材料の種類について説明する。(D-2-②) 3) CAD/CAM 用材料の特性について説明する。(D-2-②) 4) CAD/CAM を用いた修復物の作製法について述べる。 (E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学のセラミックスの成形法 p209, 歯科用 CAD/CAM システム p255-261 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月16日 | 五十嵐健輔 | 義歯床用レジン (1) | 1) 加熱重合レジンの成分と重合方法を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩) 2) 床用材料としての加熱重合レジンの特性を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑪) 3) 常温重合レジンの成分と重合方法を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑪) 4) 床用材料としての常温重合レジンの特性を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑪) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p144-147, レジンの加工法 p168-178 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |
| 6月23日 | 五十嵐健輔 | 義歯床用レジン (2) | 1) 射出成形レジンの成分と成形方法を説明する。(D-1-②, D-2-②) 2) 射出成形レジンの特性を説明する。(D-1-②, D-2-②) 3) アクリル系機能印象材の成分と操作方法, および特性を説明する。(D-2-②) 4) 義歯床用裏装材の用途と成分, および特性を説明する。(D-2-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：10分 基礎歯科理工学のレジンの加工法 p178-180 を参考に講義テーマについて学習する。 | | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--------------------|--|
| 6月30日 | 大熊 一夫 | 義歯床用金属材料・義歯維持装置用材料 | 1) 金属床とレジン床の特徴について両者を比較して述べる。(D-2-(2)) 2) 義歯床用金属材料の所要性質を説明する。(D-2-(2), E-3-4)-(2)-(11) 3) 義歯床用貴金属材料の種類、成分、性質を説明する。 (D-2-(2), E-3-4)-(2)-(11) 4) クラスプ用線材に望ましい応力-ひずみ曲線の特徴を説明する。 (D-1-(2), D-2-(2)) 5) 磁性合金の種類、成分、特徴を説明する。(D-2-(2)) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p147-149 を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 7月7日 | 五十嵐健輔 | インプラント・口腔外科用材料 | 1) インプラント用材料の所要性質を述べる。 (D-1-(2), E-3-4)-(3)-(1) 2) インプラント用材料の種類と基本的性質を説明する。(D-1-(2)) 3) 歯根インプラント用材料の種類と性質を説明する。 (D-1-(2), E-3-4)-(3)-(1) 4) 骨補填材・骨修復材の種類と特徴を説明する。(D-1-(2)) 5) 縫合糸用材料の種類と特徴を説明する。 |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p151-159 を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 7月14日 | 五十嵐健輔 | 保存治療用材料 | 1) 根管充填材の種類、成分、および基本的性質を説明する。 (D-1-(2), E-3-3)-(2)-(2) 2) 覆鼈材の種類、成分、および基本的性質を説明する。 (D-1-(2), D-2-(6), E-3-3)-(1)-(5) 3) 裏層材の種類、成分、および基本的性質を説明する。 (D-1-(2), D-2-(6), E-3-3)-(1)-(5) 4) 歯周包帯材の種類、成分、および基本的性質を説明する。 (D-1-(2), D-2-(6)) 5) 仮封材の種類、成分、および基本的性質を説明する。 (D-1-(2), D-2-(6), E-3-3)-(1)-(7) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p132-144 を参考に講義テーマについて学習する。 |
| 7月28日 | 大熊 一夫 | 矯正用材料 | 1) 矯正力付与の機構を説明する。(E-4-1)-(5) 2) 矯正用線材の種類、成分、および性質を説明する。 (D-2-(4), E-4-1)-(5) 3) 超弾性線材の特性とその発現機構について説明する。 (D-2-(4), E-4-1)-(5) 4) その他の矯正用材料の種類、成分、および基本的性質を説明する。 (D-1-(2), D-2-(4), E-4-1)-(5) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p161-166 を参考に講義テーマについて学習する。 |

歯科放射線学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 小椋 一朗 | 3 | 前期 | 水曜日 | 13:00 ~ 14:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査、診断および放射線治療を行うために必要な知識を修得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|---|--------|-----|-------|
| 教科書 岡野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎, 勝又明敏, 林 孝文 編 | 歯科放射線学 | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | | | |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (50%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (50%) と論述形式筆記試験 (50%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：16:30 ~ 17:00 場所：歯科放射線学講座研究室（新潟病院1階）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--------------------------------|--|
| 4月9日 | 小椋 一朗 | パノラマX線撮影 | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(6) 2) 検査法の適応を説明する。(E-1-2)-(6) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト 第4章(2)の要点を確認する。 |
| 4月16日 | 小椋 一朗 | 顔面頭蓋部撮影・X線断層撮影法・造影検査・IVR | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(8) 2) 検査法の種類と特徴を説明する。(E-1-2)-(8) 3) 検査法の適応を説明する。(E-1-2)-(8) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト 第4章(4,5,6,12)の要点を確認する。 |
| 5月7日 | 小椋 一朗 | 口内法X線撮影・画像検査における医療安全 | 1) 検査法の種類と特徴を説明する。(E-1-2)-(6) 2) 検査目的に適した撮影法を説明する。(E-1-2)-(6) 3) 画像検査時の感染対策を説明する。(E-1-2)-(6) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト 第4章(1,13)の要点を確認する。 |
| 5月14日 | 小椋 一朗 | 放射線の物理・放射線の単位・X線撮影装置とX線像の形成 | 1) X線発生装置の構造と機能を説明する。(E-1-2)-(5) 2) X線検出器(フィルムや増感紙を含む)の構造と性質を説明する。(E-1-2)-(5) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト 第2章(1,2), 第3章(1)の要点を確認する。 |
| 5月21日 | 小椋 一朗 | デジタル, フィルムによる撮影・医療情報とデジタル画像の統合 | 1) デジタルX線画像システムの種類と特徴を説明する。(E-1-2)-(4, 5) 2) DICOM, PACS等の医療情報システムについて説明する。(E-1-2)-(4, 5) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト 第3章(2,3), 第4章(14)の要点を確認する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|-------|-----------------------------|---|
| 6月4日 | 小椋 一朗 | 放射線の生物学的影響・放射線影響・医療による放射線防護 | 1) 放射線の人体に対する影響の発現過程と分類を説明する。(E-1-2)-(②) 2) 放射線防護の基本概念を説明する。(E-1-2)-(③) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第2章(3,4,5)の要点を確認する。 |
| 6月11日 | 小椋 一朗 | X線検査 (まとめ1) | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2) 2) 検査法の適応を説明する。(E-1-2) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第2, 3, 4章 の要点を確認する。 |
| 6月25日 | 小椋 一朗 | 歯科用コーンビーム CT・CT | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-(⑨) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第4章(3,7)の要点を確認する。 |
| 7月2日 | 小椋 一朗 | MRI | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-(⑨) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第4章(8)の要点を確認する。 |
| 7月9日 | 小椋 一朗 | 超音波検査・核医学検査 | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-(⑨) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第4章(10,11)の要点を確認する。 |
| 7月16日 | 小椋 一朗 | CT, MRI の顔面・頸部の正常解剖 | 1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-(⑨) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第4章(9)の要点を確認する。 |
| 7月23日 | 小椋 一朗 | がんの放射線治療 | 1) 放射線治療の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-(③) 2) 放射線治療患者の口腔管理を説明する。(E-2-4)-(6)-(③) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第6章(1,2,3,4)の要点を確認する。 |
| 7月30日 | 小椋 一朗 | 放射線と歯科医療 (まとめ2) | 1) 放射線の定義と分類を説明する。(E-1-2)-(①) 2) 電磁放射線と粒子放射線の発生と性質を説明する。(E-1-2)-(①) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 テキスト 第1章(1-2)の要点を確認する。 |

保存修復学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 鈴木 雅也 | 3 | 前期 | 木曜日 | 13:00 ~ 14:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯の硬組織疾患を的確に修復治療し長期にわたって歯の機能性・審美性を維持させるために、硬組織疾患の病因・病態、診察・検査・診断法、治療法および予防法を学習し、歯の硬組織疾患の治療ならびに予防に必要な基本的知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|------------|----------|-----|-------|
| 教科書 千田 彰 他 | 保存修復学 | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 田上順次 他 | 保存修復学 21 | 第六版 | 永末書店 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (100%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日 時間帯：18:00 ~ 19:00 場所：歯科保存学第2講座研究室（7号館4階）
事前にメールで要予約：operativ(at)ngt.ndu.ac.jp

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|---------------------|---|
| 4月10日 | 宮野 侑子 | 保存修復学概説 齲歯①：病因 | 1) 保存修復学の概念と目的を説明する。 2) 齲歯の病因を説明する。(E-3-2)-(1) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：15分 教科書 p1, p6-27 を予習する。 |
| 4月17日 | 宮野 侑子 | 齲歯②：病態 | 1) 齲歯の病態を説明する。(E-3-2)-(1) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：15分 教科書 p6-27 を予習する。 |
| 5月8日 | 鈴木 雅也 | 診療設備、診療姿勢 検査法と診断 | 1) 歯科治療の診療設備と診療姿勢を説明する。(D-1-(1)(3)) 2) 歯の硬組織疾患に対する検査法を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：15分 教科書 p39-48, p58-64 を予習する。 |
| 5月15日 | 鈴木 雅也 | 齲歯の処置法 | 1) エナメル質齲歯の処置法（再石灰化療法を含む）を説明する。 (E-3-3)-(1)-(1) 2) 象牙質齲歯の処置法を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) 3) 根面齲歯の処置法を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：15分 教科書 p71-78 を予習する。 |
| 5月22日 | 鈴木 雅也 | 硬組織の切削 | 1) 硬組織の切削について説明する。(D-1-(1)(3), (E-3-3)-(1)-(1)) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：15分 教科書 p98-110 を予習する。 |
| 5月29日 | 鈴木 雅也 | 窩洞①：分類 | 1) 窩洞の分類を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) 2) 窩洞の構成と各部分の名称を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：15分 教科書 p110-114 を予習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------------|---------------------------|------------------------------------|---|
| 6月2日(月) 5限 | 鈴木 雅也 6月5日(木) 3限と入替 | 窩洞②：具備すべき諸条件 | 1) 窩洞に具備すべき諸条件を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p114-122 を予習する。 | |
| 6月12日 | 佐藤 史明 | 修復治療の前準備・補助法 | 1) 修復時のイニシャルプレパレーションを説明する。(E-3-3)-(1)-(4) 2) 防湿法、歯間分離法、歯肉排除法、隔壁法を説明する。(E-3-3)-(1)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p129-140 を予習する。 | |
| 6月19日 | 佐藤 史明 | 修復方法の種類 (直接法、間接法) 直接修復法概論 | 1) 修復方法の種類(直接法、間接法)と特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) 2) 直接修復法の種類と特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p2-5, p141-170 を予習する。 | |
| 6月26日 | 佐藤 史明 | コンポジットレジン修復① | 1) コンポジットレジンの組成を説明する。(D-2-(1)) 2) コンポジットレジンの種類(分類)を説明する。(D-2-(1)) 3) コンポジットレジン修復の特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p141-170 を予習する。 | |
| 7月3日 | 佐藤 史明 | コンポジットレジン修復② | 1) コンポジットレジン修復窩洞の特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) 2) 光照射器の種類と特徴を説明する。(D-1-(1)) 3) コンポジットレジン修復の適応症を説明する。(E-3-3)-(1)-(3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p141-170 を予習する。 | |
| 7月10日 | 佐藤 史明 | コンポジットレジン修復③ | 1) コンポジットレジン修復の術式を説明する。 (D-2-(1), E-3-3)-(1)-(3)) 2) コンポジットレジン修復の予後を説明する。(E-3-3)-(1)-(8) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p141-170 を予習する。 | |
| 7月17日 | 宮野 侑子 | 直接修復法の接着 | 1) コンポジットレジン修復の接着を説明する。 (D-2-(3), E-3-3)-(1)-(3)) 2) 歯面処理と歯質接着システムを説明する。(D-2-(3)) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p141-145 を予習する。 | |
| 7月24日 | 佐藤 史明 | 変色歯 歯の漂白法 | 1) 変色歯の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(1) 2) 変色歯の処置法を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) 3) 漂白法の作用機序を説明する。(C-6-2)-(2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p35-36, p85-90 を予習する。 | |

歯内療法学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|---------------|------------------------------|---------|
| 両角 俊哉 | 3 | 前期 | 月曜日 (一部水曜) | 9:00 ~ 10:20 (一部 14:40 ~) | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

口腔の健康維持を全身の健康増進へつなげるために、歯の硬組織、歯髓および根尖歯周組織に生じる疾患の病因、病態、検査、診断、治療法について理解し、口腔機能を回復させるために必要な歯内療法の基本的知識を修得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|--------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 興地隆史、ほか編 | 歯内治療学 | 第6版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 興地隆史、ほか編 | エンドodontics | 第6版 | 永末書店 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (40%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

対面・メールとも随時受け付け、病院4階の歯科保存学第1講座研究室にて対応する。

※事前にメールで要予約 (メールアドレスは授業中に提示する)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--------------------------------|--|
| 4月7日 | 両角 俊哉 | 歯内治療学の目的と意義、歴史 歯・歯周組織の構造と機能 | 1) 歯の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明する。 (E-3-1)-(④) 2) 歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明する。 (E-3-1)-(①) 3) 歯髓の構造と機能を説明する。(E-3-1)-(⑤), (E-3-2)-(⑤) 4) 歯周組織の発生、構造及び機能を説明する。(E-3-1)-(⑥) 5) 齒根と歯髓腔の形態と変化を説明する。(E-3-1)-(①), (②) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書 第1, 2章 の要点を確認する。 |
| 4月14日 | 両角 俊哉 | 歯の硬組織疾患 | 1) 歯と歯髓腔の形態異常を説明する。(E-3-1)-(②), (③) 2) 歯の形成不全を説明する。(E-3-1)-(①), (②), (E-3-2)-(①) 3) 歯の損耗を説明する。(E-3-2)-(①), (E-3-3)-(①)-(①) 4) 鹿歯症を説明する。(E-3-3)-(①)-(①) 5) 外傷を説明する。(E-2-4)-(②)-(③) 6) 象牙質知覚過敏症を説明する。 (E-3-2)-(①), (E-3-3)-(①)-(①) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書 第3章 の要点を確認する。 |
| 4月21日 | 両角 俊哉 | 基本術式の概要 (診査・検査)(1) | 1) 歯髓・根尖歯周疾患の診査・検査を説明する。 (E-3-3)-(②)-(①) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30分 教科書 第4章 I (1-7) の要点を確認する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------------|----------------------------|--------------------------------------|---|
| 5月14日 4限 | 新井 恭子 5月12日(月) 1限と入替 | 基本術式の概要 (診査・検査) (2) | 1) 歯髓・根尖歯周疾患の診査・検査を説明する。 (E-3-3)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第4章 I (8-15) の要点を確認する。 | |
| 5月19日 | 清水 公太 | 基本術式の概要 (無菌的処置法, 麻酔法) | 1) 歯内療法時の無菌的処置法を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) 器具の滅菌, 消毒法を説明する。 (E-1-5)-(7), E-3-3)-(2)-(1) 3) 麻酔法 (除痛法) を説明する。(E-1-4)-(3)-(5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第4章 II, III の要点を確認する。 | |
| 5月26日 | 北島佳代子 | 歯髓疾患の概要・原因 | 1) 歯髓疾患の概要を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) 歯髓疾患の原因を説明する。(E-3-2)-(2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第5章 I, II の要点を確認する。 | |
| 6月2日 | 北島佳代子 | 歯髓疾患の分類・臨床症状・特徴・経過 | 1) 歯髓疾患の分類を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) 歯髓疾患の臨床症状を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 3) 歯髓疾患の特徴を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (3) 4) 歯髓疾患の経過を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (3), (4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第5章 III, IV の要点を確認する。 | |
| 6月9日 | 北島佳代子 | 歯髓疾患の診断 | 1) 歯髓疾患の診断を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第5章 V の要点を確認する。 | |
| 6月16日 | 北島佳代子 | 歯髓疾患の治療方針・治療法 | 1) 歯髓疾患の治療方針を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) 歯髓疾患の治療法を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第5章 VI, VII の要点を確認する。 | |
| 6月23日 | 新井 恭子 | 根尖性歯周疾患の概要・原因 | 1) 根尖性歯周疾患の概要を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) 根尖性歯周疾患の原因を説明する。(E-3-2)-(2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第6章 I, II の要点を確認する。 | |
| 6月30日 | 鎌田 将史 | 根尖性歯周疾患の分類・臨床症状・特徴・経過 | 1) 根尖性歯周疾患の分類を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) 根尖性歯周疾患の臨床症状を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 3) 根尖性歯周疾患の特徴を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (3) 4) 根尖性歯周疾患の経過を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (3), (4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第6章 III, IV の要点を確認する。 | |
| 7月9日 4限 | 清水 公太 7月7日(月) 1限と入替 | 根尖性歯周疾患の診査・診断 | 1) 根尖性歯周疾患の診査・診断を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第6章 V の要点を確認する。 | |
| 7月14日 | 鎌田 将史 | 根尖性歯周疾患の治療方針 | 1) 根尖性歯周疾患の治療方針を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第6章 VI の要点を確認する。 | |
| 7月28日 | 新井 恭子 | 前半期の総括 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 第1-6章 の要点を確認する。 | |

歯周疾患治療学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 佐藤 聰 | 3 | 前期 | 月曜日 | 13:00 ~ 14:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯周病学を理解するために、歯周組織についての知識を深め、さらに歯肉炎および歯周炎の病因、病態、検査法、診断、治療法について臨床で必要とされる基礎知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|---------------------------------|-------------------|-------------|
| 教科書 | 村上伸也ら編 特定非営利活動法人 日本歯周病学会編 | 臨床歯周病学 歯周病学用語集 | 第3版 第3版 |
| | 参考書 沼部幸博ら編集主幹 | ザ・ペリオドントロジー | 第4版 永末書店 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (50%) 論述試験 (40%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) の筆記試験と課題提出を含む授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

月曜日・17:00 ~ 18:00・新潟病院4階 歯周病学講座研究室

*事前にメール (ga-shishu(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|---------|------------------------------------|--|
| 4月7日 | 両角 祐子 | 歯周組織の構造と病理変化 | 1) 歯周組織の構造を説明する。(E-3-1)-(6) 2) 歯周組織の機能を説明する。(E-3-1)-(6) 3) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-(6) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 臨床歯周病学1章の要点を確認する。 | |
| 4月14日 | 両角 祐子 | 歯周病の原因と症状 | 1) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(3) 2) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-(3) 3) 歯周病活動性を説明する。(E-3-2)-(3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 臨床歯周病学2章の要点を確認する。 | |
| 4月21日 | 佐藤 聰 | 歯周病のリスクファクター デンタルプラーク | 1) 歯周病のリスクファクターを説明する。(E-3-2)-(3) 2) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(3) 3) 齧石を説明する。(E-3-2)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 臨床歯周病学3, 4章の要点を確認する。 | |
| 5月12日 | 丸山 昂介 | 炎症反応・免疫反応 ペリオドンタルメディシン 遺伝的素因 | 1) 歯周病の免疫応答を説明する。(E-3-2)-(3) 2) 歯周病の発症と進行に関与するサイトカインを説明する。(E-3-2)-(3) 3) ペリオドンタルメディシンを説明する。(E-3-3)-(3)-(1) 4) 歯周病と全身疾患との関連を説明する。(E-3-3)-(3)-(1) 5) 歯周病の遺伝因子を説明する。(E-3-3)-(3)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 臨床歯周病学5-7章の要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|-----------------|--|--|
| 5月19日 | 高塙 智子 | 歯周病の分類 咬合性外傷 | 1) 歯周病の分類を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 咬合性外傷の原因を説明する。(E-3-2)-(3) 3) 咬合性外傷の診断の留意点を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 4) 咬合性外傷の症状を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 5) 咬合性外傷の徵候を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学8, 9章の要点を確認する。 | |
| 5月26日 | 沼部 幸博 (交換講義) | 歯周病における免疫応答と 組織変化 | 1) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(3) 2) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-(3) 3) 歯周病の免疫応答を説明する。(E-3-2)-(3) 4) 歯周病の組織変化を説明する。(E-3-2)-(3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学4, 5章の要点を確認する。 | |
| 6月2日 | 両角 祐子 | 歯周病の疫学 歯周病の検査(1) | 1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 歯周病の疫学的評価に用いる指標を説明する。(E-3-3)-(3)-②) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学10, 11章の要点を確認する。 | |
| 6月9日 | 八板 直道 | 歯周病の検査(2) | 1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学11章の要点を確認する。 | |
| 6月16日 | 両角 祐子 | 歯周病の診断と治療計画 先進的な歯周病の検査 | 1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学12, 13章の要点を確認する。 | |
| 6月23日 | 両角 祐子 | 歯周基本治療(1) 歯周基本治療の概要 応急処置・疼痛への対応 | 1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周基本治療の項目を列挙する。(E-3-3)-(3)-③) 4) 歯周病の急性症状の診断と処置方法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学14, 15章の要点を確認する。 | |
| 6月30日 | 佐藤 聰 | 歯周基本治療(2) プラーカコントロール | 1) 口腔内清掃法の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 2) 口腔内清掃法を列挙する。(E-3-3)-(3)-③) 3) 機械的プラーカコントロールを説明する。(E-3-3)-(3)-③) 4) 化学的プラーカコントロールを説明する。(E-3-3)-(3)-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学16章の要点を確認する。 | |
| 7月7日 | 両角 祐子 | 歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング | 1) スケーリング・ルートプレーニングを説明する。(E-3-3)-(3)-③) 2) スケーラーの構造を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 3) スケーラーを説明する。(E-3-3)-(3)-③) 4) スケーラーの使用法を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 5) シャープニングを説明する。(E-3-3)-(3)-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学17章の要点を確認する。 | |
| 7月14日 | 大森みさき | 歯周基本治療(4) その他の歯周基本治療 (暫間固定・口臭と口呼吸) | 1) 暫間固定を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 2) 口臭の分類を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 口臭の検査法および治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 4) 口呼吸を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学18章の要点を確認する。 | |
| 7月28日 | 佐藤 聰 | 歯周基本治療(5) その他の歯周基本治療 (咬合調整) | 1) 歯周治療における咬合調整を説明する。(E-3-3)-(3)-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 臨床歯周病学18章の要点を確認する。 | |

有床義歯学 I

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 水橋 史 | 3 | 前期 | 月曜日 | 16:20 ~ 17:40 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

部分的歯列欠損および無歯顎の患者に対して有床義歯の製作を行い機能回復を図るために、歯の喪失に伴う変化を理解し、有床義歯治療に必要な検査・診断および基本的治療理論に関する知識を習得する。

| | 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----|--------------------------|----------------|-----|-------|
| 教科書 | 志賀博・横山敦郎・前川賢治 編／三谷春保 原著 | 歯学生のパーシャルデンチャー | 第7版 | 医歯薬出版 |
| | 市川哲雄, 大川周治, 大久保力廣, 水口俊介編 | 無歯顎補綴治療学 | 第4版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 中原 泉, 藤井一維 | 常用歯科辞典 | 第4版 | 医歯薬出版 |
| | 日本補綴歯科学会 | 歯科補綴学専門用語集 | 第6版 | 医歯薬出版 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (60%) 論述試験 (25%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%) と論述形式筆記試験 (25%) および毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (15%) により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月曜日, 金曜日 時間帯：12:00 ~ 13:00 場所：歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
事前にメール (ga-hotetsu1(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------|---------|--|--|
| 4月7日 | 渡會 侑子 | 治療のステップ, 診察, 検査 | 1) 部分床義歯の構造的特徴, 種類, 役割を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 2) 部分床義歯治療の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 部分的歯列欠損患者の診察, 検査を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 4) プロブレムリストに基づく診断を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第14章 を読み, 要点を確認する。 | |
| 4月14日 | 水橋 史 | 加齢に伴う変化, 病態, 補綴治療の意義 | 1) 無歯顎の病態を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 2) 老化に伴う変化を説明する。(E-2-3)-(4) 3) 歯の欠損と繼発症について説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 4) 有床義歯治療の目的と意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 無歯顎補綴治療学 第1～5章, 歯学生のパーシャルデンチャー 第3～6章 を読み, 要点を確認する。 | |
| 4月21日 | 渡會 侑子 | 歯列欠損の分類 | 1) 症型分類の有効性を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 2) 咬合力負担形式の分類について説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 3) 負担形式の違いと義歯の設計を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 4) Kennedy 分類, Eichner 分類を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第10章 を読み, 要点を確認する。 | |
| 5月12日 | 水橋 史 | サベイング | 1) サベイングの目的を理解する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) サベイヤーの構造を理解する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) サベイングの手順を理解する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) サベイングから解ることを説明する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第17章 を読み, 要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------------|----------------------------|--|---|
| 5月23日(金) 1限 | 渡會 侑子 5月19日(月) 5限と入替 | 義歯の構成要素と材料 | 1) 部分床義歯の構造的特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 2) 部分床義歯の構成要素の種類を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 3) 部分床義歯の構成要素の役割を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 4) 部分床義歯治療の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第8章 を読み、要点を確認する。 | |
| 5月26日 | 水橋 史 | 下顎運動、咬合器 | 1) 下顎運動と下顎位を説明する。(E-2-1)-(7) 2) 各種咬合器の構造と特徴について説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 調節性咬合器の操作法について説明する。(E-3-4)-(1)-(10) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第7章・第20章 を読み、要点を確認する。 | |
| 6月5日(木) 3限 | 渡會 侑子 6月2日(月) 5限と入替 | 咬合様式 (中心咬合位・偏心位) | 1) 有床義歯の咬合様式について説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) 有床義歯と有歯頸の咬合様式の違いについて説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 偏心位の接触様式について説明する。(E-3-4)-(2)-(10) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第6章・第23章 を読み、要点を確認する。 | |
| 6月9日 | 渡會 侑子 | 義歯の支持 | 1) 残存組織の支持能力を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 2) 部分床義歯の支持の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 3) 義歯床下組織の生物力学について説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 4) 支台歯の生物力学について説明する。(E-3-4)-(2)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第11章 を読み、要点を確認する。 | |
| 6月16日 | 水橋 史 | 義歯の維持・把持 | 1) 部分床義歯の維持について説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 2) 構成要素における維持装置について説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 3) 支台装置の種類と分類を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) 支台装置の構造、働きについて説明する。(E-3-4)-(2)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第11章 を読み、要点を確認する。 | |
| 6月23日 | 渡會 侑子 | 義歯の設計概念(1) | 1) 義歯の設計概念を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 義歯設計の理論背景について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 金属床義歯とレジン床義歯の比較について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 4) 歯列欠損の分類に基づく設計について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第16章・第17章・第21章 を読み、要点を確認する。 | |
| 6月30日 | 浅沼 直樹 | 義歯の設計概念(2) | 1) 義歯の設計概念を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 義歯設計の理論背景について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) サベイングの目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 歯列欠損の分類に基づく設計について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第16章・第17章・第21章 を読み、要点を確認する。 | |
| 7月7日 | 浅沼 直樹 | 支台装置 | 1) 各種クラスプのデザインについて説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 2) 各種アタッチメントのデザインについて説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 3) 線鉤と铸造鉤の違いについて説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) フックとスパーについて説明する。(E-3-4)-(2)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第8章・第11章・第12章 を読み、要点を確認する。 | |
| 7月14日 | 水橋 史 | 連結装置 | 1) 連結装置の設計要件を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 連結装置の特性を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 連結装置の具備条件を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 4) 連結装置用の材料について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第8章・第13章 を読み、要点を確認する。 | |
| 7月28日 | 水橋 史 | 総括 | 1) 義歯の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(2) 2) 欠損分類と欠損様式について列挙する。(E-3-4)-(2)-(3) 3) 部分床義歯の設計原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 4) 前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第14章 を読み、要点を確認する。 | |

有床義歯学Ⅱ

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 水橋 史 | 3 | 前期 | 水曜日 | 14:40 ~ 16:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

部分的歯列欠損および無歯顎の患者に対して有床義歯の製作を行うために、残存組織保全と機能回復向上の両立を図ることが不可欠なことを理解し、治療計画を立案して有床義歯を製作する理論と方法を習得する。

| | 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----|--------------------------|----------------|-----|-------|
| 教科書 | 志賀博・横山敦郎・前川賢治 編／三谷春保 原著 | 歯学生のパーシャルデンチャー | 第7版 | 医歯薬出版 |
| | 市川哲雄, 大川周治, 大久保力廣, 水口俊介編 | 無歯顎補綴治療学 | 第4版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 中原 泉, 藤井一維 | 常用歯科辞典 | 第4版 | 医歯薬出版 |
| | 日本補綴歯科学会 | 歯科補綴学専門用語集 | 第6版 | 医歯薬出版 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (60%) 論述試験 (25%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%) と論述形式筆記試験 (25%) および毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (15%) により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月曜日, 金曜日 時間帯：12:00 ~ 13:00 場所：歯科補綴学第1講座研究室（7号館3階）
事前にメール (ga-hotetsu1(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------------|----------------------------|---|--|
| 4月9日 | 渡會 侑子 | 前処置 | 1) 補綴的前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 外科的前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) レストシートを付与する意義について説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) ガイドプレーンを付与する意義について説明する。(E-3-4)-(2)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第8章, 歯学生のパーシャルデンチャー 第18章 を読み, 要点を確認する。 | |
| 4月16日 | 浅沼 直樹 | 概形印象採得, 研究用模型, 個人トレー | 1) 印象採得材料について説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 概形印象の目的・方法について説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 3) 印象法の種類について説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 4) 研究用模型の製作方法について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 5) 個人トレーの製作手順を列挙する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第9章, 歯学生のパーシャルデンチャー 第19章 を読み, 要点を確認する。 | |
| 5月7日 | 水橋 亮 | 筋圧形成, 精密印象採得, 作業用模型, 咬合床 | 1) 筋圧形成の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 精密印象採得法を説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 3) 作業用模型の製作手順を列挙する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 咬合床の製作について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第9章・第10章, 歯学生のパーシャルデンチャー 第19章 を読み, 要点を確認する。 | |
| 5月12日(月) 1限 | 渡會 侑子 5月14日(水) 4限と入替 | フレームワークの製作 | 1) 最終設計の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) ブロックアウト・リリーフについて説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 耐火模型の製作手順について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) フレームワークの製作手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習:30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第22章 を読み, 要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------------|---------------------------|--|---|
| 5月21日 | 水橋 亮 | 咬合採得(1) 垂直的顎間関係の記録 | 1) 仮想咬合平面の決定について説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 垂直的顎間関係の記録法を説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 3) 形態的・機能的根拠に基づく方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(6) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第10章、歯学生のパーシャルデンチャー 第20章を読み、要点を確認する。 |
| 6月4日 | 水橋 史 | フェイスボウトランスファー、 咬合器 | 1) フェイスボウトランスファーの意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(8) 2) 各種咬合器の構造と特徴について説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 咬合器の顎路調節法について説明する。(E-3-4)-(1)-(8) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第20章を読み、要点を確認する。 |
| 6月11日 | 水橋 史 | 咬合採得(2) 水平的顎間関係の記録、 チェックバイト、顎路調節 | 1) 水平的顎間関係の記録法を説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 下顎運動の記録法を説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 3) チェックバイト法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8) 4) 顎路調節方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第10章・第11章、歯学生のパーシャルデンチャー 第20章を読み、要点を確認する。 |
| 6月25日 | 渡會 侑子 | 人工歯の選択・排列、咬合 様式 | 1) 標示線について説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 2) 人工歯の選択法について説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 3) 前歯部人工歯の排列について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 白歯部人工歯の排列基準について説明する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第12章、歯学生のパーシャルデンチャー 第20章・第23章を読み、要点を確認する。 |
| 7月2日 | 渡會 侑子 | 歯肉形成、ろう義歯試適 | 1) ろう義歯製作に必要な器材を列挙する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 歯肉形成の方法と意義について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) ろう義歯試適について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) パラトグラム法について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第13章、歯学生のパーシャルデンチャー 第23章を読み、要点を確認する。 |
| 7月7日(月) 1限 | 渡會 侑子 7月9日(水) 4限と入替 | 埋没・重合・削合 | 1) 埋没法と材料について説明する。(E-3-4)-(2)-(11), (12) 2) 重合法と材料について説明する。(E-3-4)-(2)-(11), (12) 3) 咬合器再装着の手順について説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 人工歯の削合法について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第14章、歯学生のパーシャルデンチャー 第24章を読み、要点を確認する。 |
| 7月16日 | 水橋 史 | 義歯の装着、調整、指導、 予後管理 | 1) 装着手順について説明する。(E-3-4)-(2)-(13) 2) 患者教育について説明する。(E-3-4)-(2)-(13) 3) 義歯の予後管理について説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 4) 義歯と残存組織の変化について説明する。(E-3-4)-(2)-(14) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第15～17章、歯学生のパーシャルデンチャー 第25～27章を読み、要点を確認する。 |
| 7月23日 | 隅田 由香 (交換講義) | 顎頬面補綴 | 1) 顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態について説明する。 (E-3-4)-(2)-(1) 2) 顎頬面補綴の特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 3) 顎義歯の製作過程を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第22章、歯学生のパーシャルデンチャー 第32章を読み、要点を確認する。 |
| 7月30日 | 水橋 史 | 高齢者への対応、義歯の種 類、総括 | 1) 暫間義歯、即時義歯について説明する。(E-3-4)-(2)-(2) 2) 治療用義歯について説明する。(E-3-4)-(2)-(2) 3) オーバーデンチャー、インプラント補綴について説明する。 (E-3-4)-(2)-(2) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習:30分 無歯顎補綴治療学 第18～20章・第23～24章、歯学生のパーシャルデンチャー 第28～33章を読み、要点を確認する。 |

歯科矯正学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 太田 信 | 3 | 前期 | 金曜日 | 9:00 ~ 10:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

国民の健康に寄与し患者の QOL の向上に資する歯科医師となるために、矯正歯科治療の必要性および基本的な知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|--------------|-------|-----|-------|
| 教科書 後藤滋巳 他 著 | 歯科矯正学 | 7 版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | | | |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (86%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (14%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (86%) と授業に対する関心・意欲・態度 (14%) により評価を行う。態度評価には、遅刻・欠席の評価を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

金曜日の 17:00 – 18:00 7号館 4階歯科矯正学講座研究室

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|------|--|---|
| 4月11日 | 太田 信 | 矯正歯科治療の目的と意義 | 1) 歯科矯正学の定義を述べる。(E-4-1)-① 2) 矯正歯科治療の目的と意義を説明する。(E-4-1)-① 3) 不正咬合によって生じる障害を列記する。(E-4-1)-③ |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 15 分 教科書 p9-14 を読み、要点を確認する。 |
| 4月18日 | 亀田 剛 | 成長発育概論 頭蓋および顎顔面骨の発生 および成長(1) 頭部の発生 | 1) 身体の成長発育について説明する。(C-3-2)-③) 2) 頭部の発生を説明する。(E-2-3)-②) 3) 口唇裂、口蓋裂、顔面裂について述べる。(E-2-3)-③) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30 分 教科書 p15-29 を読み、要点を確認する。 |
| 5月9日 | 亀田 剛 | 頭蓋および顎顔面骨の発生 および成長(2) 頭蓋骨の発生・頭蓋骨の 成長発育 脳頭蓋の成長発育 顔面頭蓋の成長発育 | 1) 頭蓋冠の成長発育を説明する。(C-3-2)-③) 2) 頭蓋底の成長発育を説明する。(E-2-3)-③) 3) 顔面頭蓋の成長発育を説明する。(E-2-3)-②) 4) 鼻上顎複合体の成長発育・成長機構を説明する。(E-2-3)-②) 5) 下顎骨の成長発育・成長機構を説明する。(E-2-3)-②) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 30 分 教科書 p29-44 を読み、要点を確認する。 |
| 5月16日 | 後藤 翔 | 咬合概論 正常咬合 正常咬合の概念 正常咬合の成立とその保持 条件 | 1) 下顎位・咬合位・顎運動を説明する。(E-4-1)-④) 2) 正常咬合の概念を説明する。(E-4-1)-②) 3) 正常咬合の成立とその保持条件を列記する。(E-4-1)-②) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習: 45 分 教科書 p66-86 を読み、要点を確認する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------------|---------------------------|--|---|
| 5月19日(月) 5限 | 後藤 翔 5月23日(金) 1限と入替 | 不正咬合 不正咬合の疫学・不正咬合の種類 不正咬合の分類 | 1) 不正咬合のとらえ方を述べる。(E-2-2)-(③) 2) 不正咬合の定義を説明する。(E-4-1)-(③) 3) 不正咬合を分類する。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p86-100 を読み、要点を確認する。 |
| 5月28日(水) | 太田 信 | 不正咬合の原因と予防 (1) 不正咬合の原因のとらえ方・先天的原因 | 1) 不正咬合の原因と考えられる要素を説明する。(E-4-1)-(③) 2) 不正咬合の先天的原因を列記する。(E-4-1)-(③) 3) 不正咬合の原因、種類、診査、診断、治療および予防法を述べる。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p101-110, p117-122 を読み、要点を確認する。 |
| 5月30日 | 太田 信 | 不正咬合の原因と予防 (2) 後天的原因 | 1) 不正咬合の後天的原因を説明する。(E-4-1)-(③) 2) 不正咬合の原因、種類、診査、診断、治療および予防法を列記する。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 20分 教科書 p110-116, p117-122 を読み、要点を確認する。 |
| 6月6日 | 亀田 剛 | 矯正歯科治療に伴う生体反応 | 1) 矯正歯科治療に対する生体反応を全身的・局所的に区分して説明する。(E-4-1)-(⑧) 2) 矯正力に対する歯・歯周組織・顎骨の反応を説明する。(E-4-1)-(⑧) 3) 矯正歯科治療により起こりうる医原性障害を列記する。(E-4-1)-(⑨) 4) 適正な矯正力に対する生体反応とその評価基準を説明する。(E-4-1)-(⑧) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p123-135 を読み、要点を確認する。 |
| 6月13日 | 亀田 剛 | 診断 診断の基礎・医療面接と診察 | 1) 矯正歯科治療の目標と流れを述べる。(E-4-1)-(①) 2) 矯正歯科治療のための問題志向型診療システムを説明する。(E-4-1)-(③) 3) 矯正歯科治療におけるインフォームドコンセントを説明する。(E-4-1)-(③) 4) 矯正歯科治療のための医療面接、診察を説明する。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p136-144 を読み、要点を確認する。 |
| 6月27日 | 瀬戸 淑子 | 検査 (1) 形態的検査 1 全身的検査・顔面写真・ 口腔内写真 口腔模型・画像検査 機能検査 | 1) 矯正歯科治療における全身的検査を列記する。(E-4-1)-(③) 2) 矯正歯科治療における顔面・口腔内写真の検査・分析を説明する。(E-4-1)-(③) 3) 矯正歯科治療における口腔模型の検査・分析を説明する。(E-4-1)-(③) 4) 矯正歯科治療における画像検査を説明する。(E-4-1)-(③) 5) 矯正歯科治療のための機能検査を説明する。(E-4-1)-(③) 6) 機能的下顎近心咬合、機能的下顎遠心咬合を述べる。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 45分 教科書 p145-157, p170-176 を読み、要点を確認する。 |
| 7月4日 | 瀬戸 淑子 | 検査 (2) 形態的検査 2 頭部エックス線規格写真分析 | 1) セファログラムの撮影規格・種類・撮影目的を記述する。(E-4-1)-(③) 2) セファロ分析の計測点と計測平面の定義を説明する。(E-4-1)-(③) 3) Downs 法の計測項目とその臨床的意義を述べる。(E-4-1)-(③) 4) Northwestern 法の計測項目とその臨床的意義を述べる。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p158-170 を読み、要点を確認する。 |
| 7月11日 | 瀬戸 淑子 | 検査 (3) 形態的検査 3 頭部エックス線規格写真分析 | 1) Tweed 法の計測項目とその臨床的意義を述べる。(E-4-1)-(③) 2) ポリゴン図表の臨床的意義を説明する。(E-4-1)-(③) 3) 軟組織検査を列挙する。(E-4-1)-(③) 4) セファロの重ね合わせを説明する。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p158-170 を読み、要点を確認する。 |
| 7月18日 | 後藤 翔 | 治療目標・治療方針・治療計画の立案 | 1) 不正咬合を診断する。(E-4-1)-(③) 2) 治療方針の立案に必要な事項を説明する。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 15分 教科書 p177-181 を読み、要点を確認する。 |
| 7月25日 | 太田 信 | 矯正歯科治療における抜歯 | 1) 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を述べる。(E-4-1)-(③) 2) Tweed の抜歯基準を説明する。(E-4-1)-(③) 3) 連続抜去法の意義と目的を説明する。(E-4-1)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p182-189 を読み、要点を確認する。 |

口腔顎顔面外科学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 戸谷 収二 | 3 | 前期 | 金曜日 | 10:40 ~ 12:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

口腔顎顔面領域を全身の一部として捉え、適切な診断と十分な医科歯科連携を行える歯科医師となるために、口腔・顎顔面領域に生じる疾患の特徴と病因および診断の基本的概念を理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|--------------------------------|------------------------|-----|-------|
| 教科書 榎本昭二 ほか監修, 又賀 泉 ほか編集 | 最新口腔外科学 | 第5版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 栗田賢一 ほか監修, 柴田孝典 ほか編集 | SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療 | 第6版 | 永末書店 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (99%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 觀察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (1 %)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (99%) と、講義の出席状態で (1 %) で評価する。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

ga-kogeka(at)ml.ngt.ndu.ac.jp にメールで質問すること。(件名に学生No.氏名、授業担当者名を入れる)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|---|--|
| 4月11日 | 戸谷 収二 | 先天異常総論 | 1) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天性異常を概説する。 (E-2-4)-(1)-(1) 2) 口唇・口蓋裂の病態を概説する。(E-2-4)-(1)-(2) 3) 顎変形症の病態と治療を概説する。(E-2-4)-(1)-(3) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30 分 教科書 p140-141, 127-138, 141-148 を読み、要点を確認する。 | |
| 4月18日 | 小林英三郎 | 損傷総論 | 1) 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を概説する。 (E-2-4)-(2)-(1) 2) 歯の外傷、歯槽骨骨折および顎顔面骨折を概説する。(E-2-4)-(2)-(3)(4) 3) 歯、顎骨および軟組織の外傷時の検査・診断法を概説する。 (E-2-4)-(2)-(3)(4)(5) 4) 骨折の治療の原則を概説する。(E-2-4)-(2)-(2)(4) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30 分 教科書 p149-153, 158-165, 492, 684-687 を読み、要点を確認する。 | |
| 5月9日 | 小林英三郎 | 炎症総論 | 1) 炎症の定義を説明する。(C-5-5)-(1) 2) 急性炎症と慢性炎症の特徴を説明する。(E-2-4)-(3)-(2) 3) 歯性感染症の経過、原因菌と感染経路を概説する。(E-2-4)-(3)-(1) 4) 主な歯性感染症・特異性炎を概説する。(E-2-4)-(3)-(4)(6)(7) 5) 炎症の診断に必要な検査法を説明する。(E-2-4)-(3)-(3) 6) 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明する。(E-2-4)-(3)-(5) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30 分 教科書 p174-178, 187-210, 743-750 を読み、要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|----------|---------|---|--|--|
| 5月16日 | 戸谷 収二 | 口腔粘膜疾患 | 1) 口腔粘膜疾患の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(4)-①) 2) 水疱, 紅斑, びらん, 潰瘍, 白斑, 色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説する。(E-2-4)-(4)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p214-253 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 5月23日 | 赤柴 竜 | 囊胞性疾患 (顎骨とその周囲に発生する囊胞, 軟組織に発生する囊胞) | 1) 囊胞の定義と一般的な特徴を説明する。 2) 口腔・顎頤面領域に発生する囊胞の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(5)-①) 3) 口腔・顎頤面領域に発生する囊胞の一般的な症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p272-291 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 5月28日(水) | 小根山隆浩 | 腫瘍性疾患 (2) (非歯原性腫瘍, 肿瘍類似疾患, エプーリス) | 1) 非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(6)-①②) 2) 肿瘍類似疾患の種類と特徴を列举する。(E-2-4)-(6)-④) 3) エプーリスの特徴, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(6)-④) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p327-341, 367-371 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 5月30日 | 水谷 太尊 | 腫瘍性疾患 (1) (歯原性腫瘍) | 1) 口唇・口腔・顎頤面領域に発生する腫瘍の一般的な症状, 診断法(組織診, 画像診断) および治療法を概説する。(E-2-4)-(6)-②) 2) 歯原性腫瘍の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(6)-①②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p292-312, 313-327 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 6月6日 | 赤柴 竜 | 腫瘍性疾患 (3) (前癌病変, 悪性腫瘍) | 1) 前癌病変(白板症, 紅板症)の特徴, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(6)-⑤) 2) 前癌状態の種類と特徴を列举する。(E-2-4)-(6)-⑥) 3) 口腔癌の特徴, 予防, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-③) 4) 口腔領域の悪性腫瘍の種類, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-③) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p372-387 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 6月13日 | 中谷 佑哉 | 顎関節疾患総論 | 1) 顎関節疾患の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-①) 2) 顎関節疾患(外傷, 脱臼, 炎症, 顎関節症, 顎関節強直症)の症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(7)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p412-430 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 6月27日 | 赤柴 竜 | 唾液腺疾患 (唾石症, 唾液腺炎, 肿瘍) | 1) 唾石症の特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-②) 2) 唾液腺炎の種類と特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-③) 3) 唾液腺腫瘍の種類と特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-④) 4) 流行性耳下腺炎の特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-⑥) 5) Sjögren症候群の特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-⑦) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p372-387 を読み, 要点を確認する。 | | |
| 7月4日 | 中谷 佑哉 | 神経性疾患 (三叉神経痛, 顔面神経麻痺, 三叉神経麻痺) | 1) 口腔・顎頤面痛について概説する。(E-2-4)-(9)-①) 2) 三叉神経痛の原因, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(9)-②) 3) 顔面神経麻痺の原因, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(9)-③) 4) 三叉神経麻痺(感覺麻痺, 運動麻痺)の原因, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(9)-④) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p412-430 を読み, 要点を確認する。 | | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|-------|---------|---|---|--|
| 7月11日 | 戸谷 収二 | 血液疾患総論 | 1) 口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）の症状とスクリーニング検査法を概説する。(E-2-4)-(10)-① | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p48-51, 254-271 を読み、要点を確認する。 | | |
| 7月18日 | 小根山隆浩 | 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患(1) (アレルギー、膠原病、免疫不全、薬物副作用、代謝障害、ビタミン欠乏) | 1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙する。(E-2-4)-(10)-③) 2) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙する。(E-2-4)-(10)-⑦) 3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙する。(E-2-4)-(10)-⑧) 4) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙する。(E-2-4)-(10)-⑨) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p178-186, 212, 468-468 を読み、要点を確認する。 | | |
| 7月25日 | 戸谷 収二 | 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患(2) (症候群、系統的骨疾患) | 1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙する。(E-2-4)-(10)-⑤) 2) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断、治療を列挙する。(E-2-4)-(10)-⑥) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p452-464 を読み、要点を確認する。 | | |

総合基礎医学演習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------------------------|---------|
| 佐藤 聰 | 3 | 前期 | 木曜日 | 14:40 ~ 16:00 16:20 ~ 17:40 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

基礎系科目と臨床系科目の連関性を意識し、1年次～3年次の各科目のコアカリキュラムに則った内容を総合的に理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|--------------|---|-----|
| 教科書 | 各分野で指定された教科書 | | |
| 参考書 | | | |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 觀察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (%)

成績評価方法

年度末に第3学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、67点以上で単位を認定する。
(当該科目は、後期日程にも記載してある。)

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月～金曜日 時間：17:00～18:00 場所：各科目講座研究室

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------------|---------|---|--|
| 4月10日 | 鳥海 拓 | 頭頸部の解剖と発生歯のかたち | 1) 頭頸部を構成する骨・筋・脈管・神経に関する基礎的知識を説明する。 (E-2-1)-②, ③, ④, ⑤) 2) 歯の解剖学に関する基礎的知識を説明する。(E-3-1)-②, ③) 3) 初期発生および頭頸部の発生に関する基礎的知識を説明する。 (C-3-2)-①, (E-2-3)-①) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：45分 事前に配布するレジメをダウンロードし、該当範囲を教科書で復習をする（なお、授業日当日にレジメの印刷物を配布しない）。 | |
| 4月10日 5限 | 石井 瑞樹 | 医療統計学と社会歯科学の振り返り | 1) 変数および尺度の種類と性質を説明する。(B-2-2)-④) 2) 記述統計の基本的知識について説明する。(B-2-2)-④) 3) 疫学研究の方法論を説明する。(B-2-2)-④) 4) 医の倫理における基本原則を説明する。(A-1-1)-①) 5) 歯科医療関係法の内容を説明する。(B-2-1)-①, ③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：45分 医療統計学の講義プリントおよび「スタンダード社会歯科学」にて該当範囲の確認・復習を行う。 | |
| 4月17日 | 佐藤 義英 | 興奮性膜と興奮伝導 | 1) 神経の活動電位の発生機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(8) 2) 神経の活動電位の伝導機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(8) 3) ニューロンの機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(7) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：45分 教科書 p16-34 を読み、要点を確認する。 | |
| 4月17日 5限 | 鴨田 剛司 | 地域保健活動 | 1) 母子保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 2) 学校保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 3) 産業保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 4) 成人・高齢者に対する保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：45分 「口腔衛生学 2022」を参考に講義テーマについて学習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|------------|-------|--|---|
| 5月8日 | 森田 貴雄 | 生化学（生体基本物質と硬組織成分の種類と代謝） | 1) 基本生体物質（タンパク質・糖・脂質・核酸）の構造、機能および代謝を理解する。C-2-1), 2), 3), C-2-2) ①③ 2) 硬組織の成分と代謝および骨リモデリングの調節機構を説明する。C-2-4) ③, C-3-4)-(2)④⑤, E-3-1) ④, C-3-4)-(9)① |
| | | | 準備学習と時間 準備学習：30分 事前に配布する講義資料をダウンロードし、講義内容の要点を確認しておく。 |
| 5月8日 5限 | 岡田 康男 | 病理 2年生後期「病理学」と3年生前期「口腔病理学」の内容を関連付けた臨床病理 | 1) 口腔・顎顔面領域の疾患について説明する。(E-2-4)-(1)~(8) 2) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患について説明する。(E-2-4)-(10)-①~⑩) 3) 医師と連携するために必要な医学的知識について説明する。(E-6-①~③) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習：45分 教科書の標準病理学、スタンダード口腔病理学の必要箇所を学習する。 |
| 5月15日 | 三上 正人 | 微生物 | 1) 病原微生物の構造を説明する。(C-4-1)-①) 2) 病原微生物の病原因子を説明する。(C-4-1)-②) 3) 感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習：45分 2年次の学習範囲を教科書と講義プリントで確認する。 |
| 5月22日 | 二宮 一智 | 生体と薬理 | 1) 薬物と医薬品 医薬品の基本的事項（分類、開発と評価）を理解する。(A-6-1) 2) 薬理作用の基本 薬物（和漢薬を含む）の作用に関する基本的事項を理解する。(A-6-2) 3) 薬物の投与方法と体内動態 投与された薬物の生体内運命を理解する。(A-6-3) 4) A 薬物の副作用と有害事象を考慮した薬物治療の基本原理 薬物（和漢薬を含む）の副作用・有害事象の種類及び連用と併用の影響を考慮した薬物治療の基本的事項を理解する。(A-6-4) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習：45分 現代歯科薬理学 第7版 を復習する。 |
| 5月29日 | 辻村麻衣子 | 組織学 (歯周組織の構造) | 1) セメント質の組織構造を説明する。(E-3-1)-⑥) 2) 齒根膜の組織構造を説明する。(E-3-1)-⑥) 3) 齒肉の組織構造を説明する。(E-3-1)-⑥) 4) 齒槽骨の組織構造を説明する。(E-3-1)-⑥) 5) 齒と歯周組織の発生の概要を説明する。(E-3-1)-①⑥) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習：45分 歯周組織に関して、口腔組織学の教科書「口腔の発生と組織」を確認する。 |
| 6月5日 | 大熊 一夫 | 理工 インプラント・口腔外科用材料 | 1) チタンおよびチタン合金の基本的性質を説明する。(D-1-②) 2) インプラント用材料としてのチタンおよびチタン合金の種類と性質を説明する。(D-2-⑤) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習：45分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p105-106, p152-153 を参考に講義テーマについて学習する。 |

第3学年 後期授業科目 目次

| | |
|-------------------------|----|
| 病 理 診 斷 学 実 習 | 60 |
| 歯 科 放 射 線 学 | 62 |
| 保 存 修 復 学 | 64 |
| 歯 冠 補 級 架 工 義 齒 学 | 66 |
| 歯 内 療 法 学 | 68 |
| 歯 周 疾 患 治 療 学 | 70 |
| 有 床 義 齒 学 実 習 | 72 |
| 歯 科 矯 正 学 | 74 |
| 歯 科 矯 正 学 実 習 | 76 |
| 小 児 齒 科 学 | 78 |
| 地 域 包 括 ケ ア 学 II | 80 |
| 地 域 包 括 ケ ア 学 実 習 | 82 |
| 口 腔 頸 顔 面 外 科 学 | 84 |
| 口 腔 肿 癌 学 | 86 |
| 歯 科 症 候 学 演 習 | 90 |
| 総 合 基 礎 医 学 演 習 | 94 |

病理診断学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|-------------------|
| 岡田 康男 | 3 | 後期 | 月曜日 | 9:00 ~ 12:00 | ITセンター (2号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態・病理を理解する。

| | 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----|--|--|-------------------|----------------------|
| 教科書 | 高木 實 監修 日本歯科大学新潟生命歯学部 病理学講座 | 口腔病理アトラス 病理診断学実習書 | 第3版 | 文光堂 |
| 参考書 | 榎木恵一, 岡田康男 編著 井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編集主幹 北川昌伸 監修 | 新スタンダード口腔病理学 病理学総論にもとづく口腔病理学 標準病理学 | 第2版 第3版 第7版 | 学建書院 永末書店 医学書院 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (40%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての毎回の課題 (レポート) (40%) と実習に対する関心・意欲・態度・レポート提出状況 (20%) および客観試験 (40%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 病理学講座 (新潟病院3階)
事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---|---|--|
| 9月29日 | | 感染症(1) (頸放線菌症, 頸部リンパ節結核) | 1) 感染症の病態, 病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-(1, ④, E-2-4)-(10)-(2) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1~4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p109-112, 115, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 10月6日 | 岡田 康男 東理 賴亮 大野 淳也 長谷川 仁 佐野 拓人 林 俊郎 小澤 一嘉 木暮 ミカ 野原 史子 勝田 仁江 | 感染症(2) (急性偽膜性カンジダ症) 口腔粘膜疾患(1) (尋常性天疱瘡, 類天疱瘡) | 1) 感染症の病態, 病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-(1, ④, E-2-4)-(10)-(2) 2) 口腔粘膜疾患の種類, 病態, 病理について説明する。(E-2-4)-(4) 3) 自己免疫疾患の病態, 病理について説明する。(C-4-2)-(6) 4) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 5) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 6) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1~4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p109, 110, 116, 117, 140, 141, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 10月20日 | | 口腔粘膜疾患(2) (上皮性異形成, 口腔扁平苔癬) | 1) 口腔粘膜疾患の種類, 病態, 病理について説明する。(E-2-4)-(4) 2) 潜在的悪性疾患の前癌病変の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-(5, ⑥) 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 4) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 5) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1~4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p127-130, 137, 138, 144-146, 235-239, 242, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-----------|---|---|--|
| 10月27日 | | 唾液腺疾患 (粘液囊胞, Sjögren症候群) | 1) 唾液腺疾患の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(8)-⑤, ⑦) 2) 唾液腺停滞囊胞の病態、病理を説明する。(E-2-4)-(5) 3) 自己免疫疾患の病態、病理を説明する。(C-4-2)-(6) 4) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 5) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 6) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p175-180, 202-204, 291, 292, 301, 302, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 10月29日(水) | | 唾液腺良性腫瘍 (多形腺腫, Warthin腫瘍) | 1) 良性唾液腺腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p305-310, 325, 326, 329, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 11月10日 | | 唾液腺悪性腫瘍 (腺様囊胞癌, 粘表皮癌) | 1) 悪性唾液腺腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p305-310, 313-315, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 11月17日 | | 歯原性囊胞(1) (歯根囊胞, 合歯性囊胞,歯原性角化囊胞) | 1) 歯原性囊胞の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(5) 2) 腺瘍性性質を有する歯原性囊胞と症候性疾患との関連について説明する。(E-2-4)-(10)-(4, ⑤) 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 4) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 5) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p175-183, 189-191, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 11月25日(火) | 岡田 康男 東理 賴亮 大野 淳也 長谷川 仁 佐野 拓人 林 俊郎 小澤 一嘉 木暮 ミカ 野原 史子 勝田 仁江 | 歯原性囊胞(2) (石灰化歯原性囊胞) 非歯原性囊胞 (甲状舌管囊胞, リンパ上皮性囊胞) | 1) 歯原性囊胞の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(5) 2) 非歯原性囊胞の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(5) 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 4) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 5) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p175-183, 185, 200, 201, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 12月1日 | | 歯原性腫瘍(1) (エナメル上皮腫, 腺腫様歯原性腫瘍) | 1) 歯原性腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(6)-(1, ②) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p205-209, 216-220, 223, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 12月8日 | | 歯原性腫瘍(2) (歯原性粘液腫, セメント質骨形成線維腫) | 1) 歯原性腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(6)-(1, ②) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p205-209, 229, 231, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 12月15日 | | 非歯原性腫瘍(1) (扁平上皮癌, 乳頭腫, 血管腫) | 1) 非歯原性腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(6)-(1)-(3) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p235-244, 264, 265, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 12月22日 | | 非歯原性腫瘍(2)・腫瘍類似疾患 (神経鞘腫, エプーリス,線維性異形成症) | 1) 非歯原性腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(6)-(1, ②) 2) 非歯原性腫瘍類似疾患の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(6)-(4) 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 4) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 5) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p158, 249-253, 270, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |
| 1月19日 | | 論述・多肢選択試験および解説講義 | 1) 口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態、病理について説明する。(E-2-4)-(3)-(6), (8), (10), E-3-2), E-3-3)-(1)) 2) 口腔領域に症状を発現する疾患について説明する。(E-2-4)-(10) |
| | | 準備学習: 30分 9月29日～1月19日に行った範囲について学習する。 | |
| 1月26日 | | 非歯原性腫瘍(3) (脂肪腫, リンパ腫) | 1) 非歯原性腫瘍の種類、病態、病理について説明する。(E-2-4)-(6)-(1)-(3) 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。(A-1-3)-(1, ②) 3) 整理整頓された環境を維持する。(A-6-3)-(5) 4) 実際の患者さんを想定して行う。(A-1-3)-(1, ②, A-2-1)-(1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 教科書 p267, 279, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。 | |

歯科放射線学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 小椋 一朗 | 3 | 後期 | 金曜日 | 9:00 ~ 10:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査、診断および放射線治療を行うために必要な知識を修得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|---|--------|-----|-------|
| 教科書 岡野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎, 勝又明敏, 林 孝文 編 | 歯科放射線学 | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | | | |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (50%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (50%) と論述形式筆記試験 (50%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：16:30 ~ 17:00 場所：歯科放射線学講座研究室（新潟病院1階）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--------------------------|--|
| 10月3日 | 織田 隆昭 | 顎骨の囊胞と腫瘍 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト第5章(7)の要点を確認する。 |
| 10月10日 | 織田 隆昭 | 顎骨とその周囲の炎症、上顎洞の病変 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト第5章(6,12)の要点を確認する。 |
| 10月17日 | 亀田 綾子 | 放射線とその性質、X線画像形成 | 1) 電磁放射線と粒子放射線の発生と性質を説明する。(E-1-2)-(①) 2) 画像形成過程を説明する。(E-1-2)-(④, ⑤) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト第2, 3章の要点を確認する。 |
| 10月24日 | 小椋 一朗 | 歯と顎骨の外傷 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト第5章(13)の要点を確認する。 |
| 10月31日 | 小椋 一朗 | 放射線と歯科医療、診断入門 (画像診断まとめ1) | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習：30分 テキスト第1, 5章(1)の要点を確認する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|-------|--------------------------------------|---|
| 11月7日 | 佐々木善彦 | 齲歎、歯周疾患、歯髓根尖性歯周組織疾患、歯の異常、歯科インプラントの検査 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-3-3) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-3-3) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第5章(2, 3, 4, 5, 18)の要点を確認する。 |
| 11月14日 | 亀田 綾子 | X線検査 | 1) X線検査を説明する。(E-1-2)-(⑥, ⑦, ⑧) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第4章 の要点を確認する。 |
| 11月21日 | 織田 隆昭 | 全身疾患、加齢に伴う変化、摂食嚥下機能の診断 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第5章 (14, 16, 17) の要点を確認する。 |
| 11月28日 | 織田 隆昭 | 顎関節の病変、歯と顎の成長と障害、法歯学と歯科X線画像 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第5章(11, 15), 7章 の要点を確認する。 |
| 12月5日 | 小椋 一朗 | 胸部X線画像 (画像診断まとめ2) | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 画像所見を説明し、鑑別診断する。(E-2-4) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第5章(19)の要点を確認する。 |
| 12月12日 | 佐々木善彦 | 口腔・頸部の軟組織疾患、唾液腺の病変 | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第5章(8, 10)の要点を確認する。 |
| 12月19日 | 亀田 綾子 | CT, MRI, 超音波検査、核医学検査 | 1) CT, MRI, 超音波検査、核医学検査を説明する。(E-1-2)-(⑨) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第4章 の要点を確認する。 |
| 1月16日 | 小椋 一朗 | 口腔の悪性腫瘍 (画像診断まとめ3) | 1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 検査画像を解釈し、画像所見を説明する。(E-2-4) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第5章(9)の要点を確認する。 |
| 1月23日 | 亀田 綾子 | 放射線影響と防護、放射線治療 | 1) 人体に対する影響を説明する。(E-1-2)-(②) 2) 放射線防護の方法を説明する。(E-1-2)-(③) 3) 放射線治療を説明する。(E-2-4)-(6)-(③) |
| | | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 テキスト 第2, 6章 の要点を確認する。 |

保存修復学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 鈴木 雅也 | 3 | 後期 | 火曜日 | 9:00 ~ 10:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯の硬組織疾患を的確に修復治療し長期にわたって歯の機能性・審美性を維持させるために、硬組織疾患の病因・病態、診察・検査・診断法、治療法および予防法を学習し、歯の硬組織疾患の治療ならびに予防に必要な基本的知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|------------|----------|-----|-------|
| 教科書 千田 彰 他 | 保存修復学 | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 田上順次 他 | 保存修復学 21 | 第六版 | 永末書店 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (100%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日 時間帯：18:00 ~ 19:00 場所：歯科保存学第2講座研究室（7号館4階）
事前にメールで要予約：operativ(at)ngt.ndu.ac.jp

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|------------------------------|--|
| 9月30日 | 宮野 侑子 | グラスアイオノマーセメント修復① | 1) グラスアイオノマーセメント修復の組成と特徴を説明する。 (D-2-①, E-3-3)-(1)-(3) 2) グラスアイオノマーセメント修復の窩洞形態を説明する。 (E-3-3)-(1)-(6) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：15分 教科書 p170-177 を予習する。 | |
| 10月7日 | 宮野 侑子 | グラスアイオノマーセメント修復② | 1) グラスアイオノマーセメント修復の術式を説明する。 (D-2-①, E-3-3)-(1)-(3) 2) グラスアイオノマーセメント修復の予後を説明する。(E-3-3)-(1)-(8) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：15分 教科書 p170-177 を予習する。 | |
| 10月14日 | 鈴木 雅也 | 間接修復法概論 間接修復物の製作法 | 1) 間接修復法の種類と特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) 2) 各種インレーの製作法を説明する。(D-2-(2)) 3) CAD/CAM 修復を説明する。(E-3-4)-(1)-(2) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：15分 教科書 p193-231 を予習する。 | |
| 10月21日 | 鈴木 雅也 | メタルインレー修復 | 1) メタルインレー修復の使用金属と特徴、適応症を説明する。 (D-2-(2), E-3-3)-(1)-(3) 2) メタルインレー修復の窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) 3) メタルインレー修復の術式を説明する。(D-2-(2), E-3-3)-(1)-(3) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：15分 教科書 p193-207 を予習する。 | |
| 10月28日 | 鈴木 雅也 | コンポジットレジンインレー修復 | 1) コンポジットレジンインレー修復の特徴、適応症を説明する。 (D-2-(2), E-3-3)-(1)-(3) 2) コンポジットレジンインレー修復の窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) 3) コンポジットレジンインレー修復の術式を説明する。 (D-2-(2), E-3-3)-(1)-(3) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：15分 教科書 p207-211 を予習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|--------|---------|--|--|--|
| 11月4日 | 鈴木 雅也 | セラミックインレー修復 | 1) セラミックインレー修復の特徴、適応症を説明する。 (D-2-②, E-3-3)-(1)-(3) 2) セラミックインレー修復の窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-(6) 3) セラミックインレーの術式を説明する。(D-2-②, E-3-3)-(1)-(3) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p212-216 を予習する。 | | |
| 11月11日 | 鈴木 雅也 | ラミネートベニア修復 アマルガム修復 | 1) ラミネートベニア修復の特徴、適応症を説明する。 (D-2-②, E-3-3)-(1)-(3) 2) ラミネートベニア修復の術式を説明する。(D-2-②, E-3-3)-(1)-(3) 3) アマルガム修復と水銀の取り扱いを説明する。 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p224-231 を予習する。 | | |
| 11月18日 | 宮野 侑子 | 間接修復の合着と接着 | 1) 合着用・接着用セメントの種類と所要性質を説明する。(D-2-(3)) 2) 間接法修復物の合着と接着を説明する。(D-2-(3), E-3-3)-(1)-(3)) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p181-191 を予習する。 | | |
| 12月2日 | 宮野 侑子 | 象牙質・歯髄複合体の保護 ① | 1) 歯髄傷害の原因を説明する。(E-3-3)-(1)-(5) 2) 象牙質・歯髄複合体の保護法を説明する。 (E-3-1)-(4)(5), E-3-3)-(1)-(5) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p122-128, 192-193 を予習する。 | | |
| 12月9日 | 宮野 侑子 | 象牙質・歯髄複合体の保護 ② | 1) 象牙質・歯髄複合体の保護法を説明する。 (E-3-1)-(4)(5), E-3-3)-(1)-(5) 2) レジンコーティング法を説明する。(E-3-3)-(1)-(5) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p122-128, 192-193 を予習する。 | | |
| 12月16日 | 宮野 侑子 | 補修修復 | 1) 補修修復を説明する。(E-3-3)-(1)-(8) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p241-245 を予習する。 | | |
| 1月13日 | 佐藤 史明 | 非齲歯性硬組織疾患①： Tooth Wear 象牙質知覚過敏症 | 1) Tooth Wear の病因、病態、処置法を説明する。 (E-3-2)-(1), E-3-3)-(1)-(1) 2) 象牙質知覚過敏症の病因、病態、処置法を説明する。 (E-3-2)-(1), E-3-3)-(1)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p27-31, 36-37, 79-85 を予習する。 | | |
| 1月20日 | 佐藤 史明 | 非齲歯性硬組織疾患②： 破折歯 形態異常歯 | 1) 外傷歯（歯の亀裂・破折）の病因、病態、処置法を説明する。 (E-2-4)-(2)-(3), E-3-3)-(1)-(1) 2) 形態異常歯の病因、病態、処置法を説明する。 (E-3-1)-(3), E-3-3)-(1)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p32-35, 90-97 を予習する。 | | |
| 1月27日 | 佐藤 史明 | 歯の硬組織の加齢変化 歯の硬組織疾患のマネジメント 高齢者の修復治療 | 1) 歯の硬組織疾患の包括的なマネジメント、MID、予防（再石灰化）を説明する。(E-3-3)-(1)-(1)(2) 2) 硬組織の加齢による変化を説明する。(E-2-3)-(4) 3) 高齢者の歯の保存修復治療を説明する。(E-3-3)-(1)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：15分 教科書 p11-13, 65-70, 237-239 を予習する。 | | |

歯冠補綴架工義歯学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 上田 一彦 | 3 | 後期 | 金曜日 | 14:40 ~ 16:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯質の崩壊や歯の欠損に起因する顎口腔機能障害を回復し、QOL を維持するクラウンブリッジ補綴を行うために、顎口腔機能障害の機序を理解し、その診断と治療計画の立案に必要な基本的知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|----------------------------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川 匠 | クラウンブリッジ補綴学 | 第6版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 中原 泉, 藤井一総 | 常用歯科辞典 | 第5版 | 医歯薬出版 |
| 日本補綴歯科学会 日本補綴歯科学会 | 歯科補綴学専門用語集 | 第5版 | 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%) と、毎回の講義への出席状況 (遅刻, 早退含む) と課題の提出状況を含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：金曜日 時間：16時30分から18時00分まで 場所：歯科補綴学第2講座研究室（7号館4階）
* ga-hotetsu2(at)ngt.ndu.ac.jp までメールにて事前に予約を取った上で訪問すること。

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---------|---|--|
| 10月3日 | 上田 一彦 | クラウンブリッジ治療の定義と意義 | 1) クラウンブリッジの意義と具備条件を説明する。((E-3-4)-(1)-(1)) 2) クラウンブリッジ治療と健康維持を説明する。 3) クラウンブリッジ治療の利点と欠点を説明する。((E-3-4)-(1)-(1)) 4) クラウンブリッジ治療の歴史を説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p1-7, 37-41 を予習する。 | |
| 10月10日 | 瀬戸 宗嗣 | クラウンブリッジの生存率と口腔インプラント治療の生存率 | 1) クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明する。((E-3-4)-(1)-(12)) 2) クラウンブリッジ生存率を説明する。 3) クラウンブリッジの EBM を説明する。 4) 失敗のリスクを説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p8-18 を予習する。 | |
| 10月17日 | 上田 一彦 | 咬合・歯周組織の正常像と咬合・咀嚼障害 | 1) 咬合の原則を説明する。((E-3-4)-(1)-(1)) 2) クラウン, 歯周組織, 歯周病の関係を説明する。 3) 咬合・咀嚼障害を説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p19-42 (p37-41 を除く) を予習する。 | |
| 10月24日 | 瀬戸 宗嗣 | 診察と診断と感染予防 | 1) 医療面接と診察を説明する。 2) 検査を説明する。 3) 評価と診断を説明する。 4) 感染予防を説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p43-59 を予習する。 | |
| 10月31日 | 上田 一彦 | 治療計画と治療計画を左右する因子 | 1) 口腔内の因子を説明する。((E-3-4)-(1)-(1)) 2) 全身的因子を説明する。((E-3-4)-(1)-(1)) 3) 社会的・心理的因子を説明する。((E-3-4)-(1)-(1)) 4) クラウンブリッジの失敗の原因を説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p60-67 を予習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|--------------------|----------------------------|---|---|--|
| 11月7日 | 瀬戸 宗嗣 | クラウンブリッジの要件 | 1) 生物学的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) 機能的・審美的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 3) 力学的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 4) 材料学的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 5) クラウンの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p68-82 を予習する。 | | |
| 11月14日 | 上田 一彦 | クラウンの種類と構成(1) 全部被覆冠 | 1) クラウンの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) 全部被覆冠の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) 全部被覆冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) 陶材焼付冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 5) レジン前装冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 6) ジャケットクラウンの特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 7) オールセラミッククラウンの特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p72-77 を予習する。 | | |
| 11月21日 | 瀬戸 宗嗣 | クラウンの種類と構成(2) 部分被覆冠とポストクラウン(継続歯) | 1) クラウンの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) 部分被覆冠を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) 部分被覆冠の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) 部分被覆冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 5) ポストクラウンを説明する。((E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p72, 77-82 を予習する。 | | |
| 11月28日 | 上田 一彦 | 支台築造 | 1) 支台築造の意義を説明する。((E-3-4)-(1)-③) 2) 支台築造の種類、特徴および方法を説明する。((E-3-4)-(1)-③) 3) 築造窩洞形成の原則と手順を説明する。((E-3-4)-(1)-③) 4) 支台築造の選択基準を説明する。((E-3-4)-(1)-③) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p126-133 を予習する。 | | |
| 12月5日 | 瀬戸 宗嗣 | ブリッジの種類と構成 | 1) ブリッジの臨床的意義を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) ブリッジの適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) ブリッジの構成要素を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) ブリッジの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p83-90, 295-301 を予習する。 | | |
| 12月12日 | 上田 一彦 | ブリッジの設計(1) | 1) 支台歯の負担能力を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) 欠損歯数と支台歯数を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) 支台装置の選択を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) 咬合と咬合負担を説明する。 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p91-96 を予習する。 | | |
| 12月19日 | 瀬戸 宗嗣 | ブリッジの設計(2) | 1) ポンティック基底面形態の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) ブリッジの連結法を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) ブリッジの連結法の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) ブリッジの連結部の要件を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 5) クラウンブリッジの製作過程における基本的手技を説明する。((E-3-4)-(1)-②) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p96-101 を予習する。 | | |
| 1月16日 | 上田 一彦 | インフォームドコンセント | 1) インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) インフォームドコンセントの成立要件を説明する。 3) 説明文書・同意文書記載上の注意点を説明する。 4) インフォームドコンセントに必要な事項を説明する。 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p102-106 を予習する。 | | |
| 1月26日 (月) 4限 | 瀬戸 宗嗣 1月23日(金) 4限と入替 | 前処置 | 1) 補綴前処置の意義と目的を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) 前処置の種類を説明する。 3) 予防的処置、外科的処置、保存的処置、矯正的処置、補綴的処置を説明する。 4) 前処置の実施時期を説明する。 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p107-113 を予習する。 | | |

歯内療法学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 両角 俊哉 | 3 | 後期 | 火曜日 | 10:40 ~ 12:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

口腔の健康維持を全身の健康増進へつなげるために、歯の硬組織、歯髓および根尖歯周組織に生じる疾患の病因、病態、検査、診断、治療法について理解し、口腔機能を回復させるために必要な歯内療法の基本的知識を修得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|--------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 興地隆史、ほか編 | 歯内治療学 | 第6版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 興地隆史、ほか編 | エンドodontics | 第6版 | 永末書店 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (40%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

対面・メールとも随時受け付け、病院4階の歯科保存学第1講座研究室にて対応する。

※事前にメールで要予約 (メールアドレスは授業中に提示する。)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---------|------------------------------------|---|
| 9月30日 | 新井 恭子 | 根管処置（髓室開拡、根管長測定法と作業長の決定） | 1) 髓室開拡を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 2) 根管長測定と作業長の決定を説明する。(E-3-3)-(2)-①) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第7章 I, II の要点を確認する。 | |
| 10月7日 | 鎌田 将史 | 根管処置（根管形成） | 1) 根管形成を説明する。(E-3-3)-(2)-①) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第7章 III の要点を確認する。 | |
| 10月14日 | 新井 恭子 | 根管処置（根管の化学的清掃・消毒） | 1) 根管の化学的清掃を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 2) 根管貼薬を説明する。(E-3-3)-(2)-①) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第7章 IV, V の要点を確認する。 | |
| 10月21日 | 新井 恭子 | 根管処置（根管内容物の検査、補助療法、再根管治療） | 1) 根管内容物の検査を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 2) 根管治療の補助療法を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 3) 再管治療を説明する。(E-3-3)-(2)-①, ④) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第7章 VI～VIII の要点を確認する。 | |
| 10月28日 | 両角 俊哉 | 根管充填（目的、意義、時期、所要性質、充填材の種類） | 1) 根管充填の目的、意義および時期を説明する。(E-3-3)-(2)-②) 2) 根管充填材の所要性質と種類を説明する。(D-2-⑥) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第8章 I～IV の要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|--------|---------|--------------------------------|--|--|
| 11月4日 | 鎌田 将史 | 根管充填（術式、即時根管充填法、根管充填後の治癒経過） | 1) 根管充填の術式を説明する。(E-3-3)-(2)-(2) 2) 即時根管充填法を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (2) 3) 根管充填後の治癒経過を説明する。(E-3-3)-(2)-(4) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第8章V～VIIの要点を確認する。 | | |
| 11月11日 | 新井 恭子 | 根管処置後の歯冠修復 緊急処置 | 1) コロナルリーケージを説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (4) 2) 支台築造を説明する。(E-3-4)-(1)-(3) 3) 疼痛に対する緊急処置を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (3) 4) 急性歯髓炎や急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (3) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第18, 9章の要点を確認する。 | | |
| 11月18日 | 両角 俊哉 | 根未完成歯の治療 | 1) アベキソゲネーシスとアベキシフィケーションを説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 2) アベキソゲネーシスとアベキシフィケーションの適応症例を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第10章の要点を確認する。 | | |
| 12月2日 | 両角 俊哉 | 歯根の病的吸收 | 1) 歯根の内部吸収を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (7) 2) 歯根の外部吸収を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (7) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第11章の要点を確認する。 | | |
| 12月9日 | 清水 公太 | 外傷歯の診断と処置 | 1) 外傷歯の分類・診査・検査・治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(3), E-3-3-(2)-(1) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第12章の要点を確認する。 | | |
| 12月16日 | 両角 俊哉 | 外科的歯内治療 | 1) 外科的歯内治療の適応症・種類および術式を説明する。(E-3-3)-(2)-(5) 2) 外科的歯内治療の治癒機転と予後を説明する。(E-3-3)-(2)-(5) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第13章の要点を確認する。 | | |
| 1月13日 | 清水 公太 | 歯科用実体顕微鏡を応用した歯内治療 変色歯の漂白 | 1) 歯科用実体顕微鏡による検査・処置の特徴を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (5) 2) 歯科用実体顕微鏡の診療ポジション・適応症を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), (5) 3) 変色歯の分類、漂白法、適応症・禁忌症、偶発症を説明する。(E-3-3)-(2)-(6) 4) ウォーキングブリーチ法の手順を説明する。(E-3-3)-(2)-(6) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第14, 15章の要点を確認する。 | | |
| 1月20日 | 両角 俊哉 | 歯内-歯周疾患 高齢者・有病者の歯内治療 | 1) 歯内-歯周疾患の分類と臨床症状を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), E-3-3-(3)-(1) 2) 歯内-歯周疾患の診断と治療を説明する。(E-3-3)-(2)-(1), E-3-3-(3)-(2), (3) 3) 高齢者の特徴を説明する。(E-5-1)-(1), (2), (3) 4) 全身疾患と歯内治療を説明する。(E-2-4)-(3)-(4) 5) 高齢者・有病者と成人健常者との歯内治療の違いを説明する。(E-5-1)-(5), (6) 6) 高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療を説明する。(C-3-3), E-5-1 | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第16, 17章の要点を確認する。 | | |
| 1月27日 | 新井 恭子 | 歯内治療における安全対策 | 1) 歯内治療による偶発症の原因と対応および予防を説明する。(E-3-3)-(2)-(3) 2) 根管処置後の根尖性歯周炎の予防と対応を説明する。(E-3-3)-(2)-(3) 3) 歯内治療時の全身管理を説明する。(E-1-4)-(1), E-1-4)-(3)-(5) | |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 第19章の要点を確認する。 | | |

歯周疾患治療学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 佐藤 聰 | 3 | 後期 | 水曜日 | 10:40 ~ 12:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯周病学を理解するために、歯周組織についての基礎的な知識を深め、さらに歯肉炎および歯周炎の治療法について臨床で必要とされる基礎知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|---------------------|-------------|-----|------|
| 教科書 村上伸也ら編 | 臨床歯周病学 | 第3版 | 医薬出版 |
| 特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編 | 歯周病学用語集 | 第3版 | 医薬出版 |
| 参考書 沼部幸博ら編集主幹 | ザ・ペリオドントロジー | 第4版 | 永末書店 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (40%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) の筆記試験と課題提出を含む授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

月曜日・17:00 ~ 18:00・新潟病院4階 歯周病学講座研究室

※事前にメール (ga-shishu(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|------------------------------|--|
| 10月1日 | 佐藤 聰 | 歯周外科概論(1) | 1) 歯周外科治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 2) 歯周外科治療の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-④, ⑤) 3) 歯周外科治療に用いる器具を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 臨床歯周病学19章の要点を確認する。 | |
| 10月8日 | 両角 祐子 | 歯周外科概論(2) | 1) 歯周外科治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 2) 歯周外科治療の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-④, ⑤) 3) 歯周外科治療に用いる器具を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 臨床歯周病学19章の要点を確認する。 | |
| 10月15日 | 両角 祐子 | 組織付着療法 | 1) 歯周ポケット搔爬術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 2) 新付着術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) フラップ手術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 臨床歯周病学20章の要点を確認する。 | |
| 10月22日 | 高塙 智子 | 切除療法 | 1) 歯肉切除術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 2) 歯肉弁根尖側移動術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) 齒槽骨外科手術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) ディスタイルウェッジ手術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 5) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 臨床歯周病学21章の要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---|------------------------|---|
| 11月5日 | 両角 祐子 | 歯周組織再生療法(1) | 1) 歯周組織再生療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) GTR 法を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) エナメルマトリックスデリバティブを応用した歯周外科治療を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 22章 の要点を確認する。 | | |
| 11月12日 | 両角 祐子 | 歯周組織再生療法(2) | 1) 歯周組織再生療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) 塩基性線維芽細胞増殖因子を応用した歯周外科治療を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) 骨移植術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 細胞治療を概説する。(E-3-3)-(3)-④) 5) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 22章 の要点を確認する。 | | |
| 11月19日 | 佐藤 聰 | 歯周組織再生療法(3) | 1) 歯周組織再生療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 22章 の要点を確認する。 | | |
| 11月26日 | 柳井 智恵 (交換講義) | 口腔機能回復治療 | 1) 口腔機能回復治療を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 2) 永久固定を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 歯周補綴を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 4) 歯周-矯正治療を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 5) インプラント治療を概説する。(E-3-3)-(3)-②, ③) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 25-29章 の要点を確認する。 | | |
| 12月3日 | 佐藤 聰 | 歯周形成手術 | 1) 歯周形成手術を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) 歯周形成手術の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) 歯周形成手術の適応症を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 24章 の要点を確認する。 | | |
| 12月10日 | 八板 直道 | 根分岐部病変の治療 | 1) 根分岐部病変の分類を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 2) 根分岐部病変の原因を説明する。(E-3-2)-(3), ④) 3) 根分岐部病変の検査法を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 根分岐部病変の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 根分岐部病変の治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-④) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 23章 の要点を確認する。 | | |
| 12月17日 | 大森みさき | メインテナンス・SPT 包括的歯周治療 | 1) メインテナンスを説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 2) SPT を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 包括的歯周治療の概略を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 30, 34章 の要点を確認する。 | | |
| 1月14日 | 佐藤 聰 | 薬物療法 歯周-歯内病変 | 1) 歯周治療における薬物療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 2) LDDS を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 歯周-歯内病変の原因と病態を説明する。(E-3-2)-(3), ④) 4) 歯周-歯内病変の治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 31, 32章 の要点を確認する。 | | |
| 1月21日 | 佐藤 聰 | レーザー治療 高齢者と有病者の治療 | 1) レーザー治療の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 2) レーザー治療の歯周治療への応用を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 高齢者の特徴と歯周病との関連を概説する。(E-3-3)-(3)-①) 4) 有病者の歯周治療を概説する。(E-3-3)-(3)-①, ③) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 33, 35章 の要点を確認する。 | | |
| 1月28日 | 佐藤 聰 | 特殊な歯周病の治療 | 1) 特殊な歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(3), ④) 2) 特殊な歯周病の病態を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 3) 特殊な歯周病の治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) |
| | 準備学習と時間 準備学習:30分 臨床歯周病学 36章 の要点を確認する。 | | |

有床義歯学実習

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------------------------|
| 水橋 史 | 3 | 後期 | 木曜日 | 13:00 ~ 17:40 | マルチメディア臨床基礎実習室 (1号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

全部床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、全部床義歯の設計、製作、治療に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|----------------------------|-------------|------|
| 教科書 | 歯科補綴学第1講座 編 | 全部床義歯補綴学実習書 | 第16版 |
| 参考書 | 市川哲雄、大川周治、 大久保力廣、水口俊介 編 | 無歯顎補綴治療学 | 第4版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 (デモンストレーション)

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (20%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (70%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (20%) と製作物の習得度についての観察記録 (70%) および実習に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日、金曜日 時間帯：12:00 ~ 13:00 場所：歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
事前にメール (ga-hotetsu1(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|--|--|---|
| 10月2日 | | 概説、全部床義歯の診断と設計 | 1) 実習に必要な器具・器材を準備する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 診断・設計模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) LOのペイント模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(10) 4) FBOのペイント模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(10) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第1章を読み、要点を確認する。 | |
| 10月9日 | 水橋 史 猪子 芳美 浅沼 直樹 水橋 亮 渡會 侑子 片山 直人 栗田 武 | スプリットキャストの製作、模型装着 | 1) 作業模型の前準備を実施する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) スプリットキャストの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 咬合平面板を用いた上顎模型の装着を実施する。(E-3-4)-(2)-(8) 4) 咬合床を介した下顎模型の装着を実施する。(E-3-4)-(2)-(8) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第2章を読み、要点を確認する。 | |
| 10月23日 | | 人工歯排列 (1) | 1) ワックス操作を適切に実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 上顎前歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 3) 上顎前歯部人工歯を基準に基づき排列する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 審美的な歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第3章を読み、要点を確認する。 | |
| 10月30日 | | 人工歯排列 (2), 前歯部削合 | 1) 下顎前歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 2) 下顎前歯部人工歯を基準に基づき排列する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 偏心位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 適正な被蓋関係の付与を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第4・5章を読み、要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---|---|---|
| 11月6日 | 水橋 猪子 浅沼 史芳美 直樹 亮子 渡會 片山 栗田 | 人工歯排列 (3) | 1) 下顎臼歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 2) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 下顎臼歯部の人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 上顎ろう堤に対する適切な排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| 11月13日 | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第6章 を読み、要点を確認する。 | |
| 11月20日 | | 人工歯排列 (4) | 1) 上顎臼歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 2) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 上顎臼歯部の人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 下顎臼歯部人工歯に対する適切な排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| 11月27日 | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第7章 を読み、要点を確認する。 | |
| 12月4日 | | 臼歯部削合 | 1) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) 中心咬合位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 偏心位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 両側性平衡咬合の構成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| 12月11日 | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第8章 を読み、要点を確認する。 | |
| 12月18日 | | 歯肉形成 | 1) ワックス操作を適切に実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 周囲組織と調和した床研磨面形態の付与を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 審美的な歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| 1月15日 | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第9章 を読み、要点を確認する。 | |
| 1月22日 | | 埋没 | 1) 上顎ろう義歯の埋没を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) 下顎ろう義歯の埋没を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 二次埋没の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 適正な環境でフラスコを保管する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| 1月29日 | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第10章 を読み、要点を確認する。 | |
| | | 流ろう、レジン填入、重合 | 1) 流ろうを実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) 加熱重合レジンの混和を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) レジン填入を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 重合のための前準備を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第11章 を読み、要点を確認する。 | |
| | | 堀り出し、リマウント、削合 (1) | 1) フラスコからの義歯の堀り出しを実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) 正確な分割線の記入を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 上下顎義歯の堀り出しを実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 適正な位置へのリマウントを実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第12章・第13章 を読み、要点を確認する。 | |
| | | 削合 (2) | 1) 中心咬合位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) 偏心位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 咬合器の適切な使用を実施する。(E-3-4)-(2)-(8) 4) 自動削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第13章 を読み、要点を確認する。 | |
| | | 研磨 | 1) 研磨の正しい手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) 適切な器材で粗研磨を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 適切な器材で中研磨を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 適切な器材で仕上げ研磨を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第14章 を読み、要点を確認する。 | |
| | | 義歯完成 | 1) 義歯の完成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 2) 完成義歯を水中保管する目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 咬合器の整備を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) |
| | | 準備学習：30分 全部床義歯補綴学実習書 第1～15章 を読み、要点を確認する。 | |

歯科矯正学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 太田 信 | 3 | 後期 | 水曜日 | 14:40 ~ 16:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

国民の健康に寄与し患者の QOL の向上に資する歯科医師となるために、矯正歯科治療の必要性および基本的な知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|--------------|-------|-----|-------|
| 教科書 後藤滋巳 他 著 | 歯科矯正学 | 7 版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | | | |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (86%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (14%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (86%) と授業に対する関心・意欲・態度 (14%) により評価を行う。態度評価には、遅刻・欠席の評価を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

金曜日の 17:00-18:00 7号館 4階歯科矯正学講座研究室

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|------|--|---|
| 10月1日 | 太田 信 | 治療学概論 矯正力 矯正歯科治療における固定 | 1) 矯正歯科治療の種類を列記する。(E-4-1)-(3) 2) 矯正歯科治療の開始時期と流れを説明する。(E-4-1)-(3) 3) 矯正力の種類、分類、作用様式を説明する。(E-4-1)-(6) 4) 歯の移動様式を説明する。(E-4-1)-(6) 5) 固定法を分類する。(E-4-1)-(6) 6) 固定の定義を述べる (E-4-1)-(6) 7) 固定の意義を説明する。(E-4-1)-(6) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 45 分 教科書 p190-211 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月8日 | 亀田 剛 | 矯正用材料・器械・器具 矯正用材料の特性 | 1) 矯正歯科治療に用いる器材の名称と使い方を説明する。(E-4-1)-(4) 2) 歯科用器械・器具の用途と特徴について列記する。(D-1-(4)) 3) 矯正治療に必要な力学を説明する。(E-4-1)-(6) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30 分 教科書 p212-217, p402-420 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月15日 | 太田 信 | 矯正装置(1) 矯正装置の種類と特徴 器械的矯正装置-固定式 矯正装置 唇舌側弧線装置・マルチ ブレケット装置 拡大装置 | 1) 矯正装置の基本的条件と分類を列記する。(E-4-1)-(5) 2) 唇舌側弧線装置の種類、特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-(5) 3) マルチブレケット装置の種類、特徴および使用目的を説明する。 (E-4-1)-(5) 4) 拡大装置の種類、特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-(5) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 45 分 教科書 p218-245 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月22日 | 太田 信 | 矯正装置(2) 器械的矯正装置-可撤式 矯正装置 可撤式矯正装置・顎外固 定装置 | 1) 可撤式矯正装置の種類、特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-(5) 2) 顎外固定装置の種類、特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-(5) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30 分 教科書 p245-257 を読み、要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---------|--|---|
| 11月5日 | 太田 信 | 矯正装置(3) 機能的矯正装置 | 1) 機能的矯正装置の種類、特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-(⑤) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p257-268 を読み、要点を確認する。 | |
| 11月12日 | 瀬戸 淑子 | 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療(1) | 1) 乳歯歯列期・混合歯列期の不正咬合の特徴を述べる。(E-4-1)-(⑤) 2) 乳歯歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の留意点を列記する。(E-4-1)-(⑤) 3) 乳歯歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の目的を説明する。(E-4-1)-(⑤) 4) 乳歯歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療に使用する装置を説明する。(E-4-1)-(⑤) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p269-296 を読み、要点を確認する。 | |
| 11月19日 | 瀬戸 淑子 | 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療(2) | 1) 乳歯歯列期・混合歯列期の不正咬合の特徴を述べる。(E-4-1)-(③) 2) 乳歯歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の留意点を列記する。(E-4-1)-(③) 3) 乳歯歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の目的を説明する。(E-4-1)-(③) 4) 乳歯歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療に使用する装置を類別する。(E-4-1)-(⑤) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p269-296 を読み、要点を確認する。 | |
| 11月26日 | 後藤 翔 | 永久歯列期の矯正歯科治療(1) 上顎前突・下顎前突 叢生・上下顎前突 | 1) 永久歯列期の各種不正咬合の特徴を列記する。(E-4-1)-(③) 2) 上顎前突・下顎前突の機能性要因・骨格性要因・歯性要因を述べる。(E-4-1)-(③) 3) 上顎前突・下顎前突の形態的特徴を説明する。(E-4-1)-(③) 4) 叢生の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-(③) 5) 上下顎前突の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-(③) 6) 永久歯列期の矯正歯科治療に使用する装置を説明する。(E-4-1)-(⑤) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p289-317 を読み、要点を確認する。 | |
| 12月3日 | 後藤 翔 | 永久歯列期の矯正歯科治療(2) 過蓋咬合・開咬 交叉咬合・埋伏・外傷 | 1) 永久歯列期の各種不正咬合の特徴を列記する。(E-4-1)-(③) 2) 過蓋咬合・開咬の特徴を説明する。(E-4-1)-(③) 3) 開咬の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-(③) 4) 過蓋咬合の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-(③) 5) 交叉咬合の特徴を説明する。(E-4-1)-(③) 6) 交叉咬合の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-(③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p318-341 を読み、要点を確認する。 | |
| 12月10日 | 亀田 剛 | 保定 | 1) 保定の概念と種類を説明する。(E-4-1)-(③) 2) 保定装置の種類、機能、使用目的および保定期間を説明する。(E-4-1)-(⑤) 3) 不正咬合の再発とその防止策を述べる。(E-4-1)-(⑦) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 20分 教科書 p342-350 を読み、要点を確認する。 | |
| 12月17日 | 後藤 翔 | チーム医療の中の矯正歯科治療(1) 口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療 | 1) 他科との協同を必要とする。矯正歯科治療を説明する。(A-5-1)-(①) 2) 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-(③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p351-359 を読み、要点を確認する。 | |
| 1月14日 | 瀬戸 淑子 | チーム医療の中の矯正歯科治療(2) 顎変形症の矯正歯科治療 | 1) 外科的矯正治療の目的・適応症を説明する。(E-4-1)-(③) 2) 外科的矯正治療の手順を列記する。(E-4-1)-(③) 3) 術前・術後矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-(③) 4) 顎矯正手術を列記する。(E-4-1)-(③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p360-367 を読み、要点を確認する。 | |
| 1月21日 | 後藤 翔 | チーム医療の中の矯正歯科治療(3) 顎関節症の矯正歯科治療 その他の矯正歯科治療 | 1) 顎関節症患者の矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-(③) 2) 歯周病患者の矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-(③) 3) その他の矯正歯科治療との連携治療を説明する。(E-4-1)-(③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p368-387 を読み、要点を確認する。 | |
| 1月28日 | 瀬戸 淑子 | 矯正歯科治療における口腔衛生管理 矯正歯科治療に伴う偶発症・併発症 | 1) 矯正歯科治療における口腔環境の特殊性を述べる。(E-4-1)-(③) 2) 矯正歯科治療における口腔衛生指導・管理の必要性を説明する。(E-4-1)-(⑦) 3) 矯正歯科治療に伴う偶発症の原因、予防、対処法を説明する。(E-4-1)-(⑦) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書 p388-401 を読み、要点を確認する。 | |

歯科矯正学実習

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|---------------------------|
| 太田 信 | 3 | 後期 | 木曜日 | 9:00 ~ 12:00 | マルチメディア臨床基礎実習室 (1号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

患者の健康および生活の質の向上に資するため、不正咬合の予防と治療に関する歯科矯正学と矯正歯科治療の基本的な技術を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|--------|---------|-------|
| 教科書 | 新井一仁 他 | 歯科矯正学実習 | 1 |
| 参考書 | | | 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (20%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (80%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (減点方式)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての技能 (80%) と知識 (20%) 態度 (減点方式) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

木曜日・17:00 ~ 18:00・7号館4階歯科矯正学講座研究室

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---|----------------------------------|--|
| 10月2日 | | 顔面・口腔内写真の評価 模型分析・セファロ分析 | 1) 顔面写真, 口腔内写真を評価する。(E-4-1)-(3) 2) 模型計測法を列記する。(E-4-1)-(3) 3) 模型計測の意味を説明する。(E-4-1)-(3) 4) セファロ分析を実施する。(E-4-1)-(3) |
| | | 準備学習: 30分 実習書の『診断』を読み要点を確認する。 | |
| 10月9日 | 飯島 重樹 亀田 剛 瀬戸 淑子 後藤 翔 | 診断 | 1) 模型計測結果を判断する。(E-4-1)-(3) 2) セファロ分析結果を判断する。(E-4-1)-(3) 3) Tweed 分析における抜歯基準について説明する。(E-4-1)-(3) 4) Tweed 分析を実施する。(E-4-1)-(3) 5) 治療方針を立案する。(E-4-1)-(3) |
| | | 準備学習: 30分 実習書の『診断』を読み要点を確認する。 | |
| 10月23日 | 太田 信 齊藤 久絵 稻富 弘毅 椎木 甫 吉田 早織 | 自在ろう着(1) | 1) ろう着に必要な器具・器材を準備する。(E-4-1)-(4) 2) 酸化炎と還元炎を識別する。(E-4-1)-(4) 3) フラックスの効果を説明する。(E-4-1)-(4) 4) ろうの溶解温度・流ろう量を工夫する。(E-4-1)-(5) 5) 自在ろう着を実施する。(E-4-1)-(5) |
| | | 準備学習: 30分 実習書の『自在ろう着』を読み要点を確認する。 | |
| 10月30日 | | 自在ろう着(2) | 1) ろう着に必要な器具・器材を準備する。(E-4-1)-(4) 2) ろうの溶解温度・流ろう量を工夫する。(E-4-1)-(5) 3) 自在ろう着に熟練する。(E-4-1)-(5) 4) 補助弾線のろう着と屈曲をする。(E-4-1)-(5) 5) 補助弾線の力学的特性を説明する。(E-4-1)-(4) |
| | | 準備学習: 30分 実習書の『自在ろう着』を読み要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|--|-----------------------------------|--|
| 11月6日 | | 舌側弧線装置 (1) | 1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) 弹線を自在籠着する。(E-4-1)-(⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-(⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『舌側弧線装置』を読み要点を確認する。 | |
| 11月13日 | | 舌側弧線装置 (2) | 1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) 弹線を自在籠着する。(E-4-1)-(⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-(⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『舌側弧線装置』を読み要点を確認する。 | |
| 11月20日 | | 舌側弧線装置 (3) | 1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) 弹線を自在籠着する。(E-4-1)-(⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-(⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『舌側弧線装置』を読み要点を確認する。 | |
| 11月27日 | | アクチバトール (1) | 1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『アクチバトール』を読み要点を確認する。 | |
| 12月4日 | 飯島重樹 亀田剛 瀬戸淑子 後藤翔 太田信 齊藤久絵 藤富弘毅 椎木甫 吉田早織 | アクチバトール (2) | 1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『アクチバトール』を読み要点を確認する。 | |
| 12月11日 | | アクチバトール (3) | 1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『アクチバトール』を読み要点を確認する。 | |
| 12月18日 | | 保定装置 (1) | 1) 保定装置の製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) 保定装置を作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) 保定装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『保定装置』を読み要点を確認する。 | |
| 1月15日 | | 保定装置 (2) | 1) 保定装置の製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) 保定装置を作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) 保定装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『保定装置』を読み要点を確認する。 | |
| 1月22日 | | 保定装置 (3) | 1) 保定装置の製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-(④) 2) 保定装置を作製する。(E-4-1)-(⑤) 3) 保定装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6) |
| | | 準備学習：30分 実習書の『保定装置』を読み要点を確認する。 | |
| 1月29日 | | 試験 | |
| | | 準備学習：60分 10月2日～1月22日の実習内容を確認する。 | |

小児歯科学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 黒木 淳子 | 3 | 後期 | 水曜日 | 9:00 ~ 10:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

人の一生 (life cycle) の中で胎児期から成人にいたる小児の口腔ならびに顎顔面領域の健康を維持増進させ、健全な顎口腔の形態と機能を予防育成し、疾患や異常を治療するとともに、口腔の健康管理を行うための理論と方法を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|--|----------------------------------|-----|-----------|
| 教科書 編集主幹 新谷誠康 編集委員 木本茂成、黒木淳子、齊藤一誠、齊藤正人、島村和宏、星野倫範 | 小児歯科学ベーシックテキスト 小児歯科学クリニカルテキスト | 第3版 | 永末書店 |
| 参考書 編著 白川哲夫、福本敏、岩本勉、森川和政 | 小児歯科学 | 第6版 | 医歯薬出版株式会社 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (95%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (5 %)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (95%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (5 %) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

対面を希望する場合：講義を行った日の16:00～16:30の間（メールにて要予約）で、小児歯科学講座医局にて行う。
メールを希望する場合：講座の課題提出・質問用メールアドレス宛に、「講義担当者名・質問」のタイトルで質問内容を送信する。

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|-------------------------|---|
| 10月1日 | 黒木 淳子 | 小児歯科学の意義と目的 心身の発育(1) | 1) 小児歯科学の意義を説明する。(B-1-①～③) 2) 小児歯科学の目的を説明する。(B-1-①～③) 3) 小児歯科の特徴を説明する。(B-1-①～③) 4) 小児歯科医療の流れを説明する。(B-1-①～③) 5) 成長、発達、発育の定義を説明する。(C-3-2)-④) 6) 発育の特徴、奇形を説明する。(C-3-2)-④) 7) 身体の成長の特徴、およびその評価法を説明する。(C-3-2)-④) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習:30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p1-7, 9-30を学習する。 |
| 10月8日 | 黒木 淳子 | 心身の発育(2) | 1) 小児の発達(原始反射、運動、認知、言語、社会性、情緒)、およびその評価法を説明する。(C-3-2)-④) 2) 小児の生理的特徴を説明する。(C-3-2)-④) 3) 小児期の栄養の特徴を説明する。(B-1)-③) 4) 口腔機能の発達と食育を説明する。(B-1-③, C-3-2)-③) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習:30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p31-38, 51-57, 64-65を学習する。 |
| 10月15日 | 坂井 幸子 | 頭蓋と顎の発育 | 1) 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。(C-3-4)-④) 2) 口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。(E-2-3)-②) 3) 構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。(E-2-2)-⑧ 4) 口腔機能の評価法を説明できる。(C-3-2)-③④) |
| 準備学習と時間 | | | 学習時間:30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p39-50, 57-63, 66-70を学習する。 |
| 10月22日 | 黒木 淳子 | 歯の発育と異常 | 1) 乳歯と永久歯の発育過程を、歯の発育段階に沿って説明する。(E-3-1)-①) 2) 歯の萌出を説明する。(E-3-1)-①) 3) 歯の形成異常について説明する。(E-3-1)-③, E-3-2)-①) 4) 歯質の異常について説明する。(E-3-1)-③, E-3-2)-①) 5) 歯の色調異常について説明する。(E-3-2)-①) |
| 準備学習と時間 | | | 準備学習:30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p71-100を学習する。 |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|-------|-----------------------|--|
| 11月5日 | 黒木 淳子 | 歯列および咬合の発育と異常(1) | 1) 第一大臼歯の萌出の特徴を説明する。(E-2-2)-④) 2) 第一大臼歯の咬合に関与する因子を説明する。(E-4-2)-⑧) 3) 永久切歯萌出期の特徴を説明する。(E-3-1)-①) 4) リーウェイスペースを説明する。(E-4-2)-⑧) 5) 歯列・咬合の発育に影響を及ぼす因子と、発育異常の原因について説明する。(E-2-2)-④, E-3-1)-①, E-4-2)-①, (E-4-2)-⑧) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p101-114 を学習する。 |
| 11月12日 | 黒木 淳子 | 歯列および咬合の発育と異常(2) | 1) 第一大臼歯の萌出の特徴を説明する。(E-2-2)-④) 2) 第一大臼歯の咬合に関与する因子を説明する。(E-4-2)-⑧) 3) 永久切歯萌出期の特徴を説明する。(E-3-1)-①) 4) リーウェイスペースを説明する。(E-4-2)-⑧) 5) 歯列・咬合の発育に影響を及ぼす因子と、発育異常の原因について説明する。(E-2-2)-④, E-3-1)-①, E-4-2)-①, (E-4-2)-⑧) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p114-130 を学習する。 |
| 11月19日 | 三瓶 伸也 | 乳歯・幼若永久歯の特徴 | 1) 乳歯の役割を説明する。(E-3-1)-④) 2) 乳歯の形態学的、構造学的、物理・化学的特徴を説明する。(E-3-1)-②, ④) 3) 幼若永久歯の形態学的、物理・化学的特徴を説明する。(E-3-1)-④) 4) 乳歯と永久歯の違いを説明する。(E-3-1)-④) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p131-145 を学習する。 |
| 11月26日 | 三瓶 伸也 | 小児の齲歯 | 1) 小児の齲歯の特徴を説明する。(E-4-2)-①) 2) 小児の齲歯の為害作用を説明する。(E-4-2)-①) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p147-158 を学習する。 |
| 12月3日 | 北澤 裕美 | 小児の歯周組織と歯周疾患 | 1) 小児の正常歯周組織と歯周疾患における組織変化を説明する。(E-3-1)-⑥, E-4-2)-⑥) 2) 小児の歯周疾患の種類、原因および全身との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 小児の歯周疾患の予防方法を説明する。(B-3-2)-③, ④) 4) 小児の歯周疾患の処置方法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, E-4-2)-⑥) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p161-177 を学習する。 |
| 12月10日 | 三瓶 素子 | 小児の歯科的対応 | 1) 小児の対応に必要な心理を説明する。(E-1-1)-⑤) 2) 小児患者への歯科的対応法を説明する。(E-4-2)-⑩) 3) 小児患者への特殊な対応法について説明する。(E-4-2)-⑩) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p179-190 を学習する。 |
| 12月17日 | 三瓶 素子 | 小児の診察・検査・治療計画 | 1) 小児の医療面接法を説明する。(E-1-1)-③④) 2) 小児の歯科診療の診断に必要な検査項目を説明する。(E-1-1)-①②) 3) 小児の治療方針を説明する。(E-1-1)-⑥) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p191-204 を学習する。 |
| 1月14日 | 坂井 幸子 | 小児の齲歯と進行抑制(1) | 1) う蝕の発生機序を説明する。(B-3-2)-①～③) 2) う蝕発症のリスク因子を列挙する。(B-3-2)-⑤) 3) 小児期のう蝕予防法を列挙する。(E-4-2)-②, B-3-2)-①, ②) 4) ミュータンスレンサ球菌の伝播抑制について説明する。(B-3-2)-①～③) 5) 小児期のブラークコントロール法を説明する。(E-4-2)-②, B-3-2)-①, ③, ④) 6) う蝕予防のための食事・生活習慣指導を説明する。(B-3-2)-④, ⑤) 7) フッ化物の応用法を説明する。(B-3-2)-②) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p205-218 を学習する。 |
| 1月21日 | 坂井 幸子 | 小児の齲歯と進行抑制(2) 児童虐待 | 1) 預防填塞(フィッシャーシーラント)を説明する。(B-3-2)-②) 2) う蝕の進行抑制法を説明する。 3) 児童虐待の定義を説明する。(E-4-2)-⑪) 4) 児童虐待の徴候を説明する。(E-4-2)-⑪) 5) 被虐待児の特徴を説明する。(E-4-2)-⑪) 6) 虐待発見時の対応を説明する。(E-4-2)-⑪) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p218-222, 431-439 を学習する。 |
| 1月28日 | 上津 豪洋 | 小児の歯冠修復 | 1) 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明する。(E-4-2)-③) |
| | | | 準備学習と時間 準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし、小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p223-246 を学習する。 |

地域包括ケア学Ⅱ

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 白野 美和 | 3 | 後期 | 金曜日 | 13:00 ~ 14:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

地域住民が居住する地域の中で、自分らしい生活を送るために必要な支援体制と、歯科医師に求められる役割について理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------------------------------|-------------|-----|------|
| 教科書 小松崎 明, 藤井 一維, 浅沼 直樹 | 歯学生のための健康科学 | 第2版 | 一世出版 |
| 参考書 | | | |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (60%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (20%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 觀察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての客観試験 (60%) とレポート (20%), 授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：火曜日 時間：17:00 ~ 18:00 場所：訪問歯科口腔ケア科医局（新潟病院1階）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|-----------------------------|---|
| 10月3日 | 鴨田 剛司 | 地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の役割 | 1) 地域包括ケアシステム、地域共生社会について説明する。(B-2-2)-(8) 2) 保健・医療・福祉・介護の連携を説明する。 (B-2-2)-(8), A-5-1-(3) 3) 高齢者の保健事業と介護予防について説明する。 (E-5-1)-(3), B-3-2)-(4) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 10月10日 | 白野 美和 | オーラルフレイルの基礎知識 | 1) オーラルフレイルとフレイルについて説明する。 (E-5-1)-(3), B-3-2)-(4), B-3-2)-(8) 2) 口腔機能低下の検査と予防法(介護予防を含む)を説明できる。 (E-5-1)-(3) 3) 口腔機能低下症について説明する。(E-5-1)-(3) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 10月17日 | 吉岡 裕雄 | 摂食嚥下障害の基礎知識 | 1) 摂食嚥下障害について説明する。(E-2-4)-(11)-(2) 2) 摂食嚥下障害のスクリーニング検査について説明する。(E-5-1)-(8) 3) 摂食嚥下障害の精密検査について説明する。(E-5-1)-(8) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 10月24日 | 高橋 圭三 | 摂食嚥下リハビリテーションの基礎知識 | 1) 摂食嚥下障害の対応法について説明する。(E-2-4)-(11)-(2) 2) 直接訓練、間接訓練について説明する。(E-5-1)-(9) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 事前に配布する資料について学習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------------|----------------------------|-------------------------------|---|
| 10月31日 | 松本香好美 | 作業療法士、理学療法士の役割 | 1) 作業療法士・理学療法士の役割を説明する。(A-5-1)-②) 2) 摂食嚥下障害と姿勢、呼吸機能の関係について説明する。(E-5-1)-⑧, E-5-1)-⑨) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 11月7日 | 村山 稔子 | 管理栄養士の役割 | 1) 地域包括ケアシステムにおける管理栄養士の役割について説明する。(B-2-2)-⑧, A-7-1)-③) 2) 管理栄養士と歯科医師の連携について説明する。(A-5-1)-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 11月14日 | 村山 稔子 | 栄養管理の実際 | 1) 高齢者の栄養状態の評価と栄養指導を説明する。(E-5-1)-⑩) 2) 栄養管理や食形態の調整を説明する。(E-5-1)-⑩) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 11月21日 | 吉岡 裕雄 | 地域における摂食嚥下リハビリテーションの実際 | 1) 地域における摂食嚥下リハビリテーションの場と訪問歯科診療における対応方法について理解する。(E-5-1)-⑨) 2) 摂食嚥下リハビリテーションにおける地域連携について説明する。(E-5-1)-⑨) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 11月28日 | 辻村 恭憲 | 急性期・回復期病院における摂食嚥下リハビリテーションの実際 | 1) 急性期・回復期病院における摂食嚥下リハビリテーションについて理解する。(E-5-1)-⑨) 2) 摂食嚥下リハビリテーションにおける地域連携について説明する。(E-5-1)-⑨) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 12月5日 | 田村 文誉 | 小児在宅歯科医療について | 1) 在宅医療が必要な小児の特徴を述べる。(E-2-4)-(1)-(1), E-2-4)-(1)-(2), E-5-2)-(1) 2) 医療的ケアについて説明する。(E-5-2)-(5), E-5-2)-(6) 3) 小児在宅歯科医療活動を地域連携を説明する。(E-2-4)-(1)-(2), E-5-2)-(2), E-5-2)-(3), E-5-2)-(4), E-5-2)-(5), E-5-2)-(6) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 12月12日 | 水越 新人 | 医療ソーシャルワーカーの役割 | 1) 地域包括ケアシステムにおける医療ソーシャルワーカーの役割について説明する。(A-5-1)-③) 2) 多職種連携の重要性について説明する。(A-5-1)-③, A-7-1)-③) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 12月19日 | 平澤 貴典 | 地域における訪問歯科診療の実際 | 1) 地域における在宅歯科医療の現状を理解する。(A-7-1)-(5), E-5-1)-(7) 2) 地域包括ケアシステムにおける多職種連携と歯科医師の役割を説明する。(A-5-1)-⑩) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 1月16日 | 田中 彰 | 周術期・回復期等口腔機能管理 | 1) 周術期等口腔機能管理について説明する。(E-1-5)-⑩) 2) 周術期等口腔機能管理における院内多職種連携および地域連携について説明する。(A-5-1)-(1), A-5-1)-(2), A-5-1)-(3), A-5-1)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |
| 1月26日(月) 3限 | 白野 美和 1月23日(金) 3限と入替 | 共生社会の実現に向けた認知症施策の推進 | 1) 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすための基本理念、基本的施策について説明する。(B-2-2)-(3), B-2-2)-(8) 2) 歯科に求められる認知症対応能力について説明する。(E-5-1)-(1) 3) 認知症当事者と家族を支えるための取り組みを説明する。(B-2-2)-(3), B-2-2)-(8) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 事前に配布する資料について学習する。 | |

地域包括ケア学実習

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------------------------|
| 白野 美和 | 3 | 後期 | 火曜日 | 13:00 ~ 16:00 | マルチメディア臨床基礎実習室 (1号館2階) |

科目の到達目標 (GIO)

地域包括ケアシステムの中で歯科医師に求められる役割を果たすために必要な基本的知識、技術および態度を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|------------------------|-------------|------|
| 教科書 | 小松崎 明, 藤井 一維, 浅沼 直樹 | 歯学生のための健康科学 | 第2版 |
| 参考書 | | | 一世出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 (デモンストレーション)

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (30%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (40%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (30%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式の客観試験 (30%) と観察記録 (40%), 関心・意欲・態度 (30%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：火曜日 時間：17:00 ~ 18:00 場所：訪問歯科口腔ケア科医局（新潟病院1階）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---|---|---|
| 11月11日 | | 口腔機能の評価 (1) 準備学習：30分 事前配布プリントで実習内容の要点を確認する。 | 1) 舌圧を測定する。(E-5-1)-(③) 2) 舌口唇運動機能を測定する。(E-5-1)-(③) 3) 口腔潤滑度を測定する。(E-5-1)-(③) |
| 11月18日 | | 口腔機能の評価 (2) 準備学習：30分 事前配布プリントで実習内容の要点を確認する。 | 1) 舌苔付着度を評価する。(E-5-1)-(③) 2) 咬合力を測定する。(E-5-1)-(③) 3) 検査結果を分析し、対応法を説明する。(E-5-1)-(③) |
| 12月2日 | 白野 美和 吉岡 裕雄 高橋 圭三 両角 祐子 水橋 史 渡會 侑子 | 摂食嚥下障害のスクリーニング検査 準備学習：30分 事前配布プリントで実習内容の要点を確認する。 | 1) 反復唾液嚥下テストを実施する。(E-5-1)-(⑧) 2) 改定水飲みテストを実施する。(E-5-1)-(⑧) 3) 顎部聴診を実施する。(E-5-1)-(⑧) 4) 咳テストを実施する。(E-5-1)-(⑧) |
| 12月9日 | | 摂食嚥下障害への対応 (1) 各種訓練方法 準備学習：30分 事前配布プリントで実習内容の要点を確認する。 | 1) 直接訓練、間接訓練について説明する。(E-5-1)-(⑨) 2) 間接訓練を実施する。(E-5-1)-(⑨) |
| 12月16日 | | 摂食嚥下障害への対応 (2) 代償的アプローチ 準備学習：30分 事前配布プリントで実習内容の要点を確認する。 | 1) 嚥下調整食について説明する。(F-3-2)-(④) 2) 食形態の調整を実施する。(F-3-2)-(④) |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------------|-------------------------|-----------------------|--|
| 1月 13 日 | 白野 美和 吉岡 裕雄 高橋 圭三 | 地域における口腔健康管理 <TBL> | 1) 患者背景を考慮した対応方法について具体的に述べる。(B-2-2)-④) 2) 地域における多職種連携を説明する。(B-2-2)-⑧) 3) ICF の理念と地域での対応について具体的に述べる。(B-2-2)-④) 準備学習：30分 事前配布プリントで実習内容の要点を確認する。 |
| 1月 20 日 | 両角 祐子 水橋 史 渡會 侑子 | 総括 客観試験 | 準備学習：30分 これまでの実習内容を復習する。 |

口腔顎顔面外科学

※実務経験のある教員等による授業科目

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 戸谷 収二 | 3 | 後期 | 水曜日 | 13:00 ~ 14:20 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

口腔顎顔面領域を全身の一部として捉え、適切な診断と十分な医科歯科連携を行える歯科医師となるために、口腔・顎顔面領域にみられる先天異常、外傷、炎症性疾患、口腔粘膜疾患、囊胞性疾患、血液疾患、顎関節疾患の病因、病状、診査、診断、治療法を理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------------------------|------------------------|-----|-------|
| 教科書 榎本昭二 ほか監修、又賀 泉 ほか編集 | 最新口腔外科学 | 第5版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 栗田賢一 ほか監修、柴田孝典 ほか編集 | SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療 | 第6版 | 永末書店 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (99%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (1%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (99%) と、講義の出席状態で (1%) で評価する。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

ga-kogeka(at)ml.ngt.ndu.ac.jp にメールで質問すること。(件名に学生No.氏名、授業担当者名を入れる)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---------|--|--|
| 10月1日 | 戸谷 収二 | 先天異常・発育異常 | 1) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面の先天的な軟組織の異常について説明する。 (E-2-4)-(1)-14) 2) 先天的な歯の異常について説明する。(E-2-4)-(1)-1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p110-126, 138-139 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月8日 | 戸谷 収二 | 口唇・口蓋裂 | 1) 口唇・口蓋裂の病態、分類を説明する。(E-2-4)-(1)-2) 2) 口唇・口蓋裂の症状と障害について説明する。(E-2-4)-(1)-2) 3) 口唇・口蓋裂の総合的な治療の流れについて説明する。(E-2-4)-(1)-2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p127-138, 642-643, 700-712 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月15日 | 水谷 太尊 | 顎顔面の変形および発育異常 | 1) 顎変形症の誘因を説明する。(E-2-4)-(1)-3) 2) 顎変形症の分類と症状を説明する。(E-2-4)-(1)-3) 3) 顎変形症の診断と治療について説明する。(E-2-4)-(1)-3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p141-148, 714-730 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月22日 | 小林英三郎 | 外傷(1) (歯、歯槽骨および軟組織の外傷) | 1) 歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-3) 2) 軟組織損傷の分類、症状および処置法を説明する。(E-2-4)-(2)-5) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p149-158, 165-166 を読み、要点を確認する。 | |
| 11月5日 | 小林英三郎 | 外傷(2) (顎骨骨折) | 1) 顎骨骨折の種類と特徴および治癒過程、治療原則を説明する。(E-2-4)-(2)-12) 2) 顎顔面骨折の原因と種類を列挙する。(E-2-4)-(2)-4) 3) 外傷時の検査・診断法の概要を説明する。(E-2-4)-(2)-4) 4) 上顎骨骨折、頬骨骨折および下顎骨骨折の症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p158-173, 731-740 を読み、要点を確認する。 | |
| 11月12日 | 赤柴 竜 | 炎症性疾患(1) (歯周組織・顎骨の炎症・蜂窩織炎) | 1) 歯槽骨炎・顎骨炎の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 2) 顎骨骨髓炎・放射線性骨壞死・BP関連顎骨壞死の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 3) 外歯瘻・内歯瘻の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 4) 蜂窩織炎の感染経路、診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習：30分 教科書 p187-205, 741-750 を読み、要点を確認する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) | |
|---------|-------|---|--|--|
| 11月19日 | 小林英三郎 | 炎症性疾患(2) (歯性上顎洞炎・扁桃周囲炎・リンパ節炎・特異性炎・歯性全身感染症) | 1) 歯性上顎洞炎の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 2) 歯性リンパ節炎の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 3) 歯性扁桃周囲炎の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 4) 特異性炎(放線菌症・結核・梅毒)の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-7) 5) 歯性全身感染症(菌血症・敗血症・全身性炎症反応症候群)の診断、症状、治療を説明する。(E-2-4)-(3)-4) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p205-211 を読み、要点を確認する。 | | |
| 11月26日 | 赤柴 竜 | 囊胞性疾患(1) (顎骨に発生する歯原性囊胞) | 1) 顎骨に発生する歯原性囊胞の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-1) 2) 顎骨に発生する歯原性囊胞(歯根囊胞、含歯性囊胞、原始性囊胞、残留囊胞、歯肉囊胞、腺性歯原性囊胞、石灰化囊胞性歯原性腫瘍)の一般的な症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-2) 3) 基底細胞母斑症候群の一般的な症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(10)-5) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p280-285, 755-761 を読み、要点を確認する。 | | |
| 12月3日 | 小根山隆浩 | 囊胞性疾患(2) (顎骨に発生する非歯原性囊胞、囊胞類似疾患) | 1) 顎骨に発生する非歯原性囊胞の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-1) 2) 顎骨に発生する非歯原性囊胞(術後性上顎囊胞、鼻口蓋管囊胞、球状上顎囊胞、鼻歯槽囊胞)の一般的な症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-2) 3) 顎骨に発生する囊胞様病変(単純性骨囊胞・脈瘤性骨囊胞・静止性骨空洞)の一般的な症状、診断法および治療法を説明する。 | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p286-291 を読み、要点を確認する。 | | |
| 12月10日 | 中谷 佑哉 | 囊胞性疾患(3) (軟組織に発生する囊胞) | 1) 軟組織に発生する囊胞の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-1) 2) 口腔・顎頬面領域の軟組織に発生する囊胞(粘液囊胞・ガマ腫・類皮囊胞・類表皮囊胞・鰓囊胞・甲状腺管囊胞・鼻歯槽囊胞)の一般的な症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-2) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p274-280, 751-755 を読み、要点を確認する。 | | |
| 12月17日 | 赤柴 竜 | 顎関節疾患(1) (損傷・炎症・腫瘍) | 1) 顎関節疾患の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-1) 2) 顎関節の外傷および脱臼の症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) 顎関節の炎症の症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 4) 顎関節の腫瘍・腫瘍類似病変の症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(6)-2) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p388-402 を読み、要点を確認する。 | | |
| 1月14日 | 中谷 佑哉 | 顎関節疾患(2) (顎頸関節症、顎関節強直症) | 1) 顎関節症の分類と特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 2) 顎関節症の症状、診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) 顎関節強直症の原因、症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p402, 405-411, 824-827 を読み、要点を確認する。 | | |
| 1月21日 | 戸谷 収二 | 血液疾患(1) (赤血球系疾患、白血球系疾患) | 1) 貧血(小球性低色素性貧血・正球性正色素性貧血・大球性正色素性貧血)の病態、症状、診断法、治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 2) 白血球減少症および白血病(急性骨髓性・慢性骨髓性・急性リンパ性・骨髓異形成症候群)の病態、症状、診断法、治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p254-263, 357-360 を読み、要点を確認する。 | | |
| 1月28日 | 戸谷 収二 | 血液疾患(2) (出血性素因) | 1) 血管壁の異常による出血性素因の病態、症状、診断法、治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 2) 血小板の異常による出血性素因の病態、症状、診断法、治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 3) 凝固因子の異常による出血性素因の病態、症状、診断法、治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 4) その他の異常(線溶系・複合性)による出血性素因の病態、症状、診断法、治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) | |
| 準備学習と時間 | | 準備学習: 30分 教科書 p263-271 を読み、要点を確認する。 | | |

口腔腫瘍学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 岡田 康男 | 3 | 後期 | 金曜日 | 10:40 ~ 12:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する腫瘍、腫瘍類似疾患や鑑別を要する疾患について理解を深めるために、臨床的、病理組織学的、免疫組織化学的および分子病理学的な分類、病因、病態ならびに特徴を習得する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------------------------------------|-----------------|-----|------|
| 教科書 井上 孝、岡田康男、長谷川博雅、前田初彦 編集主幹 | 病理学総論にもとづく口腔病理学 | 第3版 | 永末書店 |
| 参考書 榎木恵一、岡田康男 編著 | 新スタンダード口腔病理学 | 第2版 | 学建書院 |
| 参考書 高木 實 監修 | 口腔病理アトラス | 第3版 | 文光堂 |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (90%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (90%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：水曜日 時間帯：17:00 ~ 18:00 場所：病理学講座（新潟病院3階）
事前にメールで要予約（メールアドレスは開講日に通知する）

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|---------|-------|--|---|
| 10月3日 | 岡田 康男 | 口腔潜在的悪性疾患と鑑別疾患（上皮性異形成、白板症、紅板症、紅板白板症、扁平苔癬、梅毒、粘膜下線維症、円板状エリテマトーデス、カンジダ症、咬みタバコ関連角化症、リバーススモーキングによる口蓋病変） | 1) 潜在的悪性疾患の分類と特徴について説明する。 (C-5-6)-(2)~(4), E-2-4)-(4)-(1), (2), E-2-4)-(6)-(5), (6) 2) 潜在的悪性疾患としての前癌病変の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-(5) 3) 潜在的悪性疾患としての前癌状態の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-(6) 4) 口腔・顎顔面領域の腫瘍と鑑別を要する疾患について説明する。 (E-2-4)-(4)-(1), (2), E-2-4)-(6)-(4) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「11. 口腔粘膜の潜在的悪性疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 10月10日 | 岡田 康男 | 口腔癌の発生、増殖、浸潤、頸部リンパ節転移、遠隔臓器転移、重複癌、転移癌 | 1) 口腔癌の発生、増殖、浸潤の病態について説明する。 (C-5-6)-(2), (6), E-2-4)-(6)-(1), (3) 2) 口腔癌における頸部リンパ節転移のステップ、病態について説明する。 (C-5-6)-(6), E-2-4)-(6)-(3) 3) 口腔癌における遠隔臓器転移のステップ、病態について説明する。 (C-5-6)-(6), E-2-4)-(6)-(3) 4) 重複癌（口腔癌と他臓器癌）の病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-(3), E-2-4)-(10)-(4) 5) 他臓器癌の口腔領域への転移における病態について説明する。 (E-2-4)-(10)-(4) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 教科書のCHAPTER 7「腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---------|---|---|
| 10月17日 | 東理 賴亮 | 色素性腫瘍と鑑別疾患 (悪性黒色腫, 母斑, メラニン沈着症, 乳児色素性神経外胚葉性腫瘍, 金属刺青) | <p>1) 色素性腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-①, ②, E-2-4)-(4)-②, E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>2) 色素性腫瘍の遺伝子変異パターン, 紫外線曝露の程度と解剖学的部位による分類について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(4)-①, ②, E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>3) 色素性腫瘍の遺伝子変異について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①)</p> <p>4) 色素性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-④)</p> |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「12. 口腔粘膜の腫瘍, 腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 10月24日 | 大野 淳也 | 唾液腺腫瘍と鑑別を要する疾患 (唾液腺炎, Küttner腫瘍, IgG4関連疾患, Sjögren症候群, Sjögren-Larsson症候群, 新生児エリテマトーデス, 壊死性唾液腺化生, 唾石) | <p>1) 唾液腺腫瘍と鑑別を要する疾患について説明する。 (E-2-4)-(8)-②, ③, ⑤～⑦, E-2-4)-(10)-③, ⑤)</p> <p>2) 唾液腺腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-②, ⑤, ⑥, E-2-4)-(8)-④)</p> |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書のCHAPTER 6「炎症および関連疾患」の「16. 唾液腺の炎症および関連疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 10月31日 | 岡田 康男 | 歯原性腫瘍 (エナメル上皮腫, 石灰化上皮性歯原性腫瘍, 腺腫様歯原性腫瘍, 齧牙腫, 歯原性線維腫・粘液腫), 腫瘍性性質を有する歯原性囊胞と症候群(歯原性角化囊胞, 母斑性基底細胞癌症候群, 石灰化歯原性囊胞, セメント質骨形成線維腫) | <p>1) 歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>2) 歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>3) 歯原性腫瘍における遺伝子変異について説明する。(C-5-6)-②)</p> <p>4) 頸骨外に発生する歯原性囊胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>5) 歯原性角化囊胞と石灰化歯原性囊胞について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②)</p> <p>6) 母斑性基底細胞癌症候群の全身的症状と診断方法について説明する。 (E-2-4)-(10)-④)</p> |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「9. 歯原性腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 11月7日 | 東理 賴亮 | 肉腫とその分子病理 (軟骨肉腫, 骨肉腫, 横紋筋肉腫, 平滑筋肉腫, 滑膜肉腫, 脂肪肉腫) | <p>1) 肉腫の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①, ③)</p> <p>2) 肉腫の病因と病態について説明する。(C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①, ③)</p> <p>3) 肉腫の遺伝子変異について説明する。(C-5-6)-②)</p> <p>4) 肉腫における遠隔転移の病態について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-③)</p> |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 参考書の新スタンダード口腔病理学, 口腔病理アトラスで講義テーマについて学習する。 | |
| 11月14日 | 大野 淳也 | 非歯原性腫瘍と腫瘍様病変(1) (脂肪腫, 顆粒細胞腫, 切断神経腫, 神経鞘腫, 神経線維腫, 多発性神経内分泌腫瘍症) | <p>1) 非歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>2) 非歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>3) 非歯原性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-④)</p> <p>4) 口腔領域に症状を発現する全身的な腫瘍について説明する。 (E-2-4)-(10)-④)</p> |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「12. 口腔粘膜の腫瘍, 腫瘍類似疾患, 2) 非歯原性腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 11月21日 | 大野 淳也 | 非歯原性腫瘍と腫瘍様病変(2) (乳頭腫, 黄色腫, 血管・リンパ管腫, 線維腫, エピーリス, 線維上皮性ポリープ, 義歯性線維腫) | <p>1) 非歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>2) 非歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①～③)</p> <p>3) 非歯原性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-④)</p> <p>4) エピーリスの病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-④)</p> |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「12. 口腔粘膜の腫瘍, 腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---------|--|--|
| 11月28日 | 岡田 康男 | 顎骨の非歯原性腫瘍、類似疾患と鑑別疾患 (類骨骨腫、骨腫、外骨症、骨芽細胞腫、セメント芽細胞腫、骨形成線維腫、骨性異形成症、線維性異形成症、滑膜軟骨腫症) | 1) 顎骨の非歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。 (E-2-4)-(6)-(1), (2) 2) 顎骨の非歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-(2), E-2-4)-(6)-(1), (2) 3) 顎骨の非歯原性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-(4) 4) 顎関節腫瘍の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(7)-(1), (2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 教科書の CHAPTER7 「腫瘍」の「13. 顎骨の腫瘍と腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 12月5日 | 佐野 拓人 | 生検、細胞診、術中迅速病理診断検査、手術における検体の取り扱い、切り出し、染色、標本作製 | 1) 病理組織診断(生検)の目的・意義と精度管理について説明する。 (E-1-1)-(1), (2), (7), E-2-4)-(3)-(3), E-2-4)-(5)-(2), E-2-4)-(6)-(2), (3), E-2-4)-(7)-(2), E-2-4)-(8)-(3), (4), (6), (7) 2) 病理組織検体の取り扱いと標本作製法(細胞診と組織診)について説明する。 (E-2-4)-(3)-(3), E-2-4)-(5)-(2), E-2-4)-(6)-(2), (3), E-2-4)-(7)-(2), E-2-4)-(8)-(3), (4), (6), (7) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 教科書の CHAPTER 1 「病理学とは」の「2. 人体病理学」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 12月12日 | 大野 淳也 | 白血病、悪性リンパ腫および鑑別疾患とその分子病理 (急性・慢性白血病、悪性リンパ腫、組織球性壞死性リンパ節炎、頸部リンパ節結核、キメラ遺伝子、遺伝子再構成) | 1) 白血病、悪性リンパ腫の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(10)-(1), (4) 2) 白血病、悪性リンパ腫の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(10)-(1), (4) 3) 白血病、悪性リンパ腫の遺伝子変異について説明する。 (C-5-6)-(2), E-2-4)-(10)-(1), (4) 4) 白血病、悪性リンパ腫と鑑別を要する疾患の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(3)-(1)~(3), (7), E-2-4)-(10)-(1), (2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 教科書の CHAPTER 7 「腫瘍」の「14. 口腔顎顔面に症状を表す腫瘍・腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 12月19日 | 長尾 俊孝 | 特別講義: 唾液腺腫瘍 (多形腺腫・由来癌, Warthin 腫瘍, 腺様囊胞癌, 粘表皮癌) | 1) 唾液腺腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 2) 唾液腺腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-(2), E-2-4)-(8)-(4) 3) 唾液腺腫瘍の遺伝子変異について説明する。 (C-5-6)-(2), E-2-4)-(8)-(4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 教科書の CHAPTER 7 「腫瘍」の「10. 唾液腺腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 1月16日 | 岡田 康男 | 分子標的治療を目的とした診断(プレシジョンメディスン, コンパニオン診断), ヒトの死, 剖検, CPC | 1) 腫瘍の分子標的治療を目的としたプレシジョンメディスンについて説明する。(E-1-1)-(1), (2), (6), E-2-4)-(6)-(3), E-2-4)-(8)-(4) 2) プレンジョンメディスンのためのコンパニオン診断について説明する。 (E-1-1)-(1), (2), (6), E-2-4)-(6)-(3), E-2-4)-(8)-(4) 3) 病理組織診断(剖検)の目的・意義について説明する。 (C-5-7), E-1-1)-(1), (7), (8), E-2-4)-(6)-(3), E-2-4)-(8)-(4) 4) 病理診断依頼書, 剖検依頼書の作成手順について説明する。 (C-5-7), E-1-1)-(7), (8) 5) 臨床診断に病理組織学的所見を加えた総合的な最終診断について説明する。 (E-1-1)-(7) 6) 病理組織診断報告書の作成手順について説明する。(E-1-1)-(7) 7) CPCについて説明する。(E-1-1)-(1) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 教科書の CHAPTER 7 「腫瘍」, CHAPTER 1 「病理学とは」, CHAPTER 9 「個体の死」および参考書で講義テーマについて学習する。 | |
| 1月23日 | 岡田 康男 | 口腔癌の分子病理 (ゲノムシーケンス, 癌幹細胞, 癌抑制遺伝子, キメラ遺伝子, micro-RNA, 上皮間葉転換, 間葉上皮転換) | 1) 口腔癌の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-(2), E-2-4)-(6)-(3) 2) 口腔癌の癌幹細胞起源説について説明する。(C-5-6)-(2) 3) 口腔癌における癌抑制遺伝子, 癌遺伝子について説明する。 (C-2-2)-(5), C-5-6)-(2) 4) 口腔癌におけるゲノムシーケンス, 遺伝子変異, micro-RNAについて説明する。(C-2-2)-(1)~(3), (5), C-5-6)-(2) 5) 口腔癌における上皮間葉転換, 間葉上皮転換について説明する。 (C-5-6)-(2), (6) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30 分 教科書の CHAPTER 7 「腫瘍」, 参考書および 2 年時病理学教科書で講義テーマについて学習する。 | |

歯科症候学演習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|---------------|--------|
| 水谷 太尊 | 3 | 後期 | 月曜日 | 13:00 ~ 16:00 | 511番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

社会の急速な進歩とニーズに対応するために、問題解決能力を身につけた歯科医師になるための総合的な知識、コミュニケーション技能、態度を身につける。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|-------------------|-----|-------|
| 教科書 | | | |
| 参考書 | 中原 泉, 藤井一維 常用歯科辞典 | 第4版 | 医歯薬出版 |

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 (自己学習)

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (30%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (30%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (40%)

成績評価方法

授業内容に関連した項目についての多選択肢形式試験 (30%) と、毎回の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (40%)、自己学習レポート (30%) より評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日 時間帯：17:30 ~ 18:00 場所：総合診療科医局 (水谷 新潟病院3階)
事前にメールで連絡すること (ga-soshin3(at)ngt.ndu.ac.jp)

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------|---|------------------------------|---|
| 9月29日 | 水谷 太尊 東理 賴亮 中谷 佑哉 小林英三郎 三瓶 伸也 上津 豪洋 海老原 隆 | オリエンテーション、重篤な歯性感染症 (水谷太尊) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 10月6日 | 佐藤 史明 菊地 康佑 小根山 隆浩 水橋 史 渡會 侑子 太田 信 稻富 弘毅 清水 公太 五十嵐 将宏 高橋 天佑 高塙 智子 | 歯の疼痛、歯髄疾患 (清水公太) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 10月20日 | 八板 直道 水橋 亮 井口 麻美 吉田 早織 椎木 甫 他未定 | 口腔乾燥 (中谷佑哉) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--|---|-----------------------------|---|
| 10月27日 | | 不正咬合 (太田 信) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |
| 10月29日 | | 歯の変色 (海老原 隆) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |
| 11月10日 | 水谷 太尊 東理 賴亮 中谷 佑哉 小林英三郎 三瓶 伸也 上津 豪洋 海老原 隆 | 歯科金属のアレルギー (小根山隆浩) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |
| 11月17日 | 佐藤 史明 菊地 康佑 小根山隆浩 水橋 史 渡會 侑子 太田 信 稻富 弘毅 清水 公太 五十嵐将宏 | 認知症患者の口腔症状 (水橋 史) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |
| 11月25日 | 高橋 天佑 高塙 智子 八板 直道 水橋 亮 井口 麻美 吉田 早織 椎木 甫 他未定 | 歯周組織の炎症、歯肉腫脹 (高塙智子) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |
| 12月1日 | | 全身疾患の治療薬に関する口腔症状 (小林英三郎) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |
| 12月8日 | | 小児の齶蝕、乳歯齶蝕 (三瓶伸也) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 準備学習：20分 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 | | | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|----------|---|------------------------|---|
| 12月15日 | 水谷 太尊 東理 賴亮 中谷 佑哉 小林英三郎 三瓶 伸也 上津 豪洋 海老原 隆 佐藤 史明 | 貧血に起因する口腔症状 (東理 賴亮) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 12月22日 | 菊地 康佑 小根山隆浩 水橋 史 渡會 侑子 太田 信 稻富 弘毅 清水 公太 五十嵐将宏 高橋 天佑 | 医療安全 (水橋 亮) | 1) 課題について自己学習する。(A-2-1)-①, ②) 2) 学習の成果を自分の言葉で説明する。(A-2-2)-②) 3) グループで討論する。(A-2-1)-③, ④, A-4-1)-②) 4) 問題解決のための学習項目を列挙する。(A-2-1)-①, ②) 5) 自分に必要な知識を決定し自己学習する。(A-2-1)-③) |
| 1月19日 | 高塙 智子 八板 直道 水橋 亮 井口 麻美 他未定 | 客観試験・総括 (水谷太尊) | 1) 歯科症候学演習の授業内容を復習する。(A-2-1)-①, ②) 2) グループ学習の重要性を理解する。(A-4-1)-②) 3) 適切な自己評価と他者評価ができる。(A-2-1)-⑤) |
| 1月23日(金) | 片山 充哉 1月26日(月) と入替 | ユマニチュード® (井口麻美) | 1) 患者との包括的コミュニケーションを説明する。(A-4-1) 2) ユマニチュード®を概説する。(A-4-2) 3) ユマニチュード®を体験する。(A-4-2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 15 分 | 準備学習: 授業の主題および事前に提示するキーワードに関連する項目を予習する。 |

総合基礎医学演習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日 | 時間 | 場所 |
|-------|----|----|-----|--------------------------------|---------|
| 佐藤 聰 | 3 | 後期 | 火曜日 | 13:00 ~ 14:20 14:40 ~ 16:00 | 511 番教室 |

科目の到達目標 (GIO)

基礎系科目と臨床系科目の連関性を意識し、1年次～3年次の各科目のコアカリキュラムに則った内容を総合的に理解する。

| 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-------|--------------|---|-----|
| 教科書 | 各分野で指定された教科書 | | |
| 参考書 | | | |

学習方略（重複可）

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準（比重や割合）

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (%)

成績評価方法

年度末に第3学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、67点以上で単位を認定する。
(当該科目は、前期日程にも記載してある。)

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月～金曜日 時間：17:00～18:00 場所：各科目講座研究室

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|-------------|-------|--|---|
| 9月30日 | 両角 俊哉 | 歯内療法学 | 1) 歯髓の構造と機能を説明する。(E-3-1)-(⑤) 2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の病因・病態を説明する。(E-3-2)-(②) 3) 歯髓・根尖性歯周疾患の症状を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 4) 歯髓・根尖性歯周疾患の検査法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 5) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 6) 歯内治療を説明する。(E-3-3)-(2)-(①)～(⑦) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 歯内治療学 第6版 の学習内容を確認する。 | |
| 9月30日 4限 | 佐藤 聰 | 歯周疾患治療学 | 1) 歯周組織を説明する。(E-3-1)-(⑥) 2) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(③), (④) 3) 歯周病の症状を説明する。(E-3-3)-(3)-(①) 4) 歯周病と全身疾患との関連を説明する。(E-3-3)-(3)-(①) 5) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-(②) 6) 歯周治療を説明する。(E-3-3)-(3)-(②)～(⑤) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 臨床歯周病学 第3版 の学習内容を確認する。 | |
| 10月7日 | 白野 美和 | 地域包括ケア学 | 1) 地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割について説明する。(B-2-2)-(⑧) 2) 口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。(E-5-1)-(③) 3) 摂食嚥下障害について説明する。(E-2-4)-(11)-(②) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 1～3年次までに学習した「地域包括ケアシステム」「口腔機能」「摂食嚥下機能」についての内容を復習しておくこと。 | |
| 10月7日 4限 | 鈴木 雅也 | 保存修復学 | 1) 歯の硬組織疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(①) 2) 歯の硬組織疾患の検査と診断法を説明する。(E-3-3-(1)-(①) 3) 歯の硬組織疾患の処置法を説明する。(E-3-3-(1)-(①) |
| 準備学習と時間 | | 準備学習：30分 保存修復学 前期の講義第1～4回の内容を復習する。 | |

| 授業日 | 担当者 | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------------|---------|---|--|
| 10月14日 | 小椋 一朗 | 歯科放射線学 | 1) 放射線治療を説明する。(E-2-4)-(6) 2) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 3) 画像所見を説明し、鑑別診断する。(E-2-4) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯科放射線学 (第7版, 医歯薬出版) の要点を確認する。 | |
| 10月14日 4限 | 水橋 史 | 有床義歯学 I | 1) 有床義歯の構造的特徴、種類、役割を説明する。(E-3-4)-(2)-(3) 2) 義歯の設計原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 有床義歯の咬合様式について説明する。(E-3-4)-(2)-(10) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第10章・第17章 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月21日 4限 | 渡會 侑子 | 有床義歯学 II | 1) 補綴的前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 有床義歯治療の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) 有床義歯の術後管理について説明する。(E-3-4)-(2)-(14) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯学生のバーシャルデンチャー 第18章・第20章 および無歯顎補綴治療学 第9章・第10章 を読み、要点を確認する。 | |
| 10月21日 4限 | 黒木 淳子 | 小児歯科学 | 3年生後期小児歯科学のシラバスに記載された各講義内容と他科目(基礎科目)との関連性について、コアカリキュラムに沿って総合的に理解する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 3年生後期小児歯科学のシラバスに記載された教科書内容の復習と予習をする。 | |
| 10月28日 | 戸谷 収二 | 口腔顎面外科学 | 1) 口腔・顎顔面領域に生じる疾患について、基礎系科目や他の臨床系科目との関連性を意識しながら各疾患の特徴、症状、検査、診断、治療法を説明する。 |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 1～3年次の基礎系科目および口腔外科学の教科書およびノートを再確認する。 | |
| 10月28日 4限 | 太田 信 | 歯科矯正学 | 1) 正常咬合と不正咬合を説明する。(E-4-1)-(3) 2) 不正咬合の原因、種類を説明する。(E-4-1)-(3) 3) 各種不正咬合の診断と治療方法を説明する。(E-4-1)-(3) 4) 矯正装置の適応症を列記する。(E-4-1)-(3) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 歯科矯正学 (第7版, 医歯薬出版) の学習内容を確認する。 | |
| 11月4日 | 瀬戸 宗嗣 | 歯冠補綴架工義歯学 | 1) 咬合の原則、咬合・咀嚼障害を説明する。(E-3-4)-(1)-(1) 2) クラウンブリッジの要件を説明する。(E-3-4)-(1)-(1), (8) 3) 検査を説明する。 4) 補綴前処置の意義、目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(1) 5) 支台築造の意義、目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(3) 6) クラウン・ブリッジの意義、目的および種類を説明する。 (E-3-4)-(1)-(1), (2) |
| | 準備学習と時間 | 準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p19-36, 42-59, 68-90, 107-113, 295-301 を予習する。 | |

実務経験のある教員等による授業科目について_臨床系科目抜粋【新潟生命歯学部】

| 科目名 (授業の方法) | 時間数 | 単位数 | 実務担当教員 | どのような実務経験を持つ教員がどのような教育を行うか |
|----------------|-------|------|---|--|
| 早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ(実習) | 45 | 1 | 高橋 靖之、関 秀明、海老原 隆、水橋 亮、大森みさき、水谷 太尊、高塙 智子、猪子 芳美、大橋 誠、井口 麻美、押切 孔、齋藤 芳秀、原 基、中谷 佑哉、竹本 康佑、町田 東子、北澤 裕美、上津 豪洋、齊藤 久絵、瀬戸 淑子、稻富 弘毅、吉岡 裕雄、白野 美和、渥美陽二郎、佐々木善彦、瀬戸 宗嗣、佐久間 要、城井 友幸、松本香好美、若木 卓、佐藤 史明、織田 隆昭、後藤 翔、宮野 侑子、高橋 瞳、渡會 侑子、戸谷 収二、小根山隆浩、太田 信、吉田 早織、椎木 甫、小林英三郎、坂井 幸子、水橋 史 | 大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医学について興味を持つとともに、学習目標を明確に認識し、歯科医療に必要な知識、技能、態度を自ら進んで習得しようとする学習意欲を高めさせる。また、基礎と臨床を統合できる能力の必要性を認識したうえで、医療の本質について理解する。 |
| 専門歯科治療概論(講義) | 22.5 | 1.5 | 海老原 隆、高橋 靖之、戸谷 収二、水橋 史、吉岡 裕雄、小根山隆浩、三瓶 伸也、水谷 太尊、高橋 瞳、猪子 芳美、高塙 智子、小林英三郎、廣安 一彦、白野 美和 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科疾患で悩む患者の様々なニーズに対応するために、大学病院の診療科、センター、特殊外来における専門性の高い歯科医療に関する基本的知識を習得する。 |
| 顎口腔運動制御学(講義) | 11.25 | 0.75 | 河上 淳一、佐藤 義英 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科領域で対象となる病態診断の基本事項を理解するために、顎口腔運動に関する器官の構造とそのメカニズムに関する知識を習得する。 |
| 歯科矯正学(講義) | 45 | 3 | 太田 信、亀田 剛、後藤 翔、瀬戸 淑子 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。国民の健康に寄与し患者のQOLの向上に資する歯科医師となるために、矯正歯科治療の必要性および基本的な知識を習得する。 |
| 歯科矯正学実習(実習) | 45 | 1 | 飯島 重樹、亀田 剛、瀬戸 淑子、後藤 翔、太田 信、齊藤 久絵、稻富 弘毅、椎木 甫、吉田 早織 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。患者の健康および生活の質の向上に資するため、不正咬合の予防と治療に関する歯科矯正学と矯正歯科治療の基本的な技術を習得する。 |
| 小児歯科学(講義) | 45 | 3 | 黒木 淳子、坂井 幸子、三瓶 伸也、北澤 裕美、三瓶 素子、上津 豪洋 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。人の一生(life cycle)の中で胎児期から成人にいたる小児の口腔ならびに顎顔面領域の健康を維持増進させ、健全な顎口腔の形態と機能を予防育成し、疾患や異常を治療するとともに、口腔の健康管理を行うための理論と方法を習得する。 |

| | | | | |
|---------------|------|-----|------------------------------------|--|
| 歯内療法学（講義） | 45 | 3 | 両角 俊哉、新井 恭子、清水 公太、北島佳代子、鎌田 将史 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。口腔の健康維持を全身の健康増進へつなげるために、歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織に生じる疾患の病因、病態、検査、診断、治療法について理解し、口腔機能を回復させるために必要な歯内療法の基本的知識を修得する。 |
| 口腔顎顔面外科学（講義） | 67.5 | 4.5 | 戸谷 収二、小林英三郎、赤柴 竜、小根山隆浩、水谷 太尊、中谷 佑哉 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。口腔顎顔面領域を全身の一部として捉え、適切な診断と十分な医科歯科連携を行える歯科医師となるために、口腔・顎顔面領域にみられる先天異常、外傷、炎症性疾患、口腔粘膜疾患、囊胞性疾患、血液疾患、顎関節疾患の病因、病状、検査、診断、治療法を理解する。 |
| 歯科放射線学（講義） | 45 | 3 | 小椋 一朗、織田 隆昭、亀田 綾子、佐々木善彦 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査、診断および放射線治療を行うために必要な知識を修得する。 |
| 歯冠補綴架工義歯学（講義） | 45 | 3 | 上田 一彦、瀬戸 宗嗣 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯質の崩壊や歯の欠損に起因する顎口腔機能障害を回復し、QOLを維持するクラウンブリッジ補綴を行うために、顎口腔機能障害の機序を理解し、その診断と治療計画の立案に必要な基本的知識を習得する。 |
| 保存修復学（講義） | 45 | 3 | 宮野 侑子、鈴木 雅也、佐藤 史明 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯の硬組織疾患を的確に修復治療し長期にわたって歯の機能性・審美性を維持させるために、硬組織疾患の病因・病態、診察・検査・診断法、治療法および予防法を学習し、歯の硬組織疾患の治療ならびに予防に必要な基本的知識を習得する。 |
| 歯周疾患治療学（講義） | 45 | 3 | 両角 祐子、佐藤 聰、丸山 昂介、高塙 智子、八板 直道、大森みさき | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯周病学を理解するために、歯周組織についての知識を深め、さらに歯肉炎および歯周炎の病因、病態、検査法、診断、治療法について臨床で必要とされる基礎知識を習得する。 |
| 有床義歯学Ⅰ（講義） | 22.5 | 1.5 | 渡會 侑子、水橋 史、浅沼 直樹 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的歯列欠損および無歯顎の患者に対して有床義歯の製作を行い機能回復を図るために、歯の喪失に伴う変化を理解し、有床義歯治療に必要な検査・診断および基本的治療理論に関する知識を習得する。 |
| 有床義歯学Ⅱ（講義） | 22.5 | 1.5 | 渡會 侑子、浅沼 直樹、水橋 亮、水橋 史 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的歯列欠損および無歯顎の患者に対して有床義歯の製作を行うために、残存組織保全と機能回復向上の両立を図ることが不可欠なことを理解し、治療計画を立案して有床義歯を製作する理論と方法を習得する。 |

| | | | | |
|------------------|------|-----|---|---|
| 有床義歯学実習（実習） | 72 | 1.6 | 水橋 史、猪子 芳美、浅沼 直樹、水橋 亮、渡會 侑子、片山 直人、栗田 武 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。全部床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、全部床義歯の設計、製作、治療に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。 |
| 地域包括ケア学II（講義） | 22.5 | 1.5 | 鴨田 剛司、白野 美和、吉岡 裕雄、高橋 圭三、松本香好美、吉岡 裕雄、田中 彰 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。地域住民が居住する地域の中で、自分らしい生活を送るために必要な支援体制と、歯科医師に求められる役割について理解する。 |
| 地域包括ケア学実習（実習） | 36 | 0.8 | 白野 美和、吉岡 裕雄、高橋 圭三、両角 祐子、水橋 史、渡會 侑子 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。地域包括ケアシステムの中で歯科医師に求められる役割を果たすために必要な基本的知識、技術および態度を習得する。 |
| 小児歯科学実習（実習） | 45 | 1 | 黒木 淳子、坂井 幸子、上津 豪洋、三瓶 伸也、三瓶 素子、北澤 裕美、梅津 英裕、鈴木 広幸、馬場 宏俊、中山寿賀子、神戸 正人、松田 貴絵、松井 大介、上津 誠司、荒井 千鶴、小島 功嗣、本間 裕章、赤坂 明子 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。小児の健全な口腔形態機能の育成に向けて、顎顔面口腔領域の疾患や異常を治療または予防するとともに、口腔健康管理に必要な知識、技能、態度を身につける。 |
| 口腔顎顔面外科診断治療学（講義） | 22.5 | 1.5 | 田中 彰、城井 友幸、小林英三郎、佐久間 要、小根山隆浩 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。口腔・顎顔面領域に生じる疾患に対して、必要な臨床情報を収集統合し、適切な治療法を選択するために、診査と治療法の種類と特徴、配慮すべき事項、チーム医療、インフォームドコンセントについての知識を習得する。 |
| 部分床義歯補綴学（講義） | 22.5 | 1.5 | 浅沼 直樹、水橋 史、渡會 侑子 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。予知性の高い部分床義歯治療を行うために必要な前処置、印象採得、咬合採得、咬合構成、義歯構成要素、義歯装着、義歯調整、義歯修理、経過観察および治療の評価に関する一連の知識を習得する。 |
| 部分床義歯補綴学実習（実習） | 72 | 1.6 | 水橋 史、浅沼 直樹、水橋 亮、渡會 侑子、片山 直人 栗田 武 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、部分床義歯の設計、製作に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。 |
| 歯科麻酔と救急処置（講義） | 45 | 3 | 大橋 誠、齋藤 芳秀、高橋 靖之、井口 麻美 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。円滑な歯科診療を遂行するために必要な局所麻酔の知識と全身管理に必要な知識を習得する。 |
| 歯周疾患治療学実習（実習） | 45 | 1 | 佐藤 聰、大森みさき、両角 祐子、高塩 智子、丸山 昂介、八板 直道、金谷 一彦、村山 恵子 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯周病患者の歯周組織を健全なものとし、長期的に維持するために、ホームケアを基本とした歯周治療の実施に必要な基本的知識、技能、態度を身につける。 |

| | | | | |
|-------------------|-------|------|---|--|
| 全部床義歯補綴学実習（実習） | 72 | 1.6 | 水橋 史、猪子 芳美、浅沼 直樹、水橋 亮、渡會 侑子、片山 直人、栗田 武 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。全部床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、全部床義歯の設計、製作、治療に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。 |
| 歯冠補綴架工義歯学実習（実習） | 144 | 3.2 | 猪子 芳美、上田 一彦、杉木 隆之、瀬戸 宗嗣、小澤 誠、勝田 康弘、笹川 敦大、笹澤 武史、篠原 隆介、鈴木 翔平、鈴木 梨菜 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。口腔の機能回復と残存組織の保全を図るために、クラウン・ブリッジ補綴装置の製作法を理解し、印象採得から前歯部ブリッジ製作のための技工操作、試適、装着までの基本的知識、技能、態度を習得する。 |
| 口腔顎顔面外科手術学（講義） | 22.5 | 1.5 | 赤柴 竜、戸谷 収二、小根山隆浩、小林英三郎、中谷 佑哉、水谷 太尊、猪子 芳美 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。口腔顎顔面領域における標準的な手術を安全かつ適切に行える歯科医師となるために、口腔外科手術に必要な基本的知識を身につける。 |
| 口腔外科学・全身管理学実習（実習） | 72 | 1.6 | 赤柴 竜、花田 大地、水谷 太尊、小根山隆浩、町田 東子、佐久間 要、城井 友幸、菊池 康佑、小林英三郎、中谷 佑哉、高塩 智子、大橋 誠、齋藤 芳秀、押切 孔、関 秀明、井口 麻美、高橋 靖之、梁 由美、吉田 稜平 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。全身の健康の回復と増進のために、口腔顎顔面領域の疾患に対して口腔外科治療を行うのに必要な基本的な技能、知識、態度を習得する。 |
| 保存修復学実習（実習） | 72 | 1.6 | 海老原 隆、佐藤 史明、高橋 天佑、鈴木 雅也、関 秀明、宮野 侑子、若木 卓、山口 耀平、片岡 昌士、川嶋 里貴、高橋 弘直、大久保達人、吉田 孝、木村 暉、稻葉 友良、須崎 智勝、北村 慶史、田中 紀裕、白野 学、平 賢久、有田 祥子、永井 悠太 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。口腔の機能および審美性を長期間にわたり適正に維持するために、歯の硬組織実質欠損に対する各種修復法を実施するのに必要な知識と技能を修得し、併せて歯科医師として望ましい態度を身につける。 |
| 歯内療法学実習（実習） | 72 | 1.6 | 両角 俊哉、新井 恭子、清水 公太、鎌田 将史、宮本美智子、大石 繁康、木村 正子、三好 敏朗、横須賀孝史、貝津 徹、井野場朗子、武村 幸彦、松田浩一郎、湊 華絵 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯髓疾患や根尖性歯周疾患に罹患した歯の疼痛軽減、感染除去、機能回復および審美性回復を行い、長期保存するために必要な歯内療法の臨床的な知識、技能、態度を習得する。 |
| 高齢者歯科学（講義） | 22.5 | 1.5 | 石井 瑞樹、田中 彰、竹野 敏彦、高橋 靖之、白野 美和、吉岡 裕雄、両角 祐子、道川 誠、高橋 圭三 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。高齢者および要介護者に対する歯科診療の困難性・環境・全身的特性・心理的特性を理解し、臨床で必要な知識を習得する。 |
| 障害者歯科学（講義） | 11.25 | 0.75 | 大橋 誠、三瓶 伸也、高橋 靖之 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。障害者の歯科治療を行うために必要な、障害者の身体的、精神的および心理的特徴と障害者を取り巻く社会環境を理解し、障害者の歯科治療を行う上で必要な知識と技能・態度の基本的事項を修得する。 |
| 歯性感染症（講義） | 11.25 | 0.75 | 三上 正人、岡田 康男、両角 俊哉、丸山 昇介、海老原 隆、水谷 太尊 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯性感染症の原因と病態を理解した歯科医療を実践するために、EBMに基づいた各領域の歯科医学の知識を統合する。 |

| | | | | |
|---------------------|--------|------|---|---|
| 顎咬合診断・口腔インプラント学（講義） | 22.5 | 1.5 | 廣安 一彦、瀬戸 宗嗣、辻村麻衣子、五十嵐健輔、八板 直道、上田 一彦 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。一口腔単位の歯科治療を行うために、咬合の診査・診断および咬合治療を理解するとともに、口腔の欠損に対して歯科インプラントを用いての補綴治療法、インプラント材料、インプラントと生体反応、周囲組織のメカニズム、口腔解剖と治療法、インプラント治療評価の基本的な知識を習得する。 |
| 口腔インプラント学実習（実習） | 36 | 0.8 | 佐藤 聰、廣安 一彦、上田 一彦、小林英三郎、瀬戸 宗嗣、丸山 昇介、五十嵐健輔、杉木 隆之、木暮 ミカ、梅田 和徳、金田 恒、伊藤 秀俊、木村 勝年、上野 大輔、鈴木 梨菜 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。欠損部に対する補綴治療の一つとしてインプラント治療を行うために、臨床の流れを理解し、治療に必要な臨床操作、技能、態度を習得する。 |
| 歯科医のための内科学（講義） | 45 | 3 | 大越 章吾 | 大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科治療に際し患者の全身状態、健康状態を把握できる歯科医師となるために、内科的疾患を総論から各論まで系統的に習得する。 |
| 外科学（講義） | 22.5 | 1.5 | 大竹 雅広 | 大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。外科的診療を行う上で必要とされる基本的知識、及びそれを実践した場合の生体反応等の理解を通して、歯科医師として外科的処置を行う際の基本的な考え方を身につける。 |
| 耳鼻咽喉科学（講義） | 22.5 | 1.5 | 佐藤雄一郎、伏木 宏彰 | 大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科との境界領域疾患について知識を深めるために、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の代表的疾患について学び、歯科領域疾患との関連性を理解し説明する能力を身につける。 |
| 歯科心身医学（講義） | 11.25 | 0.75 | 井口 麻美、小林英三郎、水橋 史 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科領域における心身症を理解するために、診断・治療に必要な知識を修得する。 |
| 臨床診査・検査学（講義） | 22.5 | 1.5 | 戸谷 収二、宮野 侑子、両角 祐子、高橋 瞳、大橋 誠、井口 麻美、水橋 史、大野 淳也、佐々木善彦 | 大学病院等における歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医療において必要な全身および口腔顎顔面領域の臨床診査・検査を身につけ、的確な診断が行える歯科医師となるために、その特徴、種類および適応を理解する。 |
| 合計 | 1615.5 | 70.9 | | |

◎単位換算方法・・・大学設置基準を踏まえ、講義15時間・実習45時間で1単位とした。（事前学修及び事後学修を含む）